昭和54年10月25日発行　毎月1回25日発行　昭和24年3月19日第3種郵便物認可

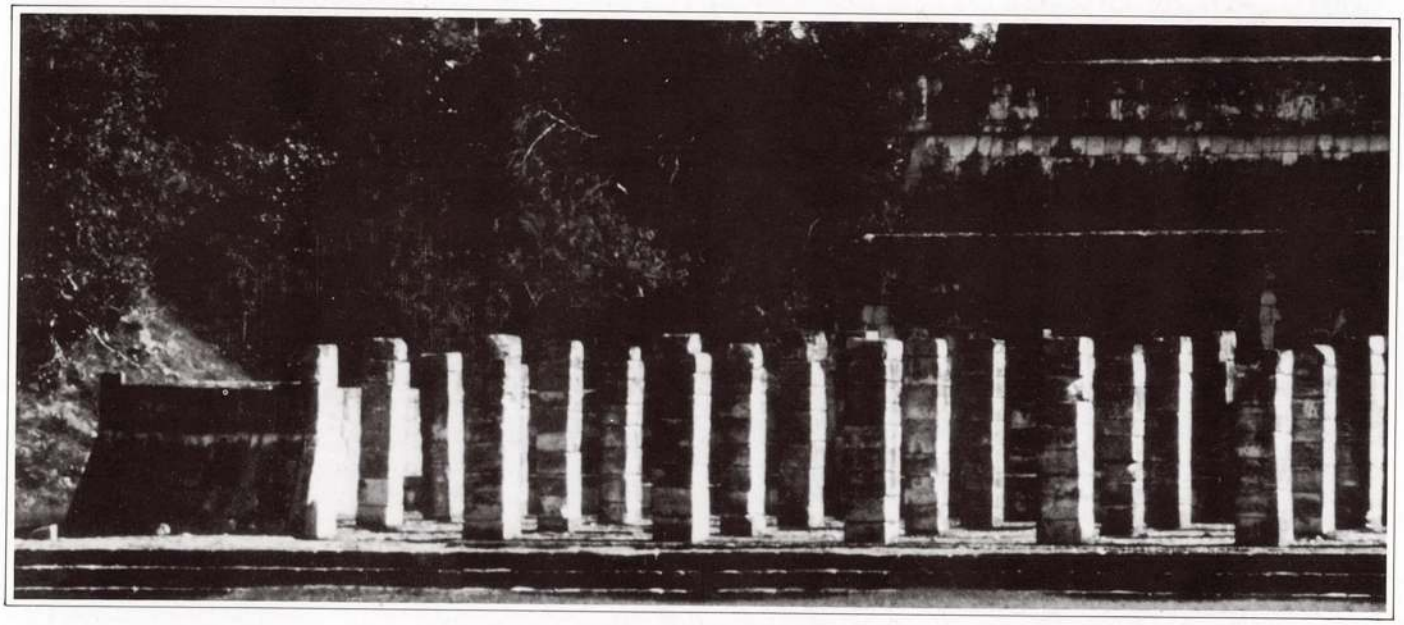
建築と社会

10

1979

VOLUME-60　NO.691

特集・80年代のインテリア



ARCHITECTURE AND SOCIETY

日本建築協会

完全を求める二つの心から
一つの芸術品が生みだされた。



TOTOピエール・カルダン洗面化粧台。
美を創造するカルダンと、
機能を追求するTOTOの劇的な出会いから
生み出された世界に誇りうる
最高級の洗面化粧台です。



Pierre Cardin

TOTO
カルダン洗面化粧台

◀日本建築協会 建築クラブ 合同忘年懇親会開催予告

会員各位より待望久しかった太閤園における忘年懇親会を、本年は建築クラブと合同のもとに、下記のとおり開催することになりました。

ここ数年来の低迷する不況を一掃し、明るい来年を期待して楽しいひと時をともに過ごしたいと存じますので、何卒多数ご参加下さいますようお願い申し上げます。

なお、詳細については11月号会告並びにハガキにてお知らせ致します。

記

と　き　昭和54年**12**月**14**日㈮午後6時～8時

ところ　太閤園　ガーデンルーム
（都島区網島町9－10　TEL 351－8201）

会　費　5000円（別に多額の補助あり）

定　員　300名
（豪華商品の当たる抽せん会を行います）

毎日出版文化賞受賞

◀ふるさとのすまい —日本民家集— 復刻版の刊行

本会の創立45周年を記念して昭和37年に出版された上記図書は、沖縄から北海道までの都道府県から代表民家200余を選び、これを採訪、実測した日本民家研究の基本文献で、500点にのぼる写真、220点余の平面図、断面図などを収録したもので、刊行まもなく品切となりました。

このたび日本資料刊行会より復刻版として刊行、全国の書店で発売されておりますが、本会々員に対しては下記のとおり特価販売いたします。ご希望の方は早急に本会（大阪市東区北浜3－37、電話06－231－9648）までお申込み下さい。

A5変形判（18.5cm×17.5cm）上製函入270頁
定価　5700円のところ会員特価5000円（送料 250円）

昭和54年度茶室見学会（第2回）

◀京の詩仙堂と芭蕉庵を訪れる会

恒例の茶室見学会の本年度、第1回は、本会名誉会員、岡田孝男先生のご案内により、大徳寺の聚光院と黄梅院の茶室を見学しましたが、第2回として、今秋はひさびさに京都・東山の北部にある詩仙堂と芭蕉庵を訪れることにしました。

詩仙堂は寛永18年(1641年)、石川丈山59才のとき一乗寺村に建築し、寛文12年（1672年）90才で歿するまで煎茶道の開祖として悠々自適の生活に入った所で、中国の詩人（杜甫、李白、陶潜など）36人の肖像と詩を掲げた詩仙之間と、3階の眺望　嘯月楼は当時のまま残っています。庭に有名な添水（そうず）があります。

芭蕉庵は金福寺の後山にあり、元禄（1688年）の昔、俳聖芭蕉がこの地に庵を結び、

〝うき我を　淋しがらせよ　かんこ鳥〟

の句を作った所と伝えます。

その後、荒廃していたのを安永5年(1776年)、与謝蕪村が再興した藁葺の美しい建物が昔のままに残っています。3帖台目隅炉の席に水屋があり、後山には蕪村をはじめ呉春、景文など多くの俳人の墓があり、青木月斗師の墓もここにあります。

今回は、晩秋の京・洛北の静かな山懐にひっそりとたたずむ二つの庵を訪ねます。

多数ご参加をお待ちします。

日　時　**11**月**10**日㈯　集合14：00→解散16：30

集合場所　一乗寺下り松の碑の前・目標会旗

〔参考〕集合所までの交通費は各自ご負担のこと
京都駅前より……市バス⑤系統「岩倉行」に乗車　→経由・四条烏丸（阪急電車連絡）……経由・三条京阪（京阪電車連絡）——→「一乗寺下り松」停で下車。→大通りを東へ徒歩 100mのつき当りの下り松の碑の前。
（バスは10分～15分間隔で発車、所要京都駅より40分、京阪三条より約25分、運賃 130円）

講　師　帝塚山学院大学教授　工学博士　岡田孝男氏

定　員　30　名

参加会費　会　員 1,200円
会員外 1,600円　拝観料、抹茶代、その他

申　込　この催しは会誌「建築と社会」の10月号の発行が遅延のため特に電話にてお申込願います。
ただし、申込締切は11月6日㈫中とし、定員を超過した場合は会員優先で抽せんにて決定の上お知らせします。

申込方法　建築協会事業課へ電話にて氏名・勤務先名・連絡電話番号・会員、会員外の区別・参加証発送先と郵便番号を明確にお申越しのこと。　（電話　06－231－9640）

◀旧下村邸（大丸ヴィラ）を訪ねる

——建築家・ヴォーリズ……その人と作品——



竣工当時の下村邸



下村邸・壁面の日時計

ウィリアム・メレル・ヴォーリズは、キリスト教伝道のため、明治35年来日以来、近江兄弟社を創設したほか、建築の面でも多くの足跡を残しました。それらの作品は、われわれの近くにありながら意外に知られていないようですが、種々の様式を自由に使いこなしたその作風には、最近の建物にはないある種の豊かさを感じさせるものがあります。

今回は、彼の残した多くの作品の中でも住宅の代表作といわれる旧下村邸（大丸ヴィラ）を見学し、くつろいだ雰囲気の中で、ヴォーリズに関して研究を進めておられる大阪芸術大学の山形先生を囲んで、その作品と人柄にふれてみたいと思います。

なお、この企画に際して、大丸百貨店、並びに一粒社ヴォーリズ建築事務所に多大のご協力をいただきました。

秋の京のまちの散策をかねて多数ご参加下さい。

日　　時　11月17日(土)　集合14：00→解散17：00
集合場所　大丸ヴィラ正門前付近・目標会旗
（京都市上京区烏丸丸太町上ル）

〔参考〕集合所までの交通費は各自負担願います。
大阪より→阪急電車、京都線特急乗車（毎時15分間隔にて発車）→「烏丸」駅下車→地上へ出て烏丸車庫方面行バスに乗車（4，5分間隔）→「烏丸丸太町」で下車→北へ向って50mの左（西）側（運賃・阪急電車大阪より 250円、バス 110円・所要約1時間）

講　　師　大阪芸術大学講師　山形　政昭氏
定　　員　30名
参加会費　会　員　700円／会員外　1,000円　資料代、喫茶代、その他
スケジュール
14：00→14：30　下村邸の概要説明
14：30→15：00　見　学
15：00→16：30　ヴォーリズの作品について（スライドと講演）
山形講師
申　　込　往復ハガキ1名に1枚限りとし、氏名・勤務先名・所属部課名・年令・連絡電話番号・返信用宛名・郵便番号・会員、会員外の区別を記入し、「大丸ヴィラの見学」と明記の上11月12日（月）までに建築協会事業課へ。定員を超過した場合は会員を優先の上抽せんにて決定します。

◀大阪、四天王寺・昭和の夢殿（太子殿）と中心伽藍の見学

大阪の庶民に〝天王寺さん〟と親しまれている天王寺区の四天王寺の代表的な建物、太子殿（奥殿）が9月に再建完成され、10月13日より10日間に亘る落慶法要が行われました。

四天王寺は、聖徳太子が創建した日本最古の官寺と伝えられるもので、昭和20年3月の戦災でほとんど主な建物が焼失しましたが、再建復興事業により、去る38年に中心的伽藍（金堂、講堂、五重塔、廻廊）が再建され、今回の太子殿の竣工により遠大なる復興事業も終了し、34年ぶりに戦前の姿に戻りました。

太子殿の主になる建物、奥殿は聖徳太子をまつる聖霊院で、東大・藤島亥治郎名誉教授の指導により設計が進められ、法隆寺の夢殿の様式をモデルにされた二重基壇の八角堂で、内部のお堂は直径13mの珍しい円形になっています。これと同時に同敷地内に経堂ならびに杉本健吉画伯の描かれた太子生誕より入滅までの壁画のある絵堂が建立され、いずれも総檜の白木造りです。また市民に親しまれていた猫の門、虎の門も再建され、奥殿に安置される太子像とともに飾りのネコ、トラを京の仏師、松久朋琳、宗琳の両氏が制作されました。

今回はこの大阪、四天王寺の新太子殿と伽藍を四天王寺復興部建築事務所のご厚意と（株）金剛組のご協力により見学することにいたします。

多数ご参加下さい。

日　　時　11月20日(火)　集合14：00→解散16：00
集合場所　大阪市天王寺区・四天王寺、西大門前・目標会旗

ただし大阪、地下鉄・谷町線「四天王寺」駅下車、一番南寄り（天王寺方向）の改札出口から地上へ出て南へ向って400mの左折した前方に石の鳥居があり、越えたところが西大門です。
（地下鉄所要時間、大阪梅田より約15分）

定　　員　30名
参加会費　会　員　600円／会員外　900円　拝観料、その他
申　　込　往復はがきに限ります。ハガキは1名に1枚限りとし、氏名・勤務先名・所在地・連絡電話番号・返信用宛名・郵便番号を記入して「四天王寺の見学」と明記の上11月13日（火）までに建築協会事業課へ。
定員を超過した場合は抽せんにて決定します。



建築と社会

©1917年創刊

通巻691号・第60集・1979

10

表紙デザイン：永田祐三

私の好きな景色10

チツエンイッツアのTemple of the Warriorsです。西日を受けた千柱をじっと見つめていると、気が遠くなるほどの静けさを感じました。

特集予告

■11月号／第26回青年技術者

■12月号／建設業の労務事情—悪化とその打開への試み

■1月号／80年代の都市と建築—歴史に学ぶ

■2月号／今後の省エネルギの趨勢

■3月号／銀行特集（予定）
安井建築設計事務所作品集

編集委員会（昭和54年度）

編集委員長	澤柳　健
前川　陽一	中村　正三
編集理事	●施工材料分科会
前川　陽一	荒川　治徳
井上　滉	岡田　善弘
今西　祥郎	＊高木　嗣郎
窪田　祐	村上　元彦
小林　清	●法令分科会
松村　慶三	＊岡田　七郎
竹中　錬一	隠岐　一三
前野慶太郎	●作品作風小委員会
菅谷　健児	間野　洋三
松本　亮二	沢田　伸
渡辺　忠	高崎　尚昭
編集委員	田中　信重
○片倉　健雄	○寺井　信夫
●計画分科会	奈良　鎁一
池端　猛	根来　淳一
稲垣　雅彦	山口　祥悟
河目　浩吉	●投稿欄小委員会
塩谷　寿翁	○木村　康彦
谷口　康彦	田中　直人
＊富樫　穎	竹中　啓介
中林　浩	橋本　憲夫
西村征一郎	●広告企画小委員会
山元　弘和	安芸　洋一
●構造分科会	岩橋　一豊
井上　一朗	岡本　弘之
＊北村　俊男	坂　啓智
坂　寿二	嶋　昭夫
棚橋　秀光	島田　民彦
谷尾　俊弘	西田　清
横井　元昭	平松　利一
●設備分科会	松本　亮二
梶井　宏宣	三原　清敬
蒲田　弘	山田　雄祐
＊河津　隆之	吉田　正三
佐藤　隆二	○渡辺　忠

編集人　松井昭光

印刷　昭和54年10月20日

発行　昭和54年10月25日

発行人　吉田悦二

発行所　（社）日本建築協会
大阪市東区北浜3—37
電　06—231—9648
振替口座　大阪39975

印刷所　株式会社研文社
電　06—314—0151
大信印刷株式会社
電　06—451—7631㈹
日本写植印刷株式会社
電　06—606—1111㈹

売価　650円（送料別）

会告

作品作風●

シリーズ

法令コーナー141

新建材紹介コーナー42

読者の項

ニュース

建築の眼

特集●

総論

各論1

アンケート

各論2

インテリア空間実例

中国を訪ねて〈8〉

構造の頁63

設備の頁62

施工材料の頁62

日影図演習シリーズ4

若い会員の集いレポート

月報

CONTENTS

ARCHITECTURE AND SOCIETY

特集・80年代のインテリア

SPECIAL FEATURES ON INTERIOR IN THE 1980'S

日本建築協会・建築クラブ合同忘年懇親会開催予告。ふるさとのすまい—日本の民家集—復刻版の刊行。昭和54年度茶室見学会（第2回）京の詩仙堂と芭蕉庵を訪れる会。旧下村邸（大丸ヴィラ）を訪ねる—建築家・ヴォーリズ…その人と作品。
大阪四天王寺・昭和の夢殿（太子殿）と中心伽藍の見学…*1*

和歌山市民会館……設計：日建設計　施工：飛島建設……*4*
歴史的集落と街路景観—13—辻景観その2…*16*
「総合設計制度の取扱い要綱」の改正（その3）／足立幸一…*19*
化学架橋ポリエチレンフォーム『サンペルカ』／牧田顕治…*20*
マイ・フォトーヴェネツアの裏町／柴田正己。鵬翼の陣をめざす住まいのなかの彫刻考展／A·M。無表情環境のなかで／上谷重男…*21*
トピックス・その3会場内恒久建築物の概要／田中直人…*22*
学生数は多すぎるか？／古川修。内法の表現／一ノ瀬周太郎
機能主義と装飾／浦辺鎮太郎。発想の転換／福嶋孝之…*24*

80年代のインテリア

「直し」の季節に—80年代のインテリアのための覚書—……向井正也…*26*
内部空間の外部化の波は怒とうのごとく日本に押し寄せるーか？
……中小路泰久・駒田哲男…*30*
“住まい手”と“造り手”相互の“住まい方”に対する哲学
……山内陸平・加藤　力…*36*
—80年代のインテリアを考える……*40*

- 変身—80年代のインテリアを考える／今江祥智
- 人が家の中に／篠田桃紅
- 昭和グロテスク／鴨居羊子
- 良いものをいつまでも大切に／青木京子
- インテリアーこの内面的なもの—現代の室内についての断片的な思い／長部幸
- 覆いかぶさってくる規格化に抗する手段としてのインテリが…／宮脇檀
- 再生としてのインテリア空間—機能の回復／森本正一
- 省エネルギーとインテリア／中村猛
- これからの和風のインテリア／山片三郎
- インテリア以前の課題解決と幻惑的言辞をつつしみたい／柴辻政彦
- これからのムード照明／河田益典
- 商業空間としての80年代インテリア思索／赤松良一

これからの家具—椅子……光藤俊夫…*47*

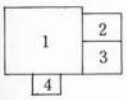
大阪都ホテル都パーラー／エグゼクティブサロン「ローヤル」／ひろしま美術館メインホール／梅田阪急ビル1・2期コンコース／八鹿町小売商業団地／京大会館／よみうり文化センター会館ロビーおよびプール／千里台スカイハイツ／シャルム堺／ネオハイツ大淀／鴻池本社ビル役員談話室／公立学校共済組合大阪宿泊所なにわ会館／ホリディイン南海大阪（小林ビル）5階ラウンジ／神戸山手学園友松会館1階ロビー／ライジング飯田（株）本社ビル／新宮ショッピングセンター／ガーリッシュマインド…*51*

蘇州遊覧／王柏群…*77*
大阪地盤の生成（その1）／西垣好彦…*78*
省エネルギーからみたスチームアキュムレータ／安形明彦…*79*
静かな破砕剤／一家惟俊…*80*
等時間日影線の描き方／伊藤克三・佐藤隆二…*82*
都市住宅を考える(3)コーポラティブハウスの問題点と展望—中筋修氏に聞く／三宅良一・藤原吉昭・光岡正道…*85*
日本建築協会月間の動き（昭和54年8月分）…*86*

和歌山市民会館

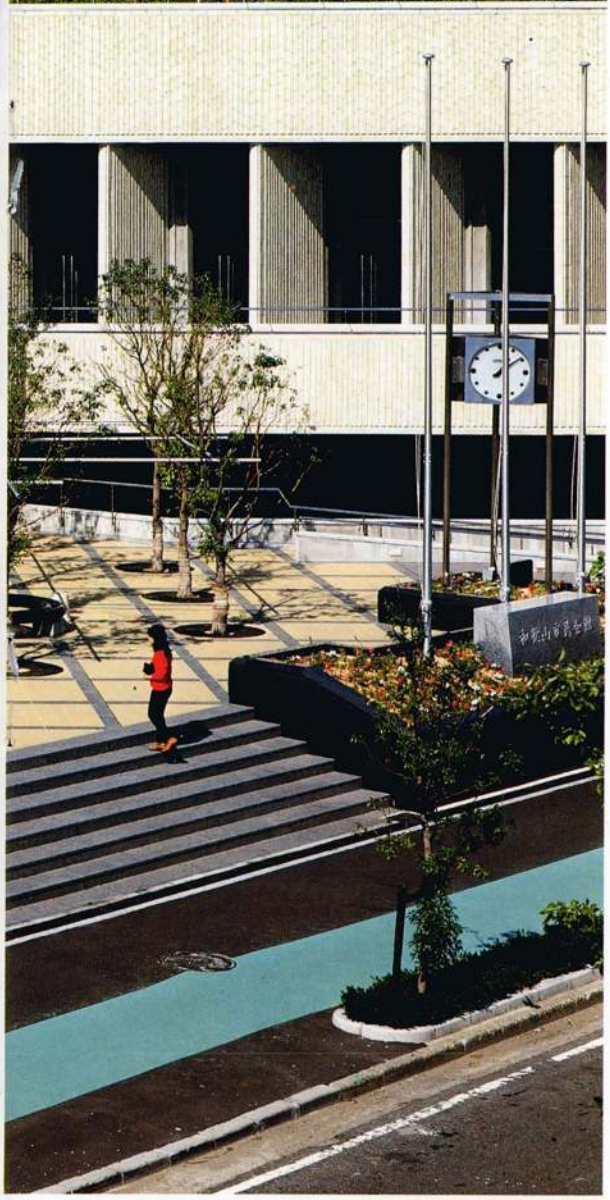
設計　日建設計
施工　飛島建設
　　近畿電気工事・大阪電気暖房
　　松下電器産業・松下電工

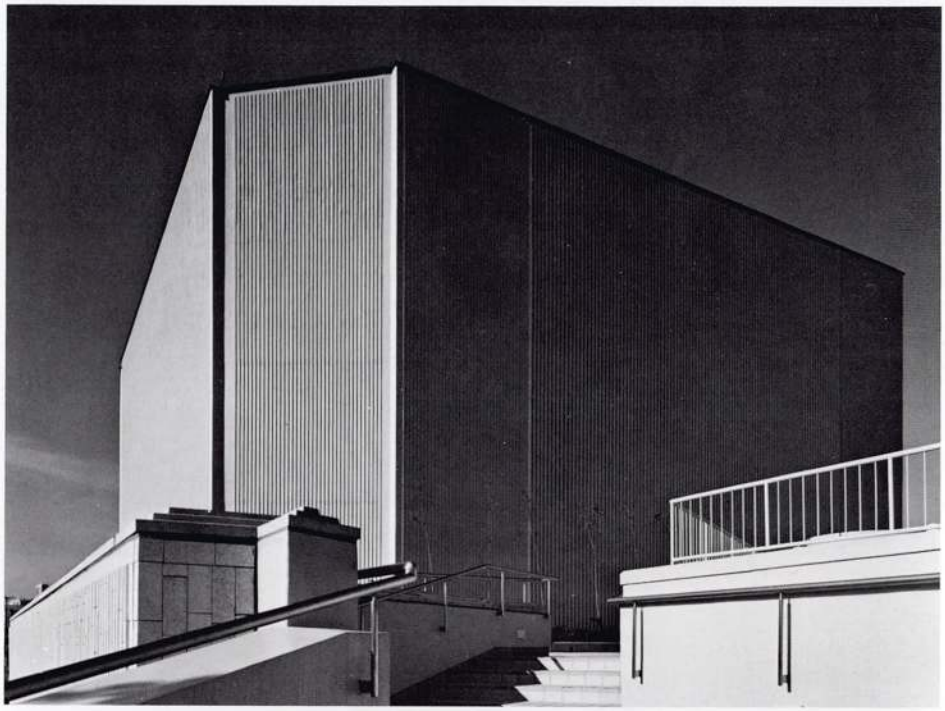


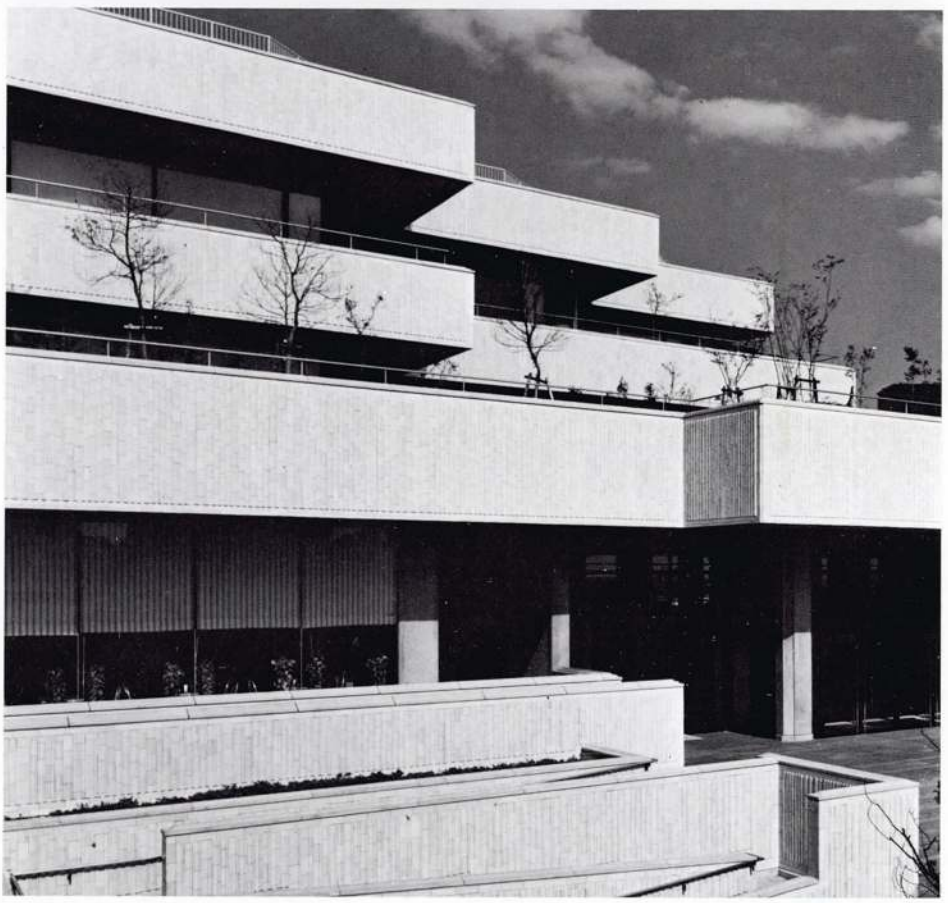


1.県道からホールへの
　アプローチ
2.東側より大ホールをみる
3.会議棟
　(手前は車椅子用スロープ)
4.航空写真(上部は紀の川)









和歌山市民会館は、昭和30年代の公会堂ブームに先がけて作られた「旧市民会館」が、新庁舎建設のため、昭和48年にやむなく取壊された後、市民の熱望により再建されたものである。

敷地は、和歌山市の西玄関ともいえる「南海電鉄、和歌山市駅」とバスセンターに近接した位置にある。前面は県道に面し、これと市堀川に囲まれた2ブロックの敷地のうち北ブロックであるが、この敷地のもつ軸線上には、市街の中心を占める和歌山城がある。やがてこの2ブロックに亘って、市の総合的な施設が形成されることを考慮すれば、建物の配置は、単に北ブロックのみの土地利用ではなく、「緑地広場」を敷地の南面に設置し、これを中心にして大ホール、小ホール、会議棟を扇形に配することになった。将来、南ブロックにおいても、緑地広場を連続して求め、これを中心に施設を配することによって、良好な一群の文化ゾーンが完成することを意図している。この2ブロックの配置は、市街の構造に対応し呼応する表現となり、また逆に街の中心、天守閣からの眺望を受けとめる建築形態ともなっている。各々独立したシルエットを持ち展開する建築群は、一見して判りやすい感じとなり、市民が親しみを持って利用することと期待している。

県道からホールへのアプローチは、歩道面から約90cm上げたレベルに取った「緑地広場」から始まる。ここには市の木であるクスの木が幾何学的に配置され、緑の木陰の下にはベンチがある楽しい広場であり、県道の喧騒からのがれた場所でもある。広場からプロムナード、エントランスホール、ホワイエと進むにつれて、次第に床のレベルを変えつつ空間の高まりを求め、ロビーの入口へと続く。ここには仕切を設けず移動式のゲイトとし、ロビーとエントランスの空間を一体化することを目指した。客席までのアプローチは、催物に対する期待感を高め、心の準備をしてから着席で



きるように、ある程度の距離と時間を設定した。ホールの規模設定は、建築審議会の答申に添い、県民ホールと競合しない規模として、大ホール1500席、小ホール700席、市民ホール500席を設定した。いずれも多目的ホールであるが、音響設計の基本として許される範囲で性格付けをおこなうこととし、大ホールは音楽的催しを指向、小ホールは演劇的催しを指向するものとした。最終的な室内残響時間（音響反射板使用時、空席時、500Hz）は、大ホール1.97秒、小ホール1.27秒であり設計条件を満足している。

ホールの壁、天井には多量の木材を使用し、あたかも楽器の胴に内包されたかの空間で音楽を聞くことができる。オープン行事で、交響楽団によるコンサートがあり、当日の指揮者より『音質と響きに艶があり、客席と舞台との一体感が感じられる。全国的にトップレベルのコンサートホールである』とのご講評を載いた。



平面、断面の設計基準として、まず舞台レベルを道路面から65cmの高さとし、諸道具の搬出入を便利にし、また大、小ホールは同じ舞台レベルで隣接することによって楽器、諸道具類の互換性を持たせるとともに、技術員の効率的な配置を可能にした。もちろん大、小ホールは隣接しているが3列の廊下と、4枚の防音扉により遮蔽されており、それぞれのホールが同時に使用できる。ホールの後部に「母子室」と呼ぶ2重防音ガラスに囲まれた室をとり、乳幼児連れでも観賞できる。また車椅子による会館の利用も、緑地広場からホールのロビーにいたるまで設けられたスロープにより誘導され、客席の中央において観賞できる。

舞台廻りの設計は、大ホールに可動プロセニアムを設け演劇、歌舞伎などの際、プロセニアムの巾と高さを変えられるようにしている。小ホールはオーケストラ迫りを利用し、能舞台の特色である張り出し舞台を形づくることができ、能楽堂とほぼ同じ状態で観賞できる。

市民ホールは、アマチュアが多目的に利用することから1階に設け、平土間の移動席とした。このホールの上には、レストラン、厨房があるが2重スラブとロックウールによる浮床構造を採用することによって、相互の躯体伝播音を遮断している。

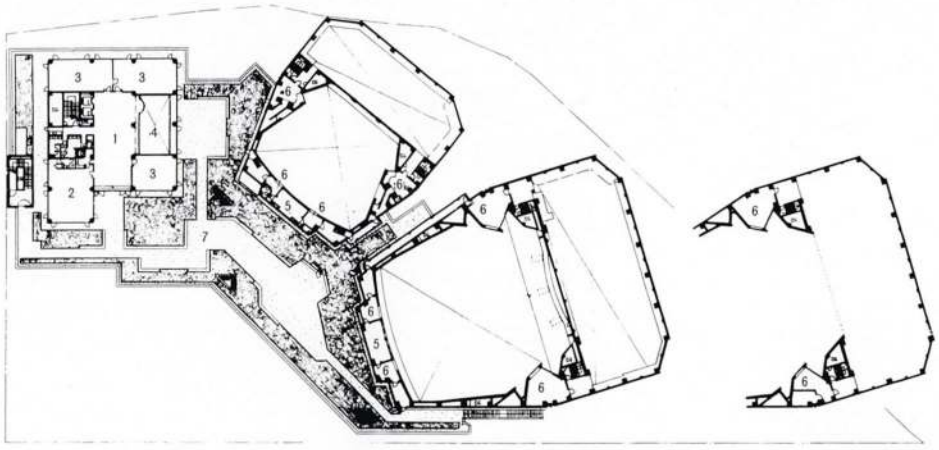
ホールの空調設計は、騒音基準をHC－20と設定し、最終測定において、コンサートホールとして満足する値を得た。

（寺本敏則、大野一男／日建設計・大阪）



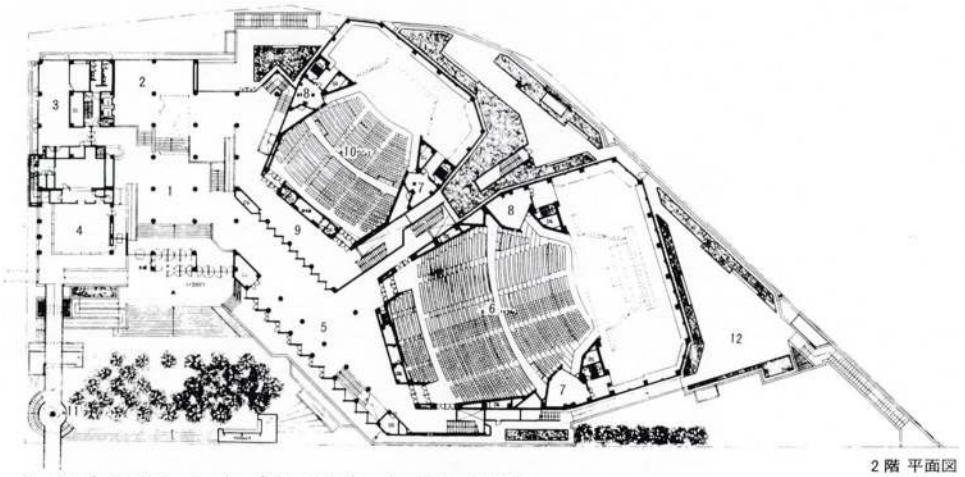






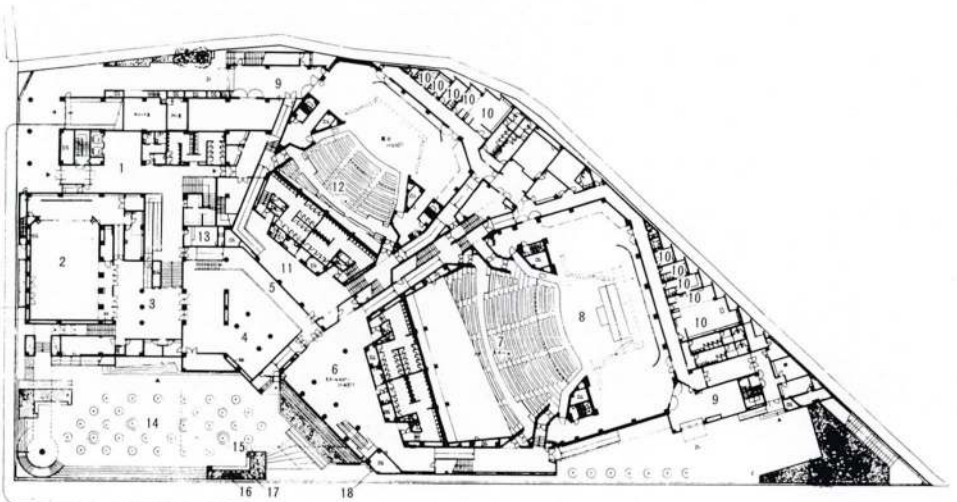
1．ロビー　5．映写室
2．特別室　6．投光室
3．会議室　7．デッキ広場
4．吹抜

3階 平面図



1．エントランスホール　5．大ホールロビー　9．小ホールロビー
2．ホワイエ　6．大ホール　10．小ホール
3．管理事務室　7．調光室　11．太陽の塔
4．レストラン・喫茶　8．音響調整室　12．プロムナード

2階 平面図

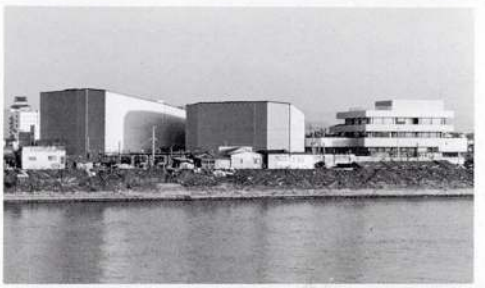


1．エントランスホール　5．ギャラリー　9．大道具搬入口　13．幼児室　17．旗竿
2．市民ホール　6．大ホールロビー　10．楽屋　14．緑地広場　18．公衆電話
3．市民ホールロビー　7．大ホール　11．小ホールロビー　15．時計塔
4．展示室　8．舞台　12．小ホール　16．銘石

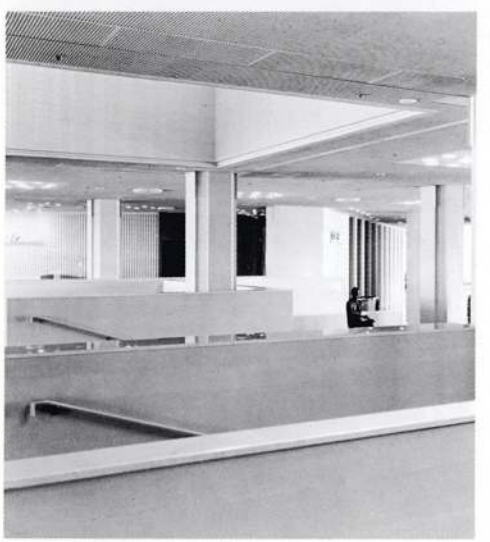
1階 平面図
1：1500







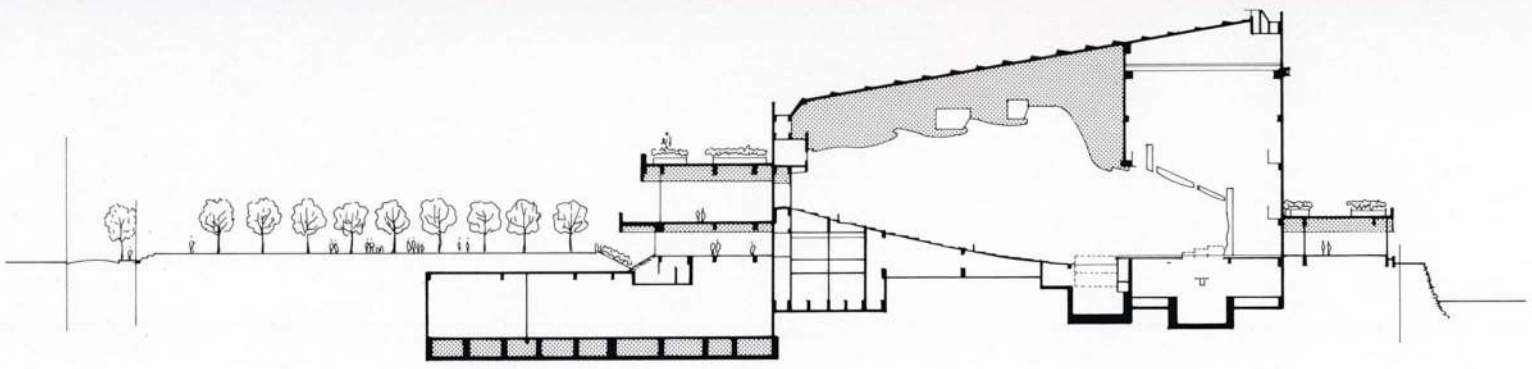




1	3
	4
	5
2	6
	7

1．3階ロビーと吹抜
2．2階エントランスホールより大ホールロビーをみる
3．東南よりみる
4．南西よりみる
5．北よりみる(手前は紀の川)
6．2階ホワイエとエレベータホール
7．2階エントランスホール


丸正百貨店







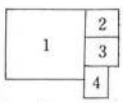




大ホール

性　　格　音楽的催しに重点をおく多目的ホール
収容人員　1,498人　固定席1,310席
　　移動席　180席　車椅子席　8席

客席型式　1スロープ型式
残響時間　1.97sec（空席時）500Hz
舞台型式　プロセニアム型式
舞　　台　プロセニアム開口寸法 巾員19.900 高さ8.900
舞台面積　782㎡
舞台寸法　舞台鼻←→プロセニアムライン 1.800m
　　プロセニアムライン←→ホリゾント幕 14.400m
　　ホリゾント幕←→舞台奥柱面 0.800m
　　舞台奥行 17.000m
　　舞台巾員 40.000m
　　舞台高さ（ぶどう棚まで） 21.400m
　　ぶどう棚上部クリアランス 2.000～4.500m
　　舞台床面高さ（客席レベルより）＋1.000m



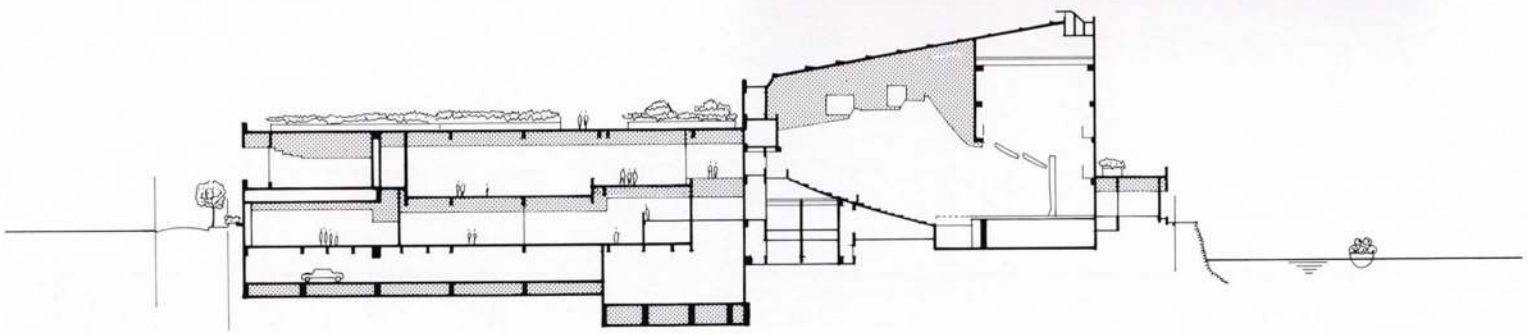
1．大ホール
2．大ホール
3．大ホールロビ
4．大ホール通路

撮影　東出清彦

小ホール

性　　格　演劇的催しに重点をおく多目的ホール
収容人員　700人　固定席　559席
　　移動席　133席
　　車椅子席　8席
客席型式　1スロープ型式
残響時間　1.27sec（空席時）500Hz
舞台型式　プロセニアム型式
舞　　台　プロセニアム開口寸法
　　幅 15.700　高さ 7.200
舞台面積　470㎡
舞台寸法　舞台鼻←→プロセニアムライン 1.700m
　　プロセニアムライン←→ホリゾント幕　10.080m
　　ホリゾント幕←→舞台奥柱面 0.800m
　　舞台奥行 12.580m
　　舞台巾員 32.200m
　　舞台高さ(ぶどう棚まで)17.600m
　　ぶどう棚上部クリアランス 2.000～3.600m
　　舞台床高さ(客席レベルより)＋0.900m





設計監理	日建設計大阪本社
音響技術協力	ＮＨＫ総合技術研究所
施工	飛島建設
電気設備	近畿電気工事
空調・給排水 衛生・ガス	大阪電気暖房
舞台機構 舞台音響	松下電器産業
舞台照明	松下電工
所在地	和歌山市伝法橋南ノ丁１番地
敷地面積	10,505.45㎡
建築面積	8,069.11㎡
延床面積	18,599.35㎡
構造規模	RC、一部SRC、S　BI、4F、PI
工期	昭和52年７月～昭和54年７月
施設内容	大ホール、小ホール 市民ホール(500席) リハーサル室(２室) 会議室(４室) 練習室(３室)、和室(３室)

外部仕上

ホール屋根	アスファルト防水 カラー砂付ルーフィング
デッキ広場 プロムナード	炻器質タイル貼
外壁	磁器質タイル打込 コンクリートリブ付化粧打放しRE-T

内部仕上

大ホール客席	床：ビニールシート、ニードルパンチカーペット 壁・天井：練付合板下地、化粧リブ(米松)LC
小ホール客席	床：ビニールシート、ニードルパンチカーペット 壁：合板下地練付合板、リブ貼(チーク)着色LC 天井：合板布貼EP-1、一部練付合板LC
大・小ホール ロビー エントランスホール ホワイエ	床：ゴムタイル 壁：モルタル布貼E-T 天井：溝付岩綿吸音板

電気設備

変受電	受電電圧	３相３線 ６KV 60HZ
	受電方式	１回線受電
	変圧器	一般電灯用 単相３線 150KVA×３
		一般動力用 ３相３線 300KVA×３
		ホール照明用 3相4線 400KVA×１
		3相4線 300KVA×１
		保安電灯用 スコット結線 150KVA×１
		保安動力用 ３相３線 400KVA×１
発電機	形式	据置形
	出力・電圧	３相３線 ６KV 60HZ 500KVA
	起動方式	圧縮空気による自動
	燃料	軽油

空調設備

熱源	ガスボイラ(蒸気８kg/㎠、1.2T/hr×２台) 冷房時：２重効用吸収式冷凍機(200RT×2台) による開放式供給 暖房時：熱交換器による密閉式供給
空調	ホール系統、一般系統、ベースボードヒータ系統、 パッケージ系統

衛生設備

給水	受水槽60㎥(２槽式、FRP製)地下１階 高置水槽30㎥(２槽式、FRP製)会議棟塔屋
排水	汚水、雑排水２系統。

舞台機構

大ホール吊物

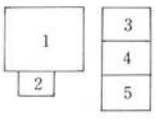
緞帳	2	絞り緞帳	1
引割幕	2	バトン	17
照明用バトン	7	正面音響反射板	１式
スクリーン枠	1	側面音響反射板	１式
ホリゾント幕	1	天井音響反射板	１式
中ホリゾント幕	1	大黒幕	1
定式幕	1	ダメ黒幕	2
ライティングタワー	2	可動プロセニアム	1

小ホール吊物

緞帳	1	絞り緞帳	1
引割幕	3	バトン	11
照明用バトン	7	正面音響反射板	１式
スクリーン枠	1	側面音響反射板	１式
ホリゾント幕	1	天井音響反射板	１式
定式幕	1	大黒幕	1
ダメ黒幕	2	ライティングタワー	2

舞台照明

大ホール調光	入力電源	３相４線 182V/105V 60HZ
	調光ユニット	舞台 100V 60A 白熱灯ユニット×72台
		客席 100V 100A 白熱灯ユニット×６台
小ホール調光	入力電源	３相４線 182V/105V 60HZ
	調光ユニット	舞台 100V 60A 白熱灯ユニット×36台
		客席 100V 100A 白熱灯ユニット×３台



1．小ホール
2．オーケストラ迫りを利用した能舞台
3．市民ホール(１階)
4．特別会議室(３階)
5．レストラン(２階)







和歌山市民会館

施工　飛島建設



1
2

1．会議棟4階より3階デッキ広場をみる
2．屋上より緑地広場と市中心部をみる

主な協力業者

PR

鉄骨	春本鐵工所	大阪市大正区南恩加島6-20-34 TEL 06-552-1461	防水	三星産業	大阪市西区京町堀1-10-17 TEL 06-443-9721
地下室モルタル防水	和歌山ベストン	和歌山市中149-1 TEL 0734-51-8686	石 PCコンクリート	関ヶ原石材	大阪市都島区都島本通4-20-26 TEL 06-922-7661
内部磁器質タイル 広場炻器質タイル	日陶窯業	大阪市淀川区東三国2-36-2 TEL06-392-4928	制作金物	亀井製作所	大阪市西区新町3-9-21 TEL 06-532-0186
硝子	橋本硝子工業	吹田市南金田2-4-10 TEL 06-384-1271	塗装	石渡康三郎塗装店	大阪市阿倍野区播磨町2-6-1 TEL 06-693-2031
エポタイル吹付	三協樹脂建材	和歌山市西河岸町24 TEL 0734-32-3333	ゴムタイル	日満ゴムタイル商事	大阪市城東区関目1-21-11 TEL 06-939-3521
ホール木工事	宮崎木材工業	京都市右京区太秦下角田町5 TEL 075-861-1585	ホール椅子	愛知	吹田市芳野町1-4 TEL 06-380-0601
外装特殊大型タイル	岩尾磁器工業	大阪市北区東天満1-9-18 TEL 06-353-6171	コンクリート	酒直	和歌山市十三番丁5 TEL 0734-31-1231
ステンレス金物	山本金属製作所	大阪市南区西賑町25 TEL 06-761-0127	マンホール ドレン・溝蓋	ニッコー機工	大阪市港区市岡元町1-8-7 TEL 06-582-3121

旭硝子
本　社　〒100 東京都千代田区丸の内2-1-2
GRC部　TEL.03-218-5632
大阪支店　〒530 大阪市北区芝田1-1-4
GRC課　TEL.06-373-5878

御目見え バンバン



うわさの下地材バンバン。いよいよ関西新登場。

扱いやすく、穴あけや切断などの加工がしやすい、とうわさのバンバンが、40万枚の使用実績をもとに、品質にうるさい関西で新発売になりました。このバンバンは、ガラス繊維でねばり強さをつくった石こうスラグ板です。不燃で、加工性がよく、まったく新しい使い心地。しかも表面がなめらかなので、そのままでも、また塗装やクロス貼りの下地材としても、はっきり使いやすさが向上しています。内壁や内装、天井や軒天、押入れや仕切板などにバンバンご利用ください。不燃下地は、黙ってバンバン。これからの建築の、頼もしい不燃材です。

建設省認定　不燃(個)第1466号

ねばり強さが群を抜く

バンバン

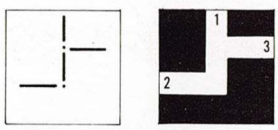
ガラス繊維強化石こうスラグ板

歴史的集落と街路景観―13―

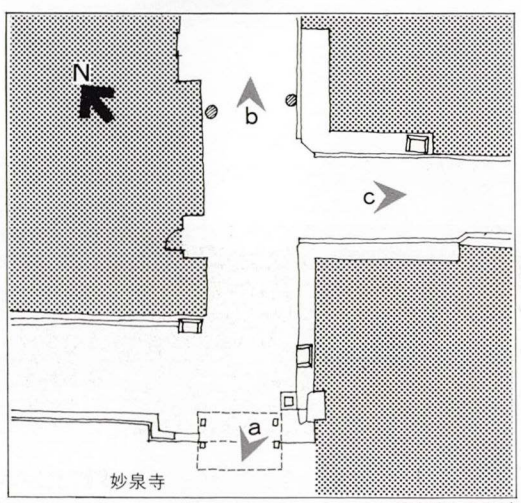
辻景観 その2

紙野桂人（大阪大学助教授）
長瀬信義（大阪大学大学院卒）
渡辺豪秀（大阪大学大学院生）
三木　亨（大阪大学学生）

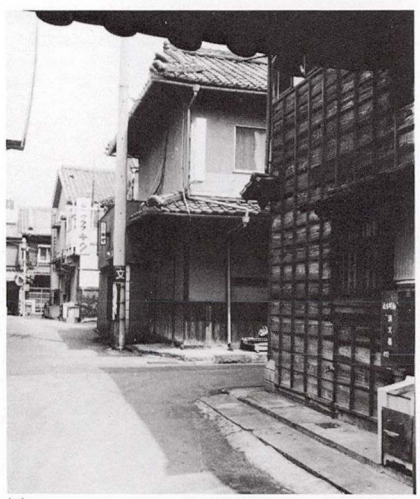
T字路、Y字路などの基本的な三叉路に喰い違いのある場合には、辻の一隅に入隅が生まれ、淀みの空間が意識されて、視覚的には変化のある景観になることが多い。さらに入隅に辻堂や寺の門が配されるといっそう、その効果が高まり、視線をとらえるポイントとなる。三叉路の一方の道が袋小路になっている場合には、辻と袋小路が一体として意識され、袋小路は辻を出入口とするひとつの界隈を感じさせる。三本の道が一点で交叉しないような辻においては、辻が空間的に拡大することで、ひとつの広場のようなまとまりのある外部空間としての意味を持ち始め、集落内の公共的なたまり場として、様々な行為を誘発する辻となる。三叉路の一角に店舗が位置する場合、時として辻を覆う天蓋が張り出されることがある。この場合には、天蓋によって辻空間が明確に仕切られ、屋内生活のにじみ出した準私的な空間になってしまう。



二本の道の喰い違いによって、3本の道のどちらから見ても視界がさえぎられアイストップが形造られる。この事例では喰い違いの要点に寺の門（妙泉寺）があって、空間の流れを受けとめ、印象を強くしている。（写真b）



貝塚（1：300）



(a)

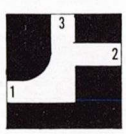


(b)

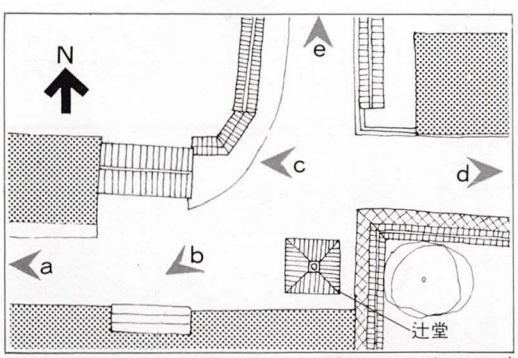


(c)





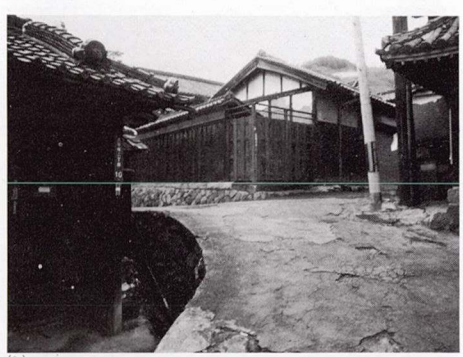
西斜面の山麓に立地する集落（大平寺）の中心に位置する辻で、ふもとから登ってくるにつれ、道の喰い違いによって生じた入隅に配された辻堂がまず正面に現われ、特徴ある景観をなす。（写真a）　辻の入隅が効果を発揮して魅力的な景観になっている。



大平寺（1：300）



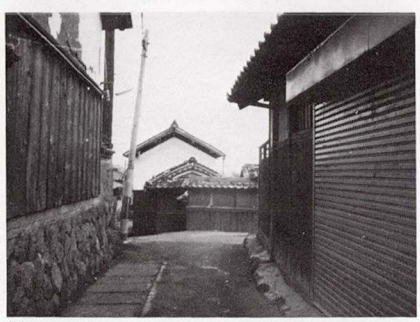
(a)



(b)



(c)



(d)



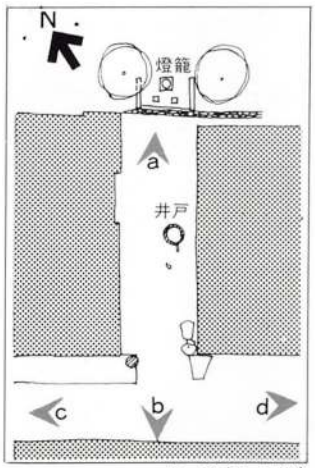
(e)





井戸、燈籠などの要素が生活感のある路地空間を演出している。（1）（2）から辻を見ると普通の三叉路と変わらないが（写真c、d）辻に立ってみると路地全体が一体として感じられてくる。


(c)

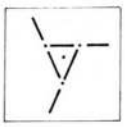


駒ヶ谷(1：300)


(a)

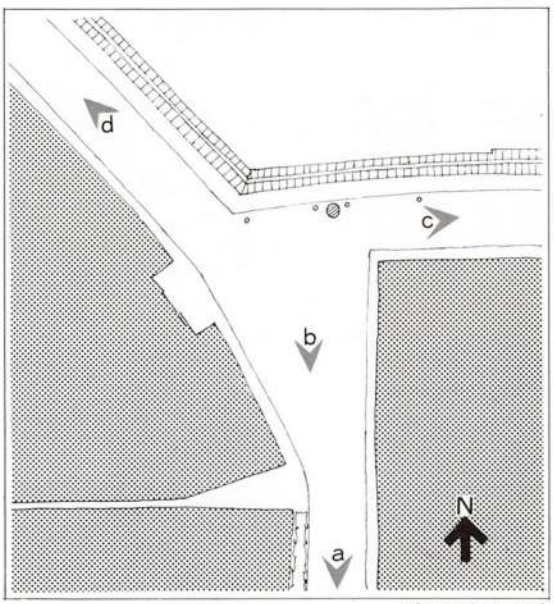

(b)


(d)





三叉路が集まり辻が拡大して小広場となった特殊な例である。公共広場に洗濯物を干しこの辻空間が共同生活のたまり場になっていることを示し、生活感が感じられる。



富田林(1：300)


(a)


(b)

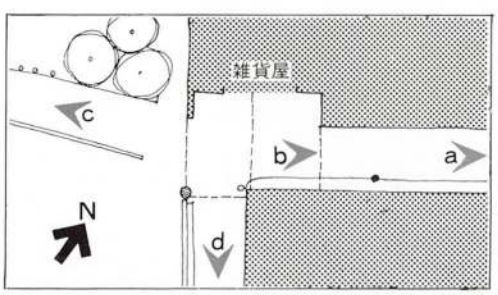

(c)


(d)





辻平面型はY字型三叉路であるが、辻空間は雑貨屋の店先に掛けられたキャノピーによって覆われて、準私的な空間となっている。



信達(1：300)


(a)


(b)


(c)


(d)

イメージ・フレッシュ





ハーティーな壁タイル

ピエーメ・ファミリー・シリーズ

世界の新しいタイルのさきがけ。
それがイタリア・ピエーメ社の新製品「ファミリー・シリーズ」です。
シックで、しかも可愛いいデザイン。
サイズも150角と手ごろで、使いやすさも抜群。
キッチンやバスなど、一家のいこいと団らんの場に最適の「ハーティーな壁タイル」です。

写真は、ピエーメ・タイル(ファミリー・シリーズ)150×150×8㎜。材料はサスオロの赤い陶土、そしてマジョリカ陶器の技術を継承。
イタリアの風土と伝統から生まれたタイルです。デザインは、手描き施釉およびその味わいを残したプリント施釉。狭いスペースにも充分対応できるサイズで、高い精度は1ミリの狂いもありません。
■参考材料設計価格 14,000円/m²～16,700円/m²

■カタログ・資料等ご希望の方はお申込下さい。

ピエーメ・タイル(イタリア)
日本総代理店

明日をになう建築用セラミック
志野陶石

●「日本のやきもの」の伝統を継承した「工芸クラフト・タイル」
●「イタリアとドイツ」で焼かれた「装飾タイル」
●「住まいのやきもの」陶製ファニチャー

本社：〒604 京都市中京区御池御幸町西・北側 ☎(075)222-2311㈹

●東京営業所☎(03)502-3261㈹ / ●大阪営業所☎(06)943-1536㈹ / ●名古屋営業所☎(052)971-2315㈹ / ●京都営業所☎(075)222-2311㈹
●福岡営業所☎(092)271-3213㈹ / ●仙台営業所☎(0222)63-2818㈹ / ●高松出張所☎(0878)35-0311㈹ / ●土岐工場☎(05725)4-6175㈹

日本建築協会法規委員会

法令コーナー

質疑などの投稿をお待ちしております。

141

「総合設計制度の取扱い要綱」の改正（その3）

第2章　許可申請書作成方法

1．許可申請書添付図書

(1)　建築基準法第59条の2による許可申請書
（市細則第1号様式）

(2)　理由書
許可を必要とする理由を詳細に書くこと。建築主が署名捺印すること。（書式は自由）

(3)　公開空地の維持管理に関する誓約書
公開空地を適正に維持管理すること及び譲渡する場合はそれを継承する旨の誓約をすること。建築主が署名捺印すること。（書式は自由）

(4)　許可申請用図面
透視図、用途地域区分図、建物現況図、設計概要図、敷地及び床面積求積図、公開空地計画図、公開空地求積図、投影面積算定図、日影時間図、動線計画図、各階平面図、立面図、断面図（住戸タイプ別平面図（1/100程度））

(5)　その他
建築物の用途、規模、形態等により、市長が必要と認める図書（防災計画書等）

(6)　許可申請書の提出期限
建築審査会開催日の10日前までに、提出すること。

2．図書作成上の留意点

(1)　図面右下に、設計者の住所、事務所名、建築士登録番号、氏名を記入し、設計者印を捺印すること。

(2)　用途地域区分図は、縮尺1/25,000以上とし、用途地域別に着色し、凡例を記入すること。

(3)　建物現況図は、縮尺1/1,500以上とし、申請地周辺の建築物の主要用途別に、敷地単位で着色し、凡例を記入すること。また、敷地周囲の建築物については、構造、階数を記入すること。

建物現況図の指定色

用途	色別	用途	色別
申請地	赤	旅館、ホテル、カフェー、料理店等	むらさき
住宅	黄	興行場、遊技場、キャバレー等	黒
店舗	赤	官公庁、学校	茶
会社、事務所	ももいろ	公衆浴場	みずいろ
工場	青	寺院、神社、教会	こげ茶
倉庫	おうどいろ	公園・緑地	緑
ガレージ	きみどり	空地	白 空地
病院、診療所	だいだいいろ		

（注）その他の用途については、指定色以外で着色すること。

(4)　設計概要書には、下記事項を記入すること。
工事名称
主要用途
建築位置
地域、地区（用途地域、指定容積率及び防火地域等）
敷地面積
建築面積（空地率（建築基準法施行令第136条）の検討）
延べ面積
容積率対象床面積（容積率）
公開空地面積（公開空地率）
割増床面積の算定
有効公開空地率の下限の算定
構造
階数
最高高さ
塔屋最高高さ
（住戸タイプ別戸数内訳）
駐車台数
各階床面積表

階数	床面積A	車庫等の面積B	A－B
R階			
｝			
B階			
合計			

消防用設備の概要表

(5)　公開空地計画図は、縮尺1/300以上とし、公開空地の施設、植樹計画等を記入すること。なお、1階平面図と兼用してもよい。

(6)　公開空地面積求積図は、縮尺1/300以上とし、指定容積の異なる2以上の地域にまたがる敷地の場合は、その境界線を記入し、それぞれの敷地面積を記入すること。

(7)　斜線緩和の許可を要する場合の投影面積の検討図は、縮尺1/600以上とすること。

(8)　動線計画図は、縮尺1/300以上とし、緊急車動線（赤色着色）、一般車動線、歩行者動線、ゴミ収集車動線等を記入すること。

(9)　各階平面図は、縮尺1/300以上とし、地階から塔屋平面図の順に添付すること。

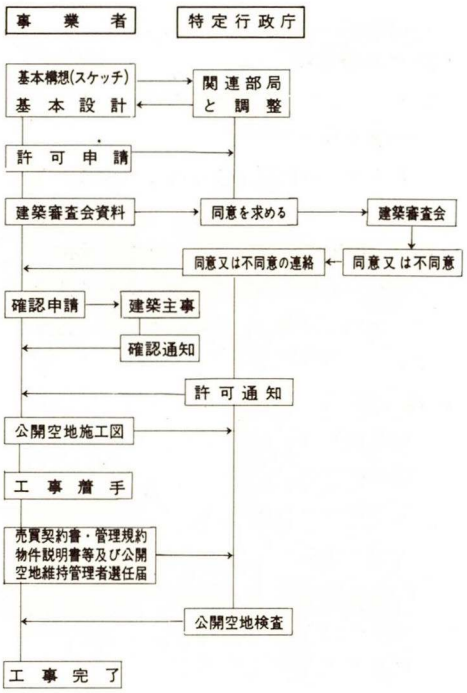
(10)　立面図は、縮尺1/300以上とし、2面以上添付すること。
なお、斜線緩和の許可を要する建築物については、一般規制の斜線を記入すること。

(11)　断面図は、縮尺1/300以上とし、2面以上添付すること。なお、(10)同様、斜線緩和の場合には、一般規制の斜線を記入すること。

3．建築審査会資料

許可申請用図面（敷地及び各階床面積求積表防災計画書を除く）を左とじ、¼判型（40cm×55cm、¼判型にマイクロ化してもよい）で背貼製本し、工事名称を記入し、20部作成して、建築審査会開催日の3日前までに指導課指導係へ届けること。なお、各図面の右下に図面名称及び図面番号を記入すること。

4．総合設計許可の処理経路



（大阪市建築指導部指導課　足立　幸一）

「建築関係法令の研究・8」刊行

かねてから、日本建築学会建築計画委員会建築規準小委員会では、その研究成果をとりまとめて「建築関係法令の研究」を刊行してきたが、このたびその8号めを発刊した。

この号は、(1)建築基準法関係コンメンタール、(2)建築関係法令に関するアンケートとその回答、ならびに回答の分析、(3)アンケート回答に基づく研究、の3部からなり、これに関連資料等を加えたものとなっている。

一般にも頒布されているので、購入ご希望の方は、日本建築学会資料頒布所（〒104 東京都中央区銀座3－2－10）、または日本建築学会近畿支部（〒550 大阪市西区靱本町1－8－4）まで申し込まれたい。

頒価2000円＋送料200円で頒布中。

なお、「建築関係法令の研究」の第4、5、6、7集はバックナンバーが残っているので、入手希望の方は、上記へ問い合わせのこと。

日本建築協会建材委員会

新建材紹介コーナー

〈新建材紹介　No. 64〉

化学架橋ポリエチレンフォーム『サンペルカ』

三和化工株式会社

本社・工場　〒613　京都府久世郡久御山町下津屋下ノ浜代７番地　ＴＥＬ 0774(43)1515（代）
関東販売部　〒101　東京都千代田区岩本町１丁目２番11号(北村ビル)　ＴＥＬ 03(863)1181（代）
関西販売部　〒541　大阪市東区平野町２丁目９番地(タグチビル)　ＴＥＬ 06(231)6056（代）

サンペルカとは

サンペルカは化学架橋剤※で架橋したポリエチレン樹脂発泡体です。

その構造は完全独立気泡であるため吸水性はほとんどありません。また、独立した気泡が断熱性、伸縮性にすばらしい効果を発揮します。サンペルカの用途は建築・土木の伸縮目地バックアップ材から断熱材まで広く応用できます。

■ 特　長

1．伸縮性にすぐれています。
2．断熱性にすぐれています。
3．耐候性にすぐれています。
4．吸水・吸湿性がありません。
5．耐薬品性にすぐれています。
6．加工性にすぐれています。
7．軽量です。

■ 断熱性

サンペルカは80%以上が空気からなっているためすぐれた断熱性を発揮します。しかも吸水性がないため、熱伝導率は一定しております。

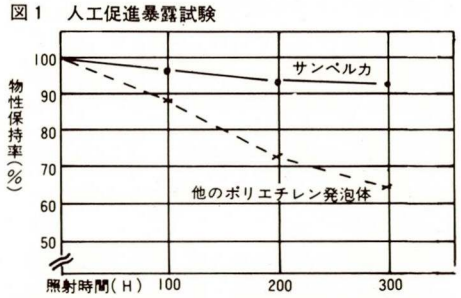
■ 耐候性

サンペルカはポリエチレン樹脂であり、しかも高度に架橋しているため、耐候性はすぐれています。（図―１参照）

■ 難燃性

サンペルカＮタイプ品は特殊な処理をしておりますので自己消化性です。（表―２参照）

図１　人工促進暴露試験



表―１　燃焼試験(グレードについては表―２参照)

	項　目	L－2500NA	L－2500N
垂直試験 (TSOC－72b)	燃焼距離(インチ)	8	30
	燃焼時間（秒）	11	20
	ドロッピング燃焼時間（秒）	0	0
水平試験 (ASTMD－1692)	燃焼距離(インチ)	0	0
	燃焼時間（秒）	0	2

※架橋とはポリエチレンの分子構造は炭素-水素分子が直鎖状になっており、これを架橋剤（過酸化物で）網目状に結合して改質することです。

■ 物　性（表―２参照）

表―２　サンペルカの物性

項目 / 試験法 / 単位 / グレード	みかけ密度	引張強さ	伸び	引裂強さ	圧縮かたさ	圧縮永久歪	加熱寸法変化	吸水率	熱伝導率	燃焼性
	JISK6767	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	三和法	A.S.T.M D1692
	g／cm³	kg／cm²	%	kg／cm²	kg／cm²	%	%	g／cm²	kcal/mhr℃	－
L－1400	0.070	8.2	120	3.5	1.00	1.8	−0.9	0.001以下	0.041	可燃性
L－2500	0.030	3.7	330	2.0	0.40	2.6	−3.2	0.002以下	0.036	
L－2500N	0.031	3.8	300	2.2	0.40	2.7	−2.6	0.002以下	0.036	難燃性
L－2500NN	0.034	3.0	350	1.8	0.40	5.4	−3.0	0.002以下	0.037	
S－0900	0.090	9.2	130	3.4	0.90	3.1	−2.0	0.002以下	0.050	可燃性
ベルカタイト	0.072	9.4	110	3.2	1.00	2.1	−1.1	0.001以下	0.041	

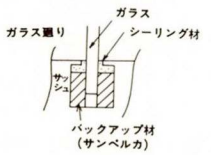
表―３　目地板用物性

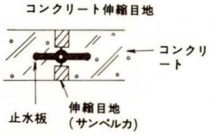
項　目	単　位	L－1400	試験方法
みかけ密度	g／cm³	0.07	JISK6767
圧縮荷重	kg／cm²	1.63	ASTMD545－65
回復率	%	99.8	〃
はみ出し量	m／m	1.10	〃
吸水率	%	2.8	〃
収縮率	%	0	SRIS0101－65
引張強さ	kg／cm²	8.0	JISK6301－69
硬　度	－	36	SRIS0101－65

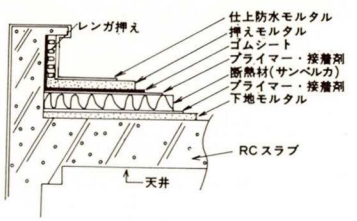
表―４　サンペルカと他の目地板との比較表

	サンペルカ	瀝青質	繊維質
運搬	軽量(10ｔ×１㎡当り 0.7kg)のため手間がかからないです。	重量(10ｔ×１㎡当たり約13kg)のため手間が多いです。	重量(瀝青質の約1/2)のためサンペルカより手間は多くかかります。
取り扱い	冬夏の温度変化にも材質的変化をせず、手荒な取り扱いにも破損の心配が全くありません。	冬は硬く、夏は軟く、破損やはみ出しが大きいです。	冬夏の温度変化には材質的変化は余りしませんが、手荒な取り扱いには破損します。
施工後の状態	常に目地部はコンクリートと密着状態です。また、はみ出したり目地部の汚れも全くありません。	コンクリートの伸縮にたいして一度、はみ出せば復元せず隙間が空き、はみ出した状態になります。	復元率がサンペルカより劣り多少の隙間が目地部に発生します。
復元率	99.8%	60%	70%

■ 施工例（下図参照）







■ 用　途

建築用　ＰＣ板、ガラス廻り、カーテンウォール、アルミサッシュ廻りなど

土木用　一般道路目地、高架橋道路目地、護岸、運河、水路目地、コンクリート建造物用目地、防音壁目地、擁壁目地、防油堤目地など

■ 製品仕様

（表―５参照）

表―５　製品仕様

品名	サイズmm	厚さ mm	色
サンペルカ	1000×1000	5、10、15、20、25、30、35、40	黒、灰

建材委員／牧田顕治（大建建設工業㈱専務取締役）

読者の頁

マイ・フォト――

〈ヴェネツアの裏町〉



柴田正己／堺市立工業高校

メインストリートとも云うべきキャナル・グランデの両側にはゴシック、ルネサンス時代のパラツオがこの都市の古さと過去の栄光を静かに物語っている。しかしそれらの建物の多くは老朽化が進んでいる。その上地殻の隆起と沈下、海水の水位の上昇などの自然の大きな営みによってこの中世の美しい都市が水没しようとしている。かつて地中海沿岸の多くの古代都市が水没したように。
しかしあらゆる人類の英知を結集してこの都市を救う努力がユネスコを中心にくり広げられている。人間が住むための快適な環境はいかにあるべきかを教えてくれ、そんな素晴らしい町をなんとしても守らなければならない。夕陽に照らされた物言わぬこれらの建築群はかつての栄光の町ベネツアへの再生を願うかのようでもあった。

鵬翼の陣をめざす住まいのなかの彫刻考展



建築家と彫刻家が手を組み、使う人たちや、まわりの人たちと一緒に、その施設なり文化を創生していこうという立場（これを鵬翼の陣になぞらえたもの）でやっている小グループがある。彫刻家田村務と建築家平野憲司がそれで、そのひとつの作品として、山口県福栄村農業担手育成センターとその内部の壁につける野焼陶板レリーフがあり、このほど(8月20日～25日)、大阪市北区のマサゴ画廊で、素朴で未消化の感はあるが、その彫刻考展が開かれた。（A・M）

無表情環境のなかで

上谷重男／U建築企画室

――自然観――

地球という球体において珍らしいほどの四季折々の異なった表情を見せていた自然環境、世界有数の美しさを有していると思われて来た海岸線、このような環境も日本の各地で失われてゆき徐々に個人の手の範囲から離れてしまいつつある。

自然環境を意識することなく生活することが非常に不得手な日本人は、その反動とも言える一戸建住宅に夢を託して、その狭いスペースの中に自らの自然解釈を入れてゆこうとする。そして休日は多くのマスコミが創り出したであろう新しい環境の中に身をゆだね、消化不良を起す。

――地方性と開発――

日本の一つの典型的な風景である田園風景というものも、新幹線の高架により分断され連続した美というものは失われてしまった。新幹線公害におけるこのような「騒音公害」等に見られる物理的な面は多くの議論の対象になって来たが、文化的な面は論じられることは少なかった。しかし開発の行為によって起ってくる問題は「物理的な面」と同程度に、「文化的な面」が存在しているということも忘れてはならない。

多くの場合、新幹線の駅舎に立った時、本来ならばその地方で懐かしく聞くことが出来たその地方の方言が、その駅舎の中では奇妙に聞えてくることが度々ある。このような雰囲気の違和感は徐々に駅周辺へと拡大してゆく。その地方で育って来た方言が、その風土の中で語られる、それが不自然なということは何故であろうか。おそらくそれは環境の急激な変化に地方風土がついてゆけなかったためであろう。

今後における環境開発というものの中にその地に存在している「文化」「風土」というものに充分な配慮を考えるべきである。

（一部抜すい）

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

建築と社会 ニュース

ニュース原稿をお送りください。

海のまち 新しい世界——
ポートピア'81
1981年春開催 神戸ポートアイランド博覧会

トピックス その3
会場内恒久建築物の概要

田中直人／㈶神戸ポートアイランド博覧会協会事務局

「21世紀の海上都市」といわれるポートアイランドでは、神戸ポートアイランド博覧会〝ポートピア'81〟が、昭和56年3月に開催される。各施設の計画および建設は、この時期に間に合わすべく急がれている。〝ポートピア'81〟の特色の一つに、仮設的に設けられるパビリオンの他に、神戸市が計画している恒久施設を会場施設として利用することがあげられる。今回は、それら恒久施設の概要を紹介してみたい。

国際交流会館

インターナショナル・スクエアの中心に位置し、地下1階から地上4階までは、国際ホール、会議場、中小会議室、5階から9階には、外国公館、国際親善団体、貿易商社、研修所、研究所、文化団体等、10階から11階にはテレビ局を誘致して、国際的な取引と交歓活動の場としての機能を有し、経済、情報、文化の拠点となることが期待されている。

ポートピア'81では、協会本部等のサービス諸機関が位置する他、国際ホール、会議場では各種の催物や会議が予定されている。

国際展示場

国際交流会館と共にインターナショナル・スクエアの一画に位置し、1階3000㎡、2階3000㎡の展示面積を有する施設である。分割使用も考慮して可動間仕切を配備し、2階部分の展示場は、トップライトを有した自然採光のある展示場とし、多様な利用方法にも対応できる空間として計画している。

平面計画では展示ゾーンをはさんで北側に来客者ゾーンを、南側にサービスゾーンを配置し、動線を明確に区分している。

ポートピア'81では、各種の団体、グループ等の出展にともなう展示が計画されている。

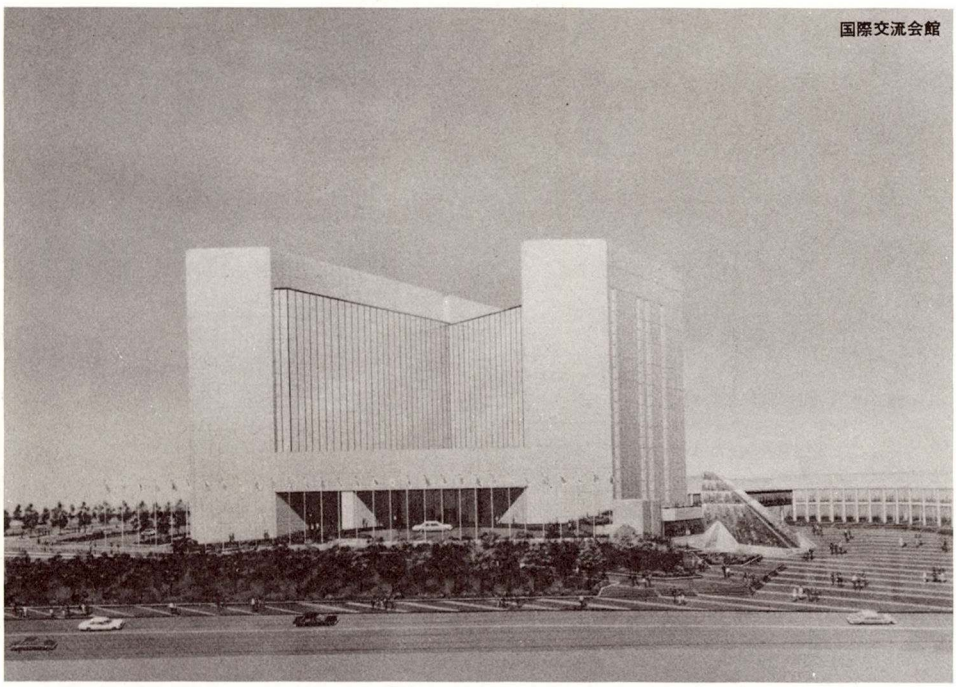
ポートアイランド屋内水泳競技場

ポートアイランドの事業完成記念として計画されたこの施設は、国際競技会が開催できる大プール、飛び込みプールの他、近隣箇所に建設予定の環境工場の余熱の再利用を図った温水プール等を有する市民のレクリエーション施設である。また冬季には、50m競技プール部分に仮設床を設置し、国際規定クラスのホッケーリンク、フィギュアリンクとして転用する計画としている。

ポートピア'81では、この施設の特色をいかした各種の屋内での催物が計画されている。

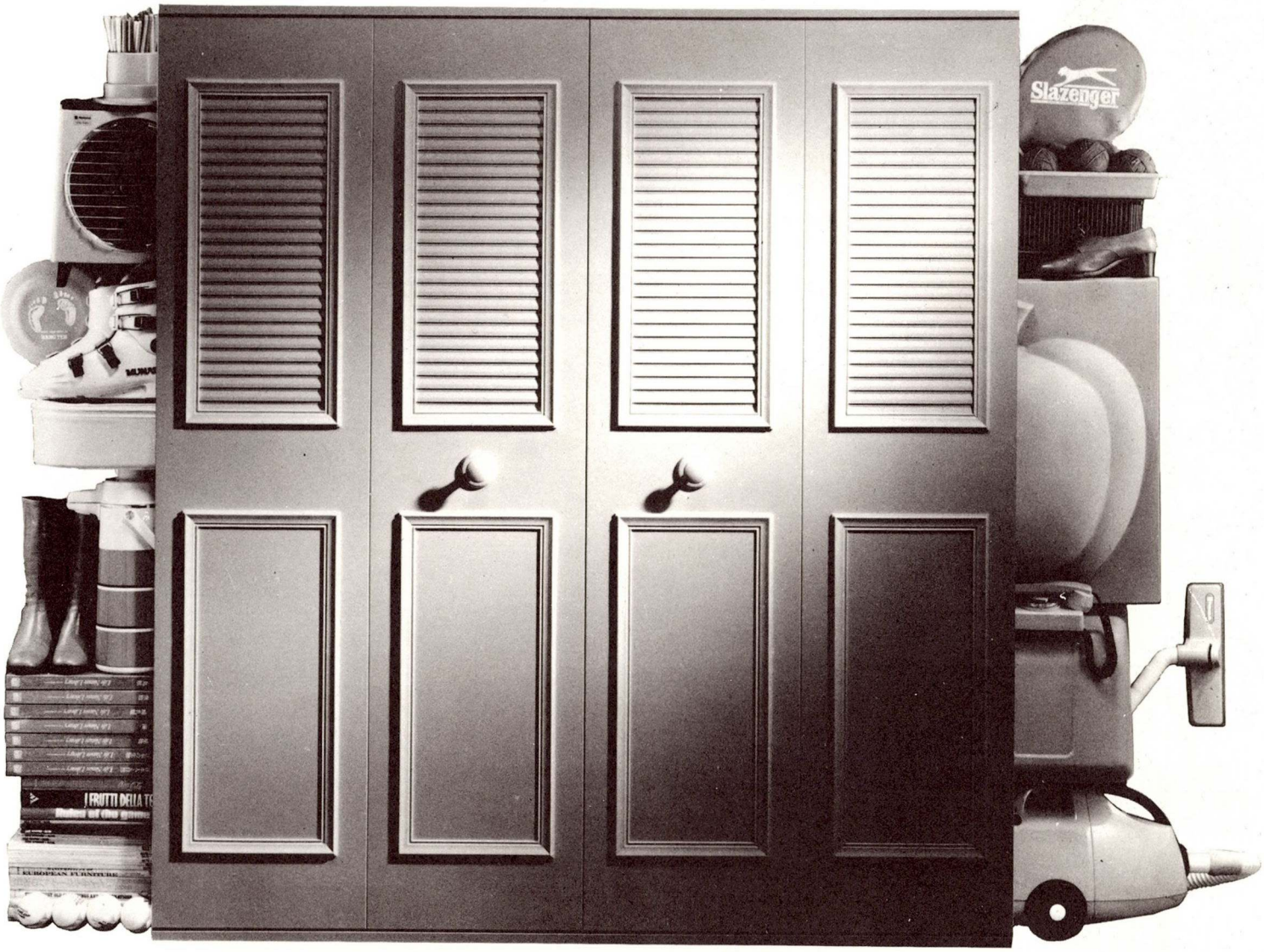
建物概要

恒久建築物	所在地	敷地面積 (㎡)	建築面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	構造規模	工期 昭和・年・月
国際交流会館	神戸市生田区港島中町6丁目	6,759.14	5,066.58	29,182.21	SRC（梁S）11F，B1，P2	54・6～55・12
国際展示場	同上	10,200	5,883.31	11,376.45	SRC(1部RC,S)3F，P1	54・6～55・11
ポートアイランド屋内水泳競技場	同上	10,698.44	7,653.75	11,769.86	RC(1部S,SRC)3F，B1	54・8～56・1


国際交流会館


国際展示場


ポートアイランド屋内水泳競技場



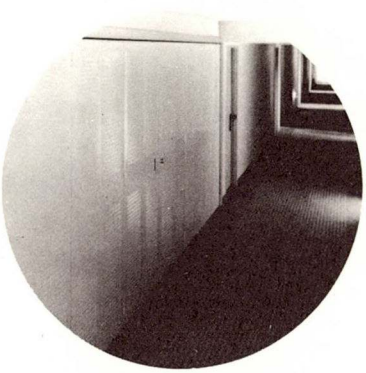
押し入れはお仕着せ

クロセットドアー®

見かけだけどれだけすばらしい家であっても、収納と整理がスムーズでないかぎり、快適な生活は望めません。はたして「押入れ」は、どの部屋で何が使われ、またいつ必要か?、使われる回数はどのくらいか? など、生活者の住行動 全体を見渡して考えられた収納のありかたと言えるでしょうか? 収納物に見合った奥行に切り詰め、垂直方向にいっぱい利用する合理的な収納ブースの設計を、クロセットドアーなら可能にしてくれます。

クロセットドアーは、スチール製の収納ブース用目かくしパネルで、屏風形式のため開き方向へのデッドスペースも少なく、しかも上下にあるガイドレールにより大変スムーズに開閉できます。また、木製ドアーのように、冷暖房による室温変化で、伸縮や歪みもなく、半永久的にご使用いただけます。







UNION

株式会社 ユニオン

●本社
大阪市西区南堀江2-13-22 〒550 ☎06(532)3731(代)
●東京営業所
東京都墨田区石原4-3-1 〒130 ☎03(625)8131(代)
●名古屋営業所
名古屋市東区車道町3-1 〒461 ☎052(935)6021(代)
●虎ノ門ショールーム(17森ビル1F)
東京都港区虎ノ門1-26-5 〒105 ☎03(508)2558(代)

建築の眼

古川　修
京都大学教授

一ノ瀬　周太郎
兵庫県都市住宅部長

浦辺　鎮太郎
浦辺建築事務所代表取締役

福嶋　孝之
長谷川工務店常務取締役
技術本部長

7月号から12月号まで
上記4氏が担当



学生数は多すぎるか？

大学の建築学科の学生数が多すぎるという説が大分以前からある。現在、全国の建築学科の1年分の卒業生は定数上 9,000人余りとされているが、実際には13,000人に及ぶのではないかと推定されている。我々の年代、たかが数百人に過ぎなかったのにくらべればたしかに目を見張る数ではある。それにこ、数年の景気停滞の時期、学生の就職には困難と苦労があった。

一方、1年間 150万戸の住宅のうち、大学卒の建築技術者が関与していないものは 100万戸に近いと思われる。また許可建設業者は47万社あるが、中小零細の企業で彼等が働いている例は極めて少ない。これは私の地方廻りの経験的判断である。大都市地域には多くの建築青年が集まっている。その一方彼等にほとんど縁のない地域はへき地、離島にかぎらずすこぶる多い。このような実態からすれば、どうも建築学科の卒業生が多すぎるとは単純には言えないような気もする。それにしても就職期に入った昨今、学生の求職は依然として、大手企業に極端に集中している。　（FO）

内法（うちのり）の表現

住宅は、3DK、3LDK、……で、一般の人々には、その大きさが理解されている。マンション等の広告でも、その大部分が、この表現が用いられている。しかしこの表現だけでは、何帖の部屋が、何室あることは、わかっても、どんな大きさのタタミが敷いてあるのかまでは、わからない。

普通、使われている、タタミの種類は、メートル畳、京畳、田舎畳、などがあることは、建築関係者以外の人には、あまり知られていないのではなかろうか。……

だいたい部屋の内法の面積は、

6帖……（ 2,700× 3,600）≒ 9.7平方メートル
8帖……（ 3,600× 3,600）≒13.0平方メートル
10帖……（ 3,600× 4,500）≒16．2平方メートル

以上が　望ましい。

若い住宅需要層は、メートル法の、社会で育っている。何帖、何帖と云うより、何平方メートルの部屋と表示し、（　）内に、タタミ数を、書くような、表現にしたら、どうであろうか。……　（IS）

機能主義と装飾

機能主義（Functionalism）は1870年来欧米に出現した科学的方法論の一つで、機械的唯物論への反撥によるといわれている。人間機械論などが横行した19世紀に生物学の方面から機能主義が提唱され社会学、法律学に及んだ。芸術論にも影響を与えて建築・工芸・デザインに亘り、殊に日本では支配的理念となった今日、再評価と反省を含んだ見直しが行われるに至っている。何れにしても機能主義建築論には先行した次の偉大な存在を忘れることは出来ない。

A．ルイス・サリヴァン	（アメリカ・シカゴ）	1856—1924
B．ヴァン・デ・ヴェルデ	（ベルギー→ドイツ→スイス）	1863—1950
C．ル・コルビュジェ	（スイス→パリ）	1887—1965

〝形は機能に従う〟(A)〝純粋な形〟(B)の主唱者には、この言葉と矛盾すると思われる装飾が離れ難い関係でつきまとっている。何故かと言えば(A)の〝機能〟と言う意味はラマルク（1744——1829）の生物進化論から影響を受けたものであり(B)はドイツ・ロマン主義が肉体化している為である。〝住宅は住む為の機械である〟(C)に至って始めて今日の機能主義となった。生物——人間を含む——から機械への類推に至る(C)が装飾を一掃したのであるが、装飾については、(A)(B)(C)を総合して見直す秋であろう。

（US）

発想の転換

従来の施工法を改める事から新しい設計仕様の開発がもたらされる例がある。床スラブの施工は従来、仮枠の施工、配筋工事の後、設備工によるスラブ内配管類の施工、配管の手直し、コンクリートの打設の順で行われているが、設備工によるスラブ内配管類の施工を省く事により配筋及びコンクリート打設の精度が目立ってよくなる。コンクリート床スラブに根太を敷く床工法が一般であるが、スラブ厚を大きくしてフェルト白カーペットを直かに敷込む事により遮音性能が向上する。高層集合住宅にこのような工法を採用する事により、躯体壁面に設備配管を取り付ける工法が開発され、いわゆる水廻りが集約される。水廻りを集約する事によりさらに配管類の点検、取り換えが簡単な設計へと発展する。妻壁の上・下のコンクリート打継ぎ部分は施工上充分な注意が必要な部分である。妻壁面に各階共バルコニー、又は庇をまわす事により仮枠支保構の施工性が改善される。設計仕様の規準化により、あるレベル以上に品質の向上をはかるところに標準設計採用によるメリットの一つがある。設計仕様の規準化に対して従来の施工方法の見直しがもたらす意義は大きい。　（FT）

特集●80年代のインテリア

総論

●「直し」の季節に―80年代のインテリアのための覚書―／向井正也

各論1.

●内部空間の外部化の波は怒とうのごとく日本に押し寄せる―か？／中小路泰久・駒田哲男

●〝住まい手〟と〝造り手〟相互の〝住まい方〟に対する哲学／山内陸平・加藤　力

アンケート―80年代のインテリアを考える

●変身―80年代のインテリアを考える／今江祥智

●人が家の中に／篠田桃江

●昭和グロテスク／鴨居羊子

●良いものをいつまでも大切に／青木京子

●インテリア―この内面的なもの―現代の室内についての断片的な思い／長部　幸

●覆いかぶさってくる規格化に抗する手段としてのインテリアが……／宮脇　檀

●再生としてのインテリア空間―機能の回復／森本正一

●省エネルギーとインテリア／中村　猛

●これからの和風のインテリア／山片三郎

●インテリア以前の課題解決と幻惑的言辞をつつしみたい／柴辻政彦

●これからのムード照明／河田益典

●商業空間としての80年代インテリア思索／赤松良一

各論2.

●これからの家具―椅子／光藤俊夫

インテリア空間実例　16点



本号特集編集幹事

菊地　平・柴田幸雄・安田清次・安永一典・山崎慶昭・安芸洋一・岩橋一豊・岡本弘之・嶋　昭夫・稲垣雅彦

「直し」の季節に ―80年代のインテリアのための覚書―

向井 正也

80年代などといったところで、それはもはやここ数ヵ月でやって来る以上、もとより今日の状況そのままの延長ともいうべききわめて身近な問題だと考えられるものの、この十年、社会経済の激動のプロセスの中での70年代の建築のあり方からおしはかって、80年代もやがてはそれに固有の特異な様相が、必ずや建築のインテリアにも反映するものと思われる。

私は現時点で考えられる、そうした来るべきわが国の住文化の特異な時代的様相を、ごく一般的に、「直し」の季節として規定しようと思う。「直し」にもいろいろある。「見直し」、「手直し」、「やり直し」、そして「建て直し」に「焼き直し」等々。この中でこの際あまり建築的に望ましくないのは「焼き直し」ぐらいのものだろう。

「直し」とは要するに、歪みやねじれをもとのように真直にすることだが、今やこの新しいディケードを目前に、われわれは60年代の高度経済成長と、その延長としての70年代がもたらした住様式に関するもろもろの歪みや欠陥を、今あらためて「見直し」（再考）、それから生じた不良部分や傷跡を「手直し」（修理、治癒、または正しい意味での復元など）する必要にせまられている。

ところで一概に「直し」といっても、60年代以降猖ケツをきわめた、あのメタボリズムの教義における「直し」の概念とは全く違うことに注意してほしい。メタボリズムの場合、「直し」は何よりも浪費は美徳という「使い捨て」の思想による、いわば「取り替え」の論理であったのに対して、80年代で提唱されるべき「直し」とは、およそこれとは正反対の、省資源、省エネルギーのケチケチ思想にもとづく、部分的補修（Piecemeal）または再生（Renovation）など、「使えるものはトコトン使わんと勿体ない」という「節約」あるいは「倹約」の倫理をふくむものである。

そうした「手直し」の中には、メタボリズムの「取り替え」と一見よく似た場合があっても、それはあくまで一部分の補修的な意味でしかない。たとえばゲタの歯や鼻緒のスゲ替え、煙管の「羅宇仕替」などといった、今ではトンとなじみの薄いものに多く見られるもので、この両者の区別はまず何よりもノッケにはっきりさせておく必要があると思うが、ともかく、いまやそうした昔なつかしいもろもろの風物が、たとえ心の中だけでも、再生しようという、よろずUターン

の「見直し」の気運がみなぎりはじめて来るかに思われる。

価値観なども当然逆転して、一般にデザインなどでも、そのうちこれまた昔ながらの日本的な、いわゆる「貧乏の美学」（Esthetic of Poverty）が、再び一時期のアメリカ的な「豊剰の美学」（Esthetic of Plenty）にとって代わるべく一大攻勢を示すようになるものと推察されたりするわけである。

前おきが長くなったが、こうした私なりの考えをもとに、あるべき80年代の、とくに住まいのインテリアについて考えてみた。その問題点を箇条書きにすれば、つぎのようである。

1．これからのインテリア・デザイナーは即建築家たることが要請されよう。（逆に建築家必ずしもインテリア・デザイナーである必要はない）

2．一般に住まい環境はすべて広義のインテリアと考えるべきである。

3．日本人の住まいのインテリアには民族的伝統が抜きがたく支配することについて再考すべきである。（日本のインテリアの西欧化の限界性に気付くべきときに来ている）

4．日本にはなじまぬ、あるいはイタにつかぬ洋式家具調度類を見限ろう。

5．省資源、省エネルギーの立場から

a．喪われた、あるいは喪われつつあるわが国の伝統的な住様式を見直すべきである。

b．マイカーを断念しよう。（都市空間をもふくむ広義のインテリアから）

6．これからの民家の保存や、広義のインテリアとしての町並みの修景保全を人間的な立場から考え直そう。

以下それぞれの項目についてすこし考えてみよう。

1．私はこの際、「建築」にふかく関わりつつも、この世界で未だに市民権をもたぬインテリア・デザイナーという職能のあり方について再考すべきだと思う。建築の内部空間がインテリア・デザイナーの独壇場というのならまだしも、建築の内部空間は当然のことながらデザイン的に建築家のナワバリの中にあるべきだと思われるが、建築家の中にはかなり造形的センスに欠けた手合いが多くふくまれる関係からインテリア・デザイナーとの共同となるわけだが、こうした事実は、インテリア・デザイナーに建築的な教養や技能や感覚の無用を意味するどころか、より一そう必須不可欠の要件であることはこれまで往々見おとされがちであった。これについてはもっと立ち入った考察が必要と思うが、ここでは要するに結論として、これからのインテリア・デザイナーはどうしても建築教育の課程を経過する必要があることを力説しておきたい。そのことは社会的慣習からする職能上のジャンルの別とはおのずから別の問題だと思われるのである。

2．インテリアというと在来往々にして文字通り建築の内部空間を考えがちだが、これからの住まいのインテリアの全体は、そうしたせまいものではなく、環境計画的に、より広い見地に立つ、いわゆるアーバン・インテリアをもふくめた広義のものとして考えるべき段階に来ているものと考えたい。

3．日本人は、住まいの空間については、「軒下」という過程的空間、黒川紀章の「中間領域」、を介して内と外を融合させるマレに見る開放的な伝統的なすまい方とはウラハラに床面については、上と下とを峻別するところから、一般にインテリアで「土」に関わる空間のデザインは、ともすれば、なおざりになりがちで、いきおい土間の延長としての「都市の床面」、いうなれば青天井の下でのアーバン・インテリアのデザイン操作や処方に関しては、西欧とは格段に劣った伝統を負って今日に至ったといえるが、こうした点も80年代には何とか、西欧のマネは出来ないにしても、わが国はわが国なりにあらためる方向で努力すべきだと思う。

このように外部空間はもとより、住まいの内部空間についても80年代のインテリアは、わが国独自の線を模索すべきだろう。戦後この方、住様式についての脱亜入欧の努力もこのあたりで今一度再考してみる必要が痛感される。

「食」に関しても、たとえば西欧風の肉食はわが国の風土や食生活の習わしに永遠になじまないのではないかなどとその筋の専門家からいわれているが、こうした風土性や民族性は、食よりは住の方向に強く作用すると考えられることから考えても、住まいや都市のインテリアもまた、当然こうした傾向を強くもつものである点にあらためて注目すべきだと思う。

4．上述のように、一般にわが国のインテリア・デザインの欧化は未完のままで限界づけられていると考えうることから、われわれは戦後欧化の過程でわが国の大衆の新しい住様式の一環としてインテリアにとり入れられた一連の洋家具に注目さぜるを得ない。私がここでとくに問題にしたいのは何よりもまず、ベッドやピアノなど、比較的大型の家具調度の類である。いわゆる「ウサギ小屋」的住まいの現実が、そう短期間に容易に解決出来るものではないことは自明であることから考えても、このように大きく容積的に住空間を侵すものは、おそらく商業主義的な線からの一種の流行現象として普及したと思われることからも、マイカーが同様の線で示す悪影響とともに、大いに再考の余地があるものと考えられる。

和風の伝統にならされて来た日本人が、その他居間を飾るイスやテーブルなど、いわゆる洋式家具なども未だ十分つかいこなしうるには至っていないことは、あたかも、学校やオフィス、その他公共建築物には「土足」で入りこみ、イス式生活を西欧並みに十分こなしているかに見えながら、一たん家庭に帰ればどうしても玄関で「下足」としての靴を脱ぐ習慣から脱け切れないところなどにもその一端が示されていよう。

戦後こうした点で洋式家具が一応まがりなりにも日本の住生活に定着し得たのは、子供の勉強机とか食堂のイス、テーブルぐらいではなかろうか。ベッド一つにしても、いまだに工合のわるいフトンを用いる日本人は、こんなことからでも、現時点で西欧風には、これを十分使いこなしうるに至っていないことを明らかに示しているのである。

5．上のベッドの問題はまた一方で省資源、省エネの問題にもからむものだ。西欧風に毛布でちゃんとベッド生活を円滑に行いうるためには冬期暖房を完全にする必要があるし、一面近頃で

は住まいにもようやく盛んに用いられるようになったハメコロシ窓は夏場の冷房を前提とはするものの、通風上の融通が全く効かぬことから、省エネルギーには至って不向きである。

なお一般に省エネルギーの方向での伝統的な住様式への復帰が、そのインテリアをして、いうなれば「風流」な方向に洗練させるというプラスの契機をふくむことも見おとしてはならないだろう。

いつだったか、私は建築雑誌のカラー写真で、ある高名な建築家の設計した茶室が、一見全くオープンに見えながら、その実、冷暖房のために巨大なガラス面で外界から完全に遮断されていることを知り幻滅をおぼえたことがある。

これと同様なことは、またインテリアの照明などについてもいえる。これについても私の経験をのべるなら、ある豪華なレセプション・ルームが、まるでパチンコ店さながらに、昼をあざむく蛍光灯の照明という、エネルギーの浪費のために折角のデザインの品格を落としていた例を思い出す。

谷崎潤一郎の「陰翳礼讃」は、要するに照明における省エネの方向が生活文化的にプラスの方向を示すこと、すなわち残るくまなき明るい照明の野暮ったさ加減を説いたものだが、そのことを谷崎はこのエッセイの中で、斉藤緑雨の「風流とは寒きものなり」というコトバで「貧乏の美学」を肯定しているのである。

マイカーのために、さなきだに狭いマイホームの庭やすまいのスペースが犠牲になっているなどというのなども、やはり省資源が住文化の洗練の方向を指すことを明らかに示すものだといえよう。

6．最後に、インテリアの問題にはちがいはないが、多少スジのちがう面で、80年代に今後もひきつづき問題になると思われるものとして、民家や町並みについての保全修景の問題に一言したい。

先日私は友人の建築家のK君から、先年国の重要文化財に指定され、その復元工事が行われた河内の某民家が、この工事の際、ある部屋が後補だとの理由で取り払われたとの家人の嘆きの声があったと聞かされた。

こうした工事は文化財関係の立場からは「保存」なのかも知れないが、その中に住みついて民家とともに生きて来た家人の立場からすれば、長年住みなれた室の撤去は、それが与える心への傷から考えて、一つの破壊行為にほかならないだろう。私は80年代のこうした民家や町並みのインテリアの保全とは、長谷川堯の「復元という名の偽似イベントの空間化」というイメージの破壊を伴うものではなく、家人や住民の立場からする部分的な手直しのくりかえしによるインテリアのイメージの維持という、「保存（Preservation）ではなく保護（Conservation）」という、トマス・シャープの2つの概念の差を、この際よく吟味してかかる必要があると思う。

（むかい　まさや　　神戸大学教授）

内部空間の外部化の波は怒とうのごとく日本に押し寄せる——か？

中小路　泰久・駒田　哲男

はじめに

現在のインテリアデザインの世界的な指向の中に内部空間の外部化すなわち、空間の構造化・装置化と、機能主義のみにとらわれない内部空間のファンタジック化をあげることができます。

私は建築設計事務所でインテリア設計を長年担当しておりますが、満足な椅子の裂張り地が無く、材料や織りや色彩を検討し試作した時代から、かつて、外国雑誌の主役を占めた家具が手近にチョイス（選択）できる時代へと変わってきています。この事実は、とりもなおさず、設計に要求される労力と時間をセーブ（節約）することとなり、この余力が一面ではインテリア空間のよりよき拡充、光と影の造形へともっていく趨勢となったと考えられます。

つぎに、ニューヨークのプラットインスティテュートに2年間留学し、先年帰社した駒田哲男氏がアメリカでのインテリアデザインの現状とその方向、および背景等を探ります。　（中小路　記）

いま、アメリカのインテリアで特筆すべきことは

フランクロイドライトがマリーン郡庁舎およびグッゲンハイム美術館でその素晴らしさを示したエイトリアム（中庭）の、ケヴィンローチのニューヨークフォード財団ビルへの展開およびジョンポートマンのハイアットリージェンシーホテルとその後のウエスタンインターナショナル系ホテルへの適用において商業的大成功をおさめました。その結果、燎原の火のような勢いでエイトリアムをもつ建物が各地に現れ、インテリアの様相を一変させつつあります。このエイトリアムの空間の特質は一口で言うと、〝内部空間の外部化〟にあります。

以下に、いまアメリカで行われているこうした内部空間の造型手法を取りあげ、いかに外部化の傾向が観察できるか具体的に示します。

手法1．内部空間のマルチレベル化（多層化）と巨大化　デトロイトのルネッサンスセンターにみるマルチレベル化（**写真**①）、およびダラスのハイアットリージェンシーホテルロビー②の大吹抜けエイトリアム（中庭）は、内部空間をスケールの上において外部化しています。

手法2．スカイライト　フランクロイドライトのマリーン郡庁舎およびグッゲンハイム美術館を古い例として、最近注目を浴びたほとんどの建物は、常にうつろい変わるドラマチックな要素をもつ自然光をスカイライトとして採り入れ、内部空間の外部化をはかっています。

手法3．インテリアプランツ　ケヴィンローチのフォード財団ビルでの屋内庭の植栽としての用い方から、最近は、街路の並木がそのまま屋内へはいりこんできたような表現での用い方で、内部空間を外部化する。そして、他にもプランツを用いて屋内外の融合をはかる例が、多くみられます。③④

手法4．水面、流水　本来、屋外エレメントである池、川、滝などを屋内に持ちこむことで、屋内の外部化を演出しています。⑤

手法5．スピード　エスカレーターは目新しいものではありませんが、展望エレベーターは静的であった屋内空間に、機械力によるスピードを持ち込み、外部的ダイナミズムを空間に与えています。展望エレベーターはまた、建物の高層化によって必然的に増す、閉じこめられ息苦しい空間体験を楽しい経験に変えてしまう、すなわち従来のデメリットを一挙に解消して逆にメリットと化し、多くの高層ビルで用いられています。②

回転展望台はこうした装置の中でも大がかりなものですが、アメリカの中都市の大ホテルには必ずといって良いほど設けられています。インテリアデザインは機構的制約のためか、どこのも総じて工

夫がなく面白味がないのにもかかわらず、人気があります。⑥

また、このプラザホテルでは、空間の巨大化――サービス動線の限界化につれて、遊園地で見受けられるような電気カーによる飲物サービスさえ行われ、屋内空間の街路化が見られます。⑦

手法６．外部ファサードを持つ内部建物　アトランタのオムニインターナショナル⑧⑬および、トロントのイートンセンターに見られるように、外部ファサードを持つ建物にミラノのギャラリアのようにガラス屋根をかけた表情で屋内空間が作られ、ヨーロッパ的なプラザおよび街路の雰囲気を屋内に作っています。この手法は、日本のように防災法規が確立した所で、エイトリアムを実現するのに有効でしょう。

手法７．ブリッジ　自然の谿を克服するため用いられた橋は、本来屋外的性格を有していますが、これを屋内に用いて空間のマルチレベル化・ダイナミック化に対応し、同時にそこに、外部イメージを与えています。⑧ ⑨

手法８．外部用建築素材　屋内外の融合を目指すこうした建物では、床なり壁の素材を外部から内部へ連続して用いる場合が多く見られます。ホテルでは、従来、床はカーペット敷きに決まっていたものですが、外部プラザ的なクリンカータイルの舗装などが好んで用いられます。壁も従来のプラスターおよび大理石のような密実な素材から、コンクリート打放しあるいは、はつり仕上げのようなラフな外部的素材が用いられています。③ ④ ⑤ ⑨

手法９．外部的イルミネーション　内部空間にも、いわゆる街路灯を用いている、ヒューストンのギャラリア２ ⑩ および、外部的な植栽照明の手法が、同じくヒューストンのハイアットリージェンシーホテル⑪で見られます。またほかにインディアナポリスのハイアットリージェンシーホテル⑫では、遊園地的なイルミネーションが採られています。屋外のものであったネオン管も屋内照明に採り入れられて、内部空間の外部化を演出することも多くみられるようになってきています。

手法10．ストリートファニチャーの導入　屋内へのパラソルやテントの持ち込み⑬、およびＲＣ造のベンチ⑭、あるいはプランターの多用⑮はストリートファニチャーによる、屋内の外部化と見られます。

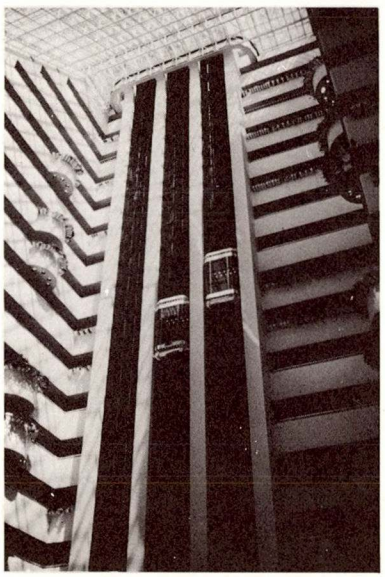
手法11．内部空間の小宇宙化　デトロイトのルネッサンスセンター①⑥⑦⑨⑭のごとく、 1,400室、70階建てのホテルを、40階建ての４本のオフィスタワーが囲み、その足元にはスカイライトをもった、８層吹抜のエイトリアムを配し、そこにはレストランはもちろん、ショッピングコンコースから銀行まで揃え、上記１～10の手法を駆使した結果、そこにはひとつの街が形成され、小宇宙が出現しています。この屋内に小宇宙という概念は、屋内空間のもつプライベートな面を消し、屋内空間をパブリック化・外部化しています。

空間の構造化・装置化

いま、アメリカで行われている内部空間の外部化を、以上の手法を見ながら述べてきましたが、これらはいずれも、構造・設備との密接な連係プレイによって可能となるものです。すなわちインテリア空間が、構造・設備に無頓着でありえたインテリアデコレーターの手から、近代のインテリアデザイナーの手へ、さらに構造・設備の構想段階での建築デザインへの組み込みそのものがインテリア空間の質を大きく左右するインテリアアーキテクトの手へと進んできています。このことは従来の基本的な仕事のプロセスに照らし合わせてみますと、デコレーターは部屋の骨組みができあがった段階で



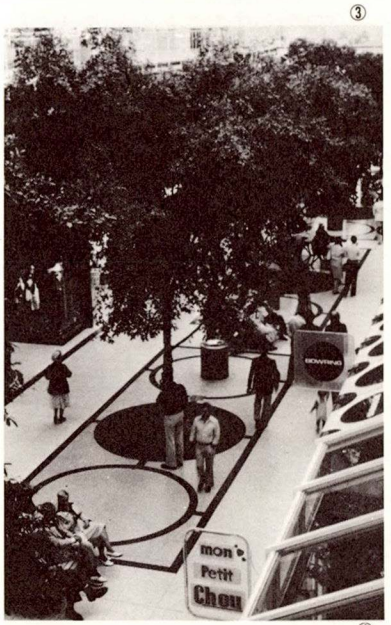
①



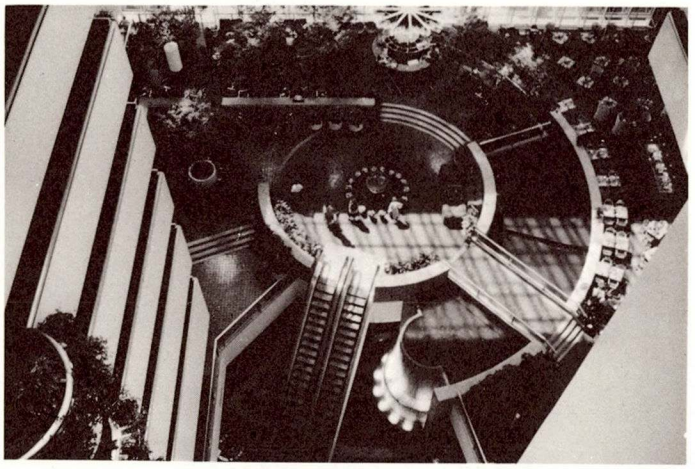
②



③



④



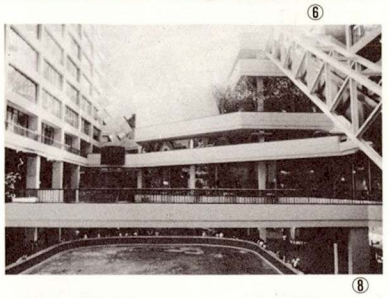
⑤



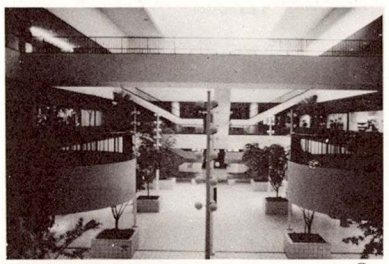
⑥



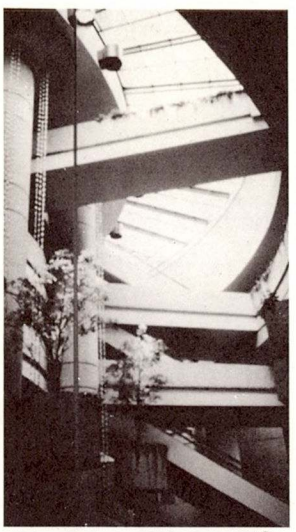
⑦



⑧



⑩



⑨



⑪

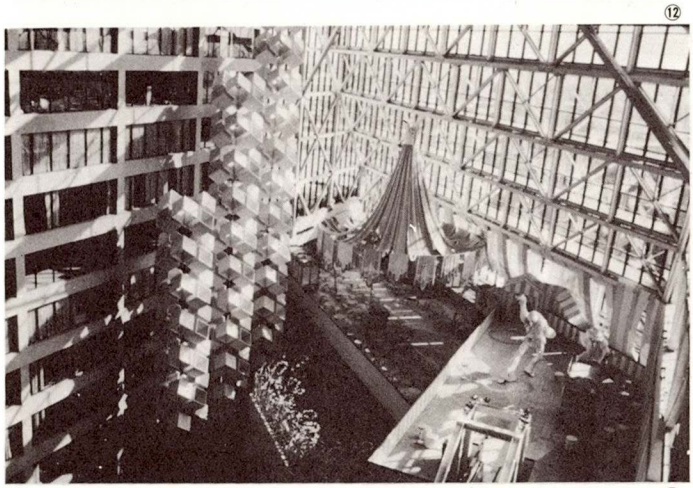
①デトロイト
ルネッサンスセンター・エイトリアム
②ダラス
ハイアットリージェンシーホテル・
エイトリアム
③コロンバス
コモンズ
④トロント
イートンセンター・ショッピングコ
ンコース
⑤ダラス
ハイアットリージェンシーホテル・
エイトリアム
⑥デトロイト
プラザホテル・回転レストラン
⑦デトロイト
プラザホテル・ロビー
⑧アトランタ
オムニインターナショナル・プラザ
⑨デトロイト
ルネッサンスセンター・エイトリアム
⑩ヒューストン
ギャラリア2
⑪ヒューストン
ハイアットリージェンシーホテル・
ロビー



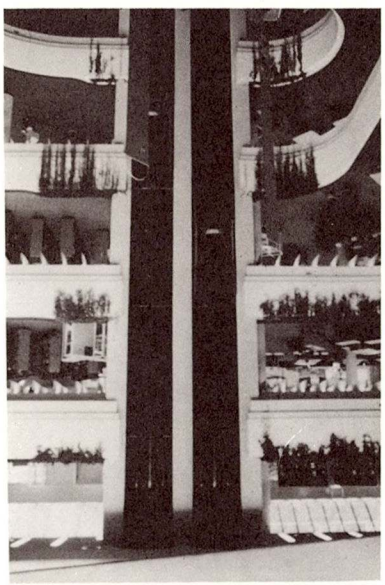
⑫



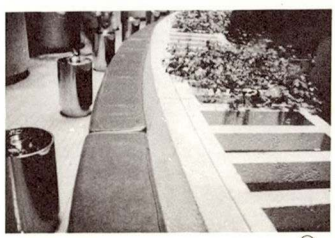
⑱



⑬



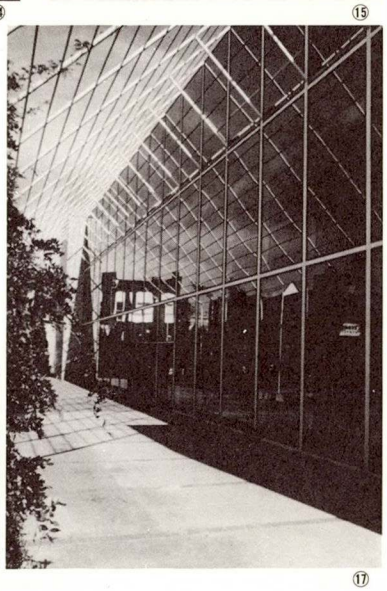
⑲



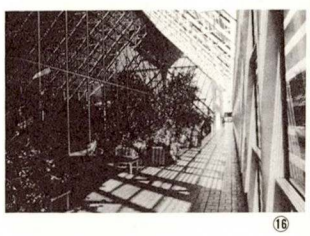
⑭



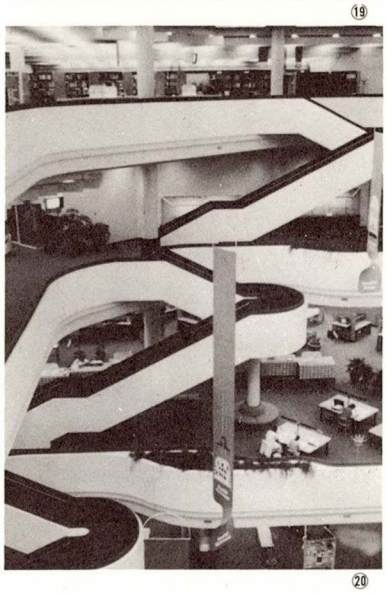
⑮



⑰



⑯



⑳

⑫インディアナポリス
ハイアットリージェンシーホテル・
エイトリアム
⑬アトランタ
オムニインターナショナル・プラザ
⑭デトロイト
ルネッサンスセンター・エイトリアム
⑮ヒューストン
ペンゾイルビル・エントランスロビー
⑯ コロンバス
⑰ アーウィンユニオン銀行
⑱インディアナポリス
ハイアットリージェンシーホテル・
エイトリアム
⑲ トロント
⑳ 中央図書館・エイトリアム

手腕を発揮し、デザイナーは構造・設備のシステムの固まった頃から相談をうけるのに対して、インテリアアーキテクトは構想段階から参画せねばなりません。といいますのは、プランが固まった段階で、スカイライトを1階まで採り入れるエイトリアムを作り、池と滝を配し、展望エレベーターをいれてというインテリアデザイナーの提案は明らかに不成立だからです。それだけインテリア空間が今日では構造・設備と密接な関係をもって構築されており、構想段階での内部空間のデザインが必要不可欠のものとなっています。

なぜ、内部空間の外部化がひろがっているのか

ビルの足元に、大きな内部空間をつくり、ここにふんだんな自然（太陽光・プランツ・水）を採り入れた例は、いまや、全米各地にみられますが、これらの発生要因は、つぎのように考えられます。

要因1．気候条件　まず北米大陸では、厳しい気候条件があげられます。たとえば、ニューヨークでは1年のうち6ヵ月ほどは厳しい冬が続きます。こうした長い冬に、窓外の雪の世界を見ながら温室のような空間で緑の木立ちに囲まれ、川のせせらぎも聞いてショッピングあるいは人との待ち合わせができるという空間は、集客のための非常な魅力があり、デパート・ショッピングセンター・ホテルが飛びつく要件です。北の寒さとは逆に、南のニューオリンズあたりでは、野球も屋内で行うほどの日差しの強さがあり、これは、家－車－屋内、と空調の完備した所を人々が行動するパターンを作りだしています。つまりカナダのトロントや米南部のヒューストンのように、気候条件の厳しい所に、素晴らしい、パブリック化された内部空間をもつ建築が、多くみられる現象が理解できます。

要因2．治安の悪化　ニューヨーク、シカゴなどの大都市の治安の悪さはよく伝えられるところですが、米中部のインディアナポリスのような中都市では、夜間は白人が郊外の家に帰ってしまい、夜の都市をほとんど放棄しており、黒人ばかりが街を徘徊し、とくに旅行者などはホテルから町へあまり外出しない有様です。そこでホテル・オフィス・ショッピングセンター・銀行等が、ひとつの屋根の下に集まった大空間が、街路的な構成の中で、しかも屋内空間の安全性を提供するため、もてはやされて、エイトリアムの流行の一因となっています。

要因3．都市のリバイタリゼーション（再生）による都市センターの供給　アメリカ各都市はスプロール化と、直交グリッドで構成された街路が、自動車で占拠され、人々のための街としての魅力を失ってしまいました。すなわちヨーロッパの求心的プラザに代表される、都市的魅力を集中した形で享受できる核空間が欠けているのです。そこで、都心の再開発が考えられ、オフイス・住宅・店舗・ホテル等が、駅や駐車場を結ぶ街路的あるいはプラザ的屋内空間を軸に構成され、新しい都市センターとなっています。

要因4．権威のシンボルとしての建物から、公共性重視へ　役所などの屋内空間は従来、壮厳さと威圧感を兼ねたものが好まれていました。しかし、社会の民主的傾向が、そこにも反映し、明るい屋内空間、秘密のない空間印象、内外部の出入りにできる限り抵抗感のない建物、すなわち外部化した屋内空間をもつ建物が、主流となってきています。

外部空間の内部化――逆もまた真なり

内部空間の外部化という傾向は、同時に、外部空間の内部化に密接な関係をもつものです。さまざまな都市づくりにおいて、都心におけるオープンスペースの確保が推進され、ビルの足元には必ずと

いって良いほど、プラザが設けられるようになってきています。こうしたプラザでは、そのアメニティーを高めるため、ベンチ・水飲み・プランター・照明の設置を義務づけたり、あるいは、プラザに面した壁面長の50%以上は、銀行等以外の物販店舗を設けてにぎわいを出すよう（ニューヨーク市の例）等、細かい規則が設けられています。こうしてヒューマンスケールをもったプラザは、そのままビルのエントランスから内部へとつながり、人の自然な誘導が画策されています。⑯⑰の２枚の写真は、こうした空間を端的に示しています。これらは、コロンバスにあるケヴィンローチ設計の、アーウィンユニオン銀行の表入口と裏入口ですが、一方では、営業室前のエントランスホールが温室構造になっており、前庭の並木およびペイブメントがガラスのスキンを通してそのままはいり込んだ表情で内部空間の外部化を計っています。対する一方では、屋外ポーチに藤棚状のものをかけ、外部空間の内部化を意匠的に行っています。

成功の鍵——外部化へ向けて

インディアナポリスのハイアットリージェンシー⑱の写真を見ても、さして緑が多く感じられませんが、それでも20万株の植栽がなされています。ニューヨークのフォード財団ビルにおいても 650本の樹木と15,000株のグリーンが用いられています。外部化の演出の鍵は量にあります。自然の魅力は、ありあまるものの美しさ、豊富さに、一因があるからだと思います。日本でも近年屋内プランツが用いられだしていますが、アメリカとの根本的な違いは量にあり、量は、こうした外部的空間の質を決定します。また、量に対する日本的な疑問として、たとえば、窓を開ければ一面の緑があるのに、なぜ室内に緑が必要なのかとの問いがあります。しかし、そういう場所こそ、屋内に緑をいれることで、室内が外へつながり拡大したようにも、また屋外の自然が手の届く所にまで、はいりこんできたようにも感じられ、屋内外の融合が見事に計られることでしょう。

トランジション空間のポピュラー化へ向けて

内外部の接点としてのこうしたトランジションの空間の役割の増大は何を意味しているでしょう。具体的にレイモンドモリヤマのトロント中央図書館を例にしてみます。⑲⑳　ここでは、はじめの項に述べましたほとんどの手法が用いられています。スカイライトを持つエイトリアムにプランツと流水と展望エレベーターを配しています。この空間はエイトリアムのまわりの各図書部門およびサーキュレーションが見通せるため、構成が理解しやすく、オリエンテーションが良いという、公共建築には必須の要件を満たしています。そして、それにもまして、フランス革命以来、特権階級の手から解放されて市民のものとなった図書館というもの、本来の建築的結実を空間の質に見出します。その、コントロールされてさわやかな光に満ちた、影のない空間は、秘密や束縛のない、自由な共有空間で、まさにわれわれの時代の基盤である民主主義を具現したもので、これこそ、私達、建築設計に携わる者が目標とするものです。全員が参加できる、デモクラティックな空間の普遍化が、現代の社会の真の要請であり、これに向かって、内部空間の外部化を含めたさまざまの方法をさぐり、創りだしていくことが、現代のわれわれの方向であり、課題であると思われます。

（なかこうじ　やすひさ　KK日建設計大阪本社インテリア部長
こまだ　てつお　同　インテリア部）

〝住まい手〟と〝造り手〟相互の〝住まい方〟に対する哲学

山内　陸平・加藤　　力

省エネルギーとインテリア

世の中すべて省エネルギーがテーマとなる昨今です。
このところ、住宅の広告でも省エネルギーと耐震性とがキャッチフレーズでなければ住宅ではないかのような取り扱いが目立ちます。こんなことからインテリアの分野でも〝80年代のテーマは省エネルギー〟などと取りざたされているのかもしれません。

建物や住宅における省エネルギー対策は、建物自身のシェルターとしての機能や設備に負うところが大です。インテリアに期待することには、いささかその効果の点で無理かと思われます。それでもある実験データによりますと、住宅におけるインテリア材の熱効果は、年間の冷暖房費に大きな影響をあたえるとのことです。たとえばカーテンによって10～15%、カーペットを敷くと５～10%、壁紙などのインテリア材すべてを含めると実に20～30%をも節約できるという。ところがこの実験データは、インテリア材を全く使用していない、いわばムキ出しの殺風景な部屋と、インテリア材を使用している現在の標準的な住宅との比較ですから、あらためておどろくことはありません。通常、一般家庭ではインテリア材を全く使わずに生活しているわけではありません。カーテンや壁紙の仕上げを行った上で暮らしています。また、タタミというきわめてすぐれた断熱材を使っています。このデータを見てあらためてジュウタンなど買いととのえるといった心配は不要です。

日本の住宅では消費エネルギーの約４割が暖房用ですが、そのほとんどが危険や不便さを承知の上で石油ストーブを使っています。しかも狭くて貧弱な住環境の中でです。こんなことですから、インテリアの立場から見た場合、住宅はまだまだ省エネルギーといわれる段階に至っていないと言えるでしょう。西欧の先進国諸国のようにセントラルヒーティングによる全室暖房であれば省エネルギー対策も効果が上がるのでしょう。むしろ日本の住居は部屋のスペース拡大や室内環境条件の向上などの点からエネルギー消費は増える覚悟は必要です。

生活様式の移行の中で

従来、日本人はタタミの上で最少限の家具や道具を使って、一つの室を転用しながら多目的に使うという方法をとってきました。一つの室が食事やだんらんにも使われ、寝室にも使われるという具合です。やがて応接間やダイニング・キッチンの出現によって、一般家庭にも、椅子やテーブルなどの大型家具が使われるようになりました。そのうち、次第に居間、子供室、寝室などにもソファー、勉強机、ベッドなどが取り入れられるようになったわけです。

さて、大型家具の使用は、それだけの家具を使いこなすための広いスペースが必要となります。ところが、多くの家具が持ち込まれた割には、スペースのほうは一向に広くはならず、旧態以然、和室を基準とした広さです。しかも、日本人独得の〝物もちの良さ〟から、家具が部屋を一面占領し、結果として、一般家庭では多くの家具や道具のあいだで身をかわしながら暮らしているというのが現状です。昭和28年の住宅における調査では家具の占有面積が平均20%程度でした。その14年後の昭和42年には約 1.5倍の30%にもなっています。その限度はおおよそ30%と言われていますが、現在ではその比率がさらに増しているものと思われます。現在のすまいでは、おもいきって使わない家具の整理をすることも大切ですが、やはり部屋のスペースそのものの検討が必要です。部屋数だけ増しても肝心の部屋が使いものにならないのでは豊かな住環境とは言えません。

さて、大型家具の使用にはもう一つの問題も含んでいます。それは部屋の使用目的を比較的限って

しまうことです。さらに場所によっては使用する人間をも限定してしまうのです。いわゆる部屋の専用化です。部屋の専用化は私室意識と結びついて、それぞれの部屋にプライバシーや、適当な室内環境条件など居住性を要求します。そんなことから各室に冷暖房装置が必要となってくるわけです。また、生活様式が平座系の和式ですと、コタツやヒバチで済みますが、椅子を用いる椅座系の洋式ですとそうはいきません。局部暖房から部屋暖房に移行せざるを得なくなります。部屋暖房もそれぞれの個室ごとということになります。大型家具を使うため部屋の広さにももう少し余裕が欲しいということになりますと、住宅の熱負荷はますます増大すること受け合いです。むろん省エネルギーを考慮しないで良いというわけではありませんが、当分、住宅の省エネルギー対策の効果は少ないと言わざるを得ません。幸か不幸か、一般の家庭では現在の段階では部屋のスペース拡張もままならず、まして十分な私室を取れる余裕もありません。狭い室で家具のあいだに挟まれて、エネルギー的には効率よく暮らしているのが現状です。こうした住宅事情の悪さを反映してか、日本の住宅におけるエネルギーの消費量は、最も多いとされるスウェーデンやアメリカなどの約⅓程度にすぎません。しかし、これは考えてみれば住宅事情の悪さだけではないようです。日本の風土にもよりますが、寒さ、暑さに対する生活の知恵が、住まいや暮らしに生かされ、それがまだ多少、受けつがれている部分もあるのです。つい数年前までは、住宅の冷暖房は機械設備に頼らずに〝住まい方〟の中で心理的効果や物理的効果を工夫して耐寒暑してきた向きもあるのです。インテリアの省エネルギーとは、むしろこうした知恵を受けついで〝住まい方〟やインテリア材の心理的効果に期待したほうが良いのです。

五感にたよる

インテリアとは人間の最も身近な部分を取り巻く環境であるとすれば、環境の質の違いは、それを見たり、触れたり、感じたりする、いわば人間の感覚との関係できまってきます。建築の最終目的はシェルターや設備によって〝良い空気〟を造ることです。ところがインテリアの場合には、空間の大きさや形、その表面の質感や色などを直接、肌に感じとり、身をもって体験することに意味があります。こうした環境の質を感じとる感覚は基本的には、視覚、聴覚、触覚、嗅覚、味覚の五感覚から成り立っています。人間が空間を体験する場合には、これらの感覚を個別に使っているわけでなく、全部を働かせて感じとっていきます。ところが五感覚の中でもとくに視覚が大きな感覚受容能力を持っていますから、いきおい、環境の構成は、視覚にその多くを頼ることになります。視環境のうちでも色が目立ちます。そこでインテリア雑誌や婦人雑誌のインテリア特集などに見られる、心理的効果の方法として、〝夏は寒色、冬は暖色〟という単純な図式になってしまいます。たしかに色彩効果は心理に大きな影響を与えますが、一般の家庭では、壁紙や家具をそうそう季節ごとに変えられるはずもありません。心理的効果をねらうとしても視覚ばかりでは片手落ちです。その他のすべての感覚器官に訴えるものでなくてはなりません。

今までは、夏は素足に触れるタタミの感触から涼を感じ取ったり、風リンの音や、風リンの動きに微風を読み取るなど風情の中から暑さを忘れたものです。冬には頭寒足暖、コタツで鍋物、足の先や、舌の先からあたたかさを得たものです。

西洋文化は視覚、聴覚を中心に形づくられたものと言われます。しかし日本人は触覚やその他の感覚を微妙に使いわける知恵を暮らしの中で生かしてきました。そうした生活の知恵の中には室内が寒ければ暖める、暑ければ冷やすといった機能第一義的な考え方はありません。そこには生活の不便さ

を克服する努力がみられます。今後、安易な形で冷暖房が入れられていくとすれば、エネルギーの消費は莫大なものとなるばかりでなく、人間の感覚までもマヒしていってしまうでしょう。同時に生活に対する知恵も働かなくなるはずです。インテリアとは身近な生活の上で成り立っています。生活上のさまざまな矛盾や問題点を簡単に切りすてるのでなく、それらを乗り越えて、具体的な〝空間〟をつくっていくことにその本質があるのです。

インテリア空間のギャップ

効率を求める商業施設や事務所建築は高度経済成長によって、さらにその後のオイルショック以後も、快適な環境をつくり続けています。一方では、明るすぎる照明や、あまりにもキラビヤカな照明のもとで、十分すぎるほどの冷暖房の環境です。他方、庶民の住宅は、「うさぎ小屋」と呼ばれるほどの悪環境にあるわけです。

同じ一人の人間が、あまりにも差のありすぎるこの二つの空間の間を毎日、行き来しています。

今、インテリアや建築の課題は、このギャップにあると言えましょう。住宅とそのインテリアは、建築の中でまさしく谷間にあり、日影の身です。住宅とそのインテリアの問題は古くて、新しい問題です。今まで、いつの場合にも問題にされながら、いつも一番、後回しにされて来た部分です。人によっては、日本人の住宅観が「仮ずまい」意識の上に成り立っている、生活様式の変化が止まるまでは手がつけられないなどと言います。

しかし、手をこまねいていたばかりでは事態はますます悪化するばかりです。この原因は一体何で、今後どうしたらよいのでしょう。日本人の伝統的住宅観に負うところもありましょう。安易な洋風文化の取り入れ方を考えるのもいいでしょう。土地問題も重大なネックになっていると思えます。

しかし、何よりも大切なのは〝住まい手〟とインテリアを提供する〝造り手〟相互の〝住まい方〟に対する哲学です。

住まいのインテリアは、むろん〝住まい手〟が主体を持って作ります。したがって〝住まい手〟にも自分の暮らしに対するきびしい姿勢が必要です。自分自身の暮らしのスタイルを、自らの手でつくることが必要です。しかし他方、その器や、中味のインテリアエレメント（室内構成要素）を造り出す側の責任も大きいのです。実のところ〝住まい手〟は情報過多と狭い空間と、持て余しぎみの物の氾濫の中で、すでに完全に行き先を見失っているかのように見えます。そうした中でも〝住まい手〟とは何をどうしたら良いか潜在的には解っている部分があるのです。〝造り手〟は単に売れれば良い、評判が良いなどという表面のことでなく〝住まい手〟のかくれた要求を掘りおこすことが必要です。しかも、その場合、暮らしのリアリティーの中から見つけだすのです。おしつけや暮らしに根づかぬものでは意味がありません。今のように使い捨て商品や、場当たり的商品では先も見えています。〝造り手〟は〝住まい手〟の見えない要求を正しく読みとって〝物や空間〟を送り出す姿勢が必要なのです。ストックとしての空間、愛着のもてる物など送り出し、使われることが、先ほどからのテーマの省エネルギーに一番通じることなのです。

マスコミインテリアブームの中で

いまほど、インテリアに関する雑誌類が街の本屋を賑わせていることはありません。これは何を意味しているのでしょう。あまりにも高価になって手も出ない家をあきらめてアパートのインテリアに

関心をもつ人が多くなったこと、若い年代層の住要求への多様化、先に指摘した私室意識の芽ばえ、インテリアのファッション化、その他さまざまな要因によるものでしょう。しかし、何よりも狭い団地やマンションのスペースの中では〝物〟をかかえて思案する〝住まい手〟の姿が浮かび上がります。場合によっては、すでにあきらめて美しい外国家庭のインテリアの写真でも見て、ただただためいき、欲求を静めるという人もいるでしょう。ところがこうしたインテリア雑誌には今のところ、具体的でリアリティーのある〝住まい方〟など示してくれるものは、ほとんど見あたりません。どこか遠い国でのインテリア、とても真似のできない高級インテリア、役にもたたない製品紹介、そして、一見現実味がありそうで何も解決していない改装案、など。

内容はともかく、これだけのインテリア雑誌が売れていることは、それだけ一般の人の住意識、とくにインテリアへの関心が高まっているのです。暮らしの質を求めているのです。暮らしの質は今までのように大量の物や、目先の新しい便利そうにみえるものを与えることではないはずです。そして目にみえるところの美しさだけを狙ったインテリアでもありません。個々個々の〝住まい方〟をどのように空間の中で位置づけ創造していくかです。

居住性とはインテリア雑誌にあるように直接的で、そうそう解りやすいものではないはずです。人の心理と生活に関連し深くかかわっているからです。

80年代のインテリア

70年代のインテリアは全般的にみれば万博を足がかりとして大きな成長をとげました。経済の高度成長と、それに伴う国民の購買力の増進によって、家具・インテリア業界は飛躍的に拡大、ふくれ上がります。住宅産業なる言葉も定着し、インテリアの分野にも他産業からの進出が目立ちました。こうして言わば焼きモチのごとくにふくれ上がったインテリア業界の実情は、①独自の製品開発よりも海外からの製品の安易な導入、②少品種への多製品の集中、③業種間につながりがなく、結果として同一空間を構成する製品間につながりがない、④目先のことばかり追いかけて、継続性がない、⑤流通機構の複雑化、など、インテリアの〝質〟の向上とはあまり関係のないところで進んできたきらいもあります。1973年のオイルショック以後、インテリアへの安易な取り組み方への多少の反省は出たものの、依然として体質は同じです。

80年代はヒューマン・アセスメントが課題と言われます。人間の生き方、くらし方を見直す時代と解釈しても良いでしょう。今まで一番遅れてきた住まいとそのインテリアに本質的に取り組むことこそが重要な80年代の課題と思われます。住まいのインテリアは人間一人ひとりにそれぞれ個々の形でかかわっています。それをどのように普遍の形で解決してやるかがカギです。そうした方法論がやがて、オフィスや工場、その他の施設の身のまわりの空間の居住性を高める方法に結びつくのです。

〔参考文献〕
1）通商産業省生活産業局住宅産業課編　「住宅と省エネルギー」　住機能向上製品対策調査委員会報告書　昭和50年
2）日本建築学会「建築雑誌」－建築と省エネルギー－　1978．2　vol．93　No.1132
3）日笠端・鈴木成文他「建築学大系27（集団住宅）」　彰国社　昭和49年
4）生活学会編「住生活と地域社会」－家庭景観の現状－（疋田正博）　ドメス社　1978
5）日本室内設計家協会編「日本のインテリアデザイン工」　1968
6）梅棹忠夫他「日本人の生活空間」　朝日選書79　1977

（やまうち　りくへい　京都工芸繊維大学助教授・住環境学科室内設計学講座
かとう　つとむ　同上助手）

アンケート—80年代のインテリアを考える

今江　祥智
篠田　桃紅
鴨居　羊子
青木　京子
長部　　幸
宮脇　　檀
森本　正一
中村　　猛
山片　三郎
柴辻　政彦
河田　益典
赤松　良一
（掲載順）

変身—80年代のインテリアを考える——

今江　祥智（童話作家）

わが家の中心は書斎だが、最初は車庫になるはずだった。北白川に建売り中の家があるときいて見にいったら、まだ建築途中で、改装できると言う。京によくあるウナギの寝床風に奥行きの深い建て方で、庭（みたいなもの）が三つある。玄関と中庭と裏である。聞けば、玄関は車１台入りますと言う。カー・スペースというわけで、入って廊下沿いにコンクリート壁のうす暗い部屋があるので、これは？と聞けば、車庫ですと言う。これもまたカー・スペースというわけだった。

中庭横の台所を共同にしたら、老夫婦と若夫婦の二組が住め、したがって車は２台、カー・スペースは２台分というわけらしい。もし１台なら、車でくるお客用に玄関のカー・スペースを、何しろこの辺りは駐禁地帯でして……ということらしい。

こちらは、車を持たない主義だから、車庫は不要、ここを書庫にしたいと言うと、よろしおます、シャコとショコ、一字ちがいや、簡単に改装できますとうけあってくれた。

そこでこちらはおもむろに注文をだした。本は約１トンありますから、まず床を完全補強して下さい。

—……１トン！

相手は難しい顔になった。

それから両壁面一杯の書棚をつくりつけにしてほしいと言うと、ますます難しい顔になった。上等のラワン材を使って、たっぷりしたやつで——とつけ加えると、それは大変ですなあ……と、ため息をついた。

こちらも少々考え直した。両面から何千冊という本の背文字の「顔」でにらまれては、やりきれまい。せめて片面にしようか。

そんなわけで、書庫は書斎になった。

車のかわりに３台の自転車がある。玄関のカー・スペースも不要だから、カリンやカシや金木犀を植えて、なし崩しに庭にしていった。それで書斎からの眺めは南北とも庭ふうに相成った。インテリア改造成功である。車庫のつもりのつくりだから壁も厚く、音も洩れない。ステレオのボリュウムをぐんとあげても大丈夫。バロックからロックまで父娘で存分に愉しめる。この「変身」は成功であった。

（いまえ　よしとも）

人が家の中に

篠田　桃紅（書・墨象家）

「この家は、くるたびに様子が変わっている」と、うちへ来る人は言う。

「趣味は？」と聞かれると「部屋の模様替え」と答えるくらい私はよく物を動かすのである。本当は趣味は「ふしん（普請）」といいたいところだが、諸事情そうは参らないので、がらくたをあちこち置き替えたり、壁を張りかえたり、屏風の置き場所を按配したりで、みずからを慰めている次第であるが、何をどう動かしてみたところで、所詮は知れたことで、くたびれ儲けであるが、私はこのコンクリートの箱の中に入っていても、かくれんぼができるような、無駄な、仄暗い場所を作り出したいのであるが、これは作ろうとしてできるものでもないような気はしている。

人が住む空間とは、まことに何とやっかいなものか、萩原朔太郎は「人が家の中に住んでいるのは地上の悲しい風景である」と言ったが、わが身一つの置き場所が、いかようにもならないのだから、仕事として、人間の住む、使う空間を考える人は、これはもう大へんな職業だと、いつも思うのである。

しかし、その職業の方に考えていただきたいことが、今私にはいくつかあるが、その一つ二つを思いつくままに申し上げると、

材料、かつての障子、畳、襖、壁（土）、天井板は、室内の空気中の湿気を吸ってくれて、多湿の日本の風土に適っていたが、今の室内材料は、その配慮に欠け過ぎていないであろうか、とこんなわかりきったことが一つ。

扉の把手、空間の狭さの割には、不似合に出張っていて、袖が引きかかったり、しゃがんで立ち上がるとき頭をぶつけたりする。

あかり、敢えて、あかり、と申しましたのは、照明という言葉には、明るくするだけという感じが強く、闇のあえか、夜の濃さへの配慮がない、夜は昼の延長ではないのだから、夜がかがやき、光りが影となるような、あかりをともしていただきたい。

と、まあ、こんな風に、他愛ないことを、と言われそうなことを、あえて申し上げて見るのも、こんな小さなことが無数にたたみ込まれている、にんげんの居場所が、限りなくいとしいものだと思うからです。

（しのだ　とうこう）

昭和グロテスク

鴨居　羊子（下着デザイナー）

町を歩いていると、ほんのちょっとした空地に、あっという間に小住宅が色彩さまざま、方角も全くのパズルか卍形の様相で誕生する。驚くのは、この小さいスペースに、ここをせんどと幾種もの材料がおしこまれて、その凸凹ぶりは、愛嬌を通りこして、グロテスクに至る。

玄関の柱の一つは曲がりくねった床の間式白木で、片方は細かいタイルを埋めこんだ丸い柱、床と階段と玄関先入口までに約4種類ほどの異なったタイル敷き。玄関だけでもこれだけ賑やかだが、あと壁、屋根、窓、鉄格子と、素材、色彩、感触とやたらにとりまぜて、まさに万艦飾のいらいすぎ、せせこましさ。あらまあ！と驚いているうちにあっという間にそれが気に入ったか、人が入り、この賑やかな家がさらに鉢植、洗濯もの、ふとんが盛りこまれて、5、6軒の一角がけたたましい日本的風景となる。

大きいマンションは隣のマンションに負けじと、その外観の造型性を競い合うが、隣のマンションとの間に何の調和も考えていないから、ここでも昭和グロテスクが現出する。白は汚れるからと初めから汚れの目立たぬ汚れた壁面にしているが、居住者は早速この外装を朝夕の洗濯もので飾るのだから世話はない。建築雑誌を見ると、実に洗練されたインテリアが紹介されているのだが……。

わが町の並木は、この木にしよう。壁は白、屋根はオレンジ、もし洗濯ものを人目につけたら隣組で罰金。——といった調子で隣組常識、市民意識で美しい町、街がつくれたらなあー。

（かもい　ようこ）

良いものをいつまでも大切に

青木　京子（デンマーク通商事務所）

われわれが80年代の家具を考えるに当たり、現在世界に名を成している家具の一つとして、デンマークのものを取り上げ、その起源と歴史を見てみたいと思う。

デンマークも1930年代までは他のヨーロッパ諸国同様、飾りの多い、いわゆるクラッシックタイプの家具を作っていた。現在、一目でそれと解る、斬新でシンプルな、しかも高品質のデンマーク家具が生まれるに至ったのは、一建築家の努力に始まるものである。

デンマーク王室芸術アカデミーに籍のあった、K. Klint（1888－1954）は、未だ封建的風潮の残る第二次世界大戦前の王国にあって、家具というものは、無駄な華美を捨て、使いやすさに重点を置くべきだと主張し、「機能分析が良い家具の基」と説いたのである。家具の材料はそれの持つ性質を活かした使い方をし、構造、デザインは合理的論理的で、簡潔でなくてはならぬという彼の信念は、まず腕のある職人、デザイナーに受け入れられ、彼らの研究と努力がやがては大手メーカーを動かす結果となった。

世界からの需要も増すに至り、1960年には「品質管理証」制度が生まれ、さらにこれを消費者にとって、より明確なものとすべく、1976年１月には、メーカー、消費者、学識経験者の協力による家具品質等級検査（MøbelfaKta）の実施となった。これは品質管理証を持つ家具をさらに三等級にランクづけする非常に厳格なもので、たとえば椅子の枠組みの強度の場合、ゆがめテストに三級（Basic）で5,000回、二級（High）で25,000回、一級（Extra）では60,000回以上耐えねばならない。今では多くのメーカーが競ってこの厳しい検査を受けている。

良い家具は地元デンマークでも高価なものであるが、家具はどうあるべきかを長い使用経験と歴史から知っている国民は「良い家具」を買い求める。良いものを作り、いつまでも大切に使う。この古き良き習慣こそ、現在、省資源、省エネルギーの危機に立つわれわれへの解答ではないだろうか。デンマークも日本同様、天然資源のほとんどを外国に依存しているが、そのデンマークが実質的に非常に高い生活水準を保ち続けている根底には、こうした個人個人の、生活に対する責任と良識ある取り組み方が息づいているのではないだろうか。

人間の生活の基となる住まい、その道具である家具――そこに人間の最高の知恵と愛情を注ぐことが、今、われわれに与えられた大きな課題だと思う。（あおき　きょうこ）

インテリア―この内面的なもの

――現代の室内についての断片的な思い

長部　　幸（くらしのギャラリー）

フィンランドで、アルヴァ・アアルトのラウンジチェアに坐ったとき、私は、現代の日本の椅子をみつけた！と心の中で叫んだ。長い間のもやもやした思いがひとつ解けて、さわやかな気分になった。座が低い、アアルト独特の線の橇形の脚は、畳の上を動かしても平気、床に坐った人とこの椅子に腰かけた人が気にせず話しあえる。白樺材の木部のやさしさは日本人の情感にぴったり。シンプルなかたちが日本の空間にすなおに入りこめる。適度にかたいシートは、畳に座布団をしいて坐る感触と同じ。やっぱり私たちの住まいの空間は、畳に坐っていた今までと同じように、「重心が下」「目線が低い」「形も素材もシンプル」という方が安定する。心のバランスもいいと私は切に思う。

昭和のはじめごろ、日本の住宅にはひと間だけ応接間とよぶ板の間があった。それは他の日本的空間から隔絶していた。洋式・和式がはっきりとわかれていて、洋風の家具は応接間の中にだけおかれた。いわゆる日本的空間、に入りこむことはなかった。当時の日本人はこのようなすぐれたちえで、洋風をうけ入れたのである。今の日本人は、家具だらけの室内で、洋風の大きな家具にうずもれて、自分自身を見失っている、と私は思う。

白く硬い壁――その壁に織りものを飾る。それが、壁をリッチにする、あたたかくする、そして、その装飾は、住む人びとの喜び、悲しみ、をうけとめる。壁がドラマをつくる、建築が住む人びとに語りかける。装飾ということばが、ないがしろにされてきたと思う。デザインということばがそれにとってかわって安直に定着したと私は思う。「人間の……」という深い意味が、装飾ということばには、こめられていることをもう一度よく考えてみたい。

〝インテリア〟――〝デザイン〟や〝ファッション〟と同じように本質をおき忘れて定着してしまった言葉。interior――物理的な内側という意味だけでなく、もっと内面的な、とか精神的なという意味がある。厳密に辞書を引けば、「主として美的効果からみた屋（室）内」あるいは「私的な、精神的な」「内心、本性」などの訳語がある。インテリアとは自己主張、自己表現のためのもので、メーカーや売り手の押しつけやあてがいぶちであってはならない。施主の心の中にある願望をひき出して、その表現に力をかすのがわれわれの仕事、とすれば、建築の精神性とあいまって、静かな内面性の充実をはかる作業がインテリアのしごとといえる。（おさべ　ゆき）

覆いかぶさって来る規格化に抗する手段としてのインテリアが

宮脇　檀（宮脇檀建築研究室）

インテリアがブームだと言う。本来そうあるべきだという意識と、だが今の現況で良いのかという疑いとが交互する。

建築は誰も否定することのできない強さで均質化・規格化され続ける。それが前近代的な手工業的レベルに留まっていた故に許された一品制作の附随品として持ち得たパーソナリティは、一般の住空間のレベルではもう期待できない方向に進みつつある。

マンション、公営住宅、建売住宅という供給住宅のほか、注文住宅と称する代物ですら、発注者、住み手の意識の均質化によって似たような画一化の方向をたどっている。

先輩である自動車の例を挙げれば一目で判るように、住宅もまた同じような工業生産品として、省力化、マスプロ化された部材で組み立てられた、安手のプラモデルにおちていく。80年代にその傾向はますます強まるだろう。

インテリアの意識はこうして人々の生活の容器である住とその関連の空間が、次第にただ与えられる一方のものになり、しかも全く同質の没個性的なものになっていくことへのおそれから生まれてきているのだろう。

自分の欲しい空間が単に無機質の箱でしか無く改変の操作も不能であるとしたら、人間が最少限人間らしく暮らすためにはインテリアの世界でそれを求める以外に無い。すでに都市居住が古くから定着しているヨーロッパ諸国ではこのパターンが定着していて、わが国もこの後を追わざるを得ないだろう。

けれど現実のブームはこの深層の意識が直接投影しているわけでは無くて、これも例によってマスコミで操作された甘いファッションとしての現れでしか無い。某誌が藤と言えば各誌揃って藤、結果として皆が藤などという馬鹿げた現象。

自分達の生活はかくあるべきというしっかりとした意識を誰も持っていず、たとえ持っていてもそれを空間とすり合わせるための教養が欠落している日本人の現状としては、これも供給者であるメーカーか、その先導であるジャーナリズムが主導力を握ってしまうのは仕方の無いことかもしれないが、せめて80年代のインテリアは、与えられる側の抵抗としてのインテリアになって欲しいもの。

住空間を中心にドメスティックな空間を考えようとする者にとっての80年代の希望はこんなことになる。（みやわき　まゆみ）

再生としてのインテリア——空間機能の回復

森本　正一（浦辺建築事務所）

旧い建物の中には、ほっとする温かみが感じられるものがあります。それらは、小生のような、高度成長期に建築の世界に入り、また近代建築の理念からぬけ出すことのできない者には、何か違う世界の人々の仕業にも想えるのですが、直接感性に訴えてきます。街の中がすべて、われわれの習ってきた、近代建築の平滑でツヤツヤしたものばかりで覆われることが、近代建築家達の目ざしたものではないように思いますし、石油化学の新建材では、これら旧い建物の持つ重厚で温かい感じを越えることは、かなりの手腕を要します。それらが環境になじんで、街の一部になり切っている場合は、なおさらのことです。

建物としての寿命はまだ十分残していながら、その機能が社会の変化のゆえに合わなくなったり、また、設備が古くなったりした建物の再利用、旧い建物の内部を拵えなおして、その建物の機能の回復をはかることは、これまでの保存を中心とした旧い建物の改造のみでなく、新築される建物と併列して、これからの減速経済の中で——都市化の早かった西欧では伝統的な手法のようですが——、わが国にも定着してゆくのではないでしょうか。

以前——70年代に——紡績工場が倉敷アイビースクエアというホテルに改造されましたが、この工場で最も古い、明治22年創設されたときの部分は、記念ホールと称してそのまま保存されてきました。その部分を利用して今、大宴会場として、このホテル2期目の増設工事に入っております。今回の工事は、動線上の問題を解決するために若干の新設は伴いますが、中心となる宴会場は、アイビーで覆われ、周辺になじんでこのホテルの主役となってしまったエクステリアとしての外壁、屋根、ともに在来の姿を残した、インテリアの改修です。

木造のため3,360×6,000のスパンでは、大広間としての宴会場に合わず、大スパンに鉄骨にて受けかえ、また、高い天井高を利用して、空調等の設備を新設して、内部を造りかえたものです。

この工事で、工場としての機能を停止してから、しばらくの間休止していたこの建物が、別の機能で社会復帰することになります。

元の機能を失った古い建物に新たなる用途を考え、内部を拵えなおして、その空間機能を回復すること。再生としてのインテリアをこんな風にとらえているのですが……。

（もりもと　しょういち）

省エネルギーとインテリア

中村　猛（竹中工務店生産本部専門部長）

タスクライティングという言葉を、省エネルギー活動以来よく聞くようになった。立居行動のベースライトをやわらかく低照度で行い、必要明視照明の効果は作業面に局部的に集め、同時にこれの点滅の責任を省エネルギー的に作業者にもたせるもので、照明の効率的効果と個人的省エネルギー活動を両立させようとするものである。この発想とインテリアの再生的活動とが融合したら、80年代の事務室空間のランドスケープは一変するかも知れないというのは言いすぎであろうか。

これと同じ考え方で、タスクヒーティング、クーリングが登場してもよいはずである。70年代においてもゾーニングによって、有効適切経済的にエネルギーを利用する空調計画の活動があった。80年代は、ますますこの考え方が強まり、一部の公共スペースは外部空間化されて空調効果が弱まり、必要かくべからざる作業空間や居住空間の空調のレベルアップに集約される方向をたどるのではなかろうか。防災上から言っても、火災をひろげる危険性のある空気送風ダクトは嫌われ、局所サイクルの空調システムが歓迎される。またこれはタスクヒーティング、クーリングの目的の延長線上にもある。タスクとは適当なまとまりをみせる仕事という意味で、種々の分野で独自の意味を持って使われているが、上記のような意味をもつタスク指向が80年代には強まると考える。

今一つの変化は、情報システムのインテリア（内部空間）における進歩的変化である。そろそろ実用化に入るテレビ電話、ファックス電話、いろいろな機能をもつ電卓、端末機が現れる。また、通信線や種々のコントロール線もインテリアにおける至近距離を無線化してくるのではなかろうか。普及しつくした電話も80年代は大きく変化してくる。自動車に電話が搭載されるのはもう目の前である。タスク指向の種々の設備と、これらの通信方式が密接にかかわってくるはずである。

リノベーション的な内部空間の80年代における変化も、エネルギー事情の影響でともすれば明るい話題にならないようであるが、ルネッサンスの当時もわれわれが考えるほどのきらびやかな時代ではなく、かえって大へん暗い世相であったという。80年代も過去、現在、未来を共存させながら複雑で大きな発展を遂げるであろう。そのいろいろな分野が協調的に合成されるインテリアであることの概念図を図に掲げておく。

（なかむら　たけし）



◀インテリアの三者関連概念図

これからの和風のインテリア

山片　三郎（山片一級建築事務所長）

最近の和室の設計や写真の説明をみると、壁はほとんどがジュラク壁か京壁と記されている。そのジュラク壁というのは本来は土壁の上塗仕上の一種で、京都の聚楽町付近から産出した色土に砂を混ぜ、水または糊で練って上塗をした聚楽壁のことであり、京壁というのはその聚楽壁の俗称である。

昔は天然産の上塗土として稲荷山土・京錆土・浅黄土・松葉土などの数多くの種類が、さらに色の求めに応じてそれらを混合して用いられもしたが、次第に入手困難となり、熟達した左官も少なくなり、現在では合成樹脂の吹付のジュラク塗が多く施されている。

この吹付のジュラク塗は本来の土壁仕上に比して強い塗膜が砂粒を覆うため砂が摺れ落ちない、耐水性が強く水洗いも容易である、施工が簡単で価格が低廉など数々の利点は認められるが、和室に最も重要視される雅趣には著しく欠ける。

土壁はその繊細な粒子が辛うじてくっついているほど突出しているため、その一つ一つに陰影がつき、しかも光線を乱反射して幽玄な感じを醸し、さらにそうした無数の凹凸は音響をも完全に乱反響し、あたかも音がしみこむかのように消され静寂さが保たれるのである。

こうした勝れた効果は偶然に生じたものでなく、たとえば壁の腰貼りに美濃紙を用いる際、美濃紙の艶を厭うて、わざと裏を見せるように貼る、そうした徹底した緻密・周到な心構えにより古匠によって練りに練られた技法の一つなのである。それを前記の吹付のジュラク塗などというわずかな砂粒の入った不透明塗料では和室としての良さ、雅趣は全く消滅されてしまう。

しかし、だからとて筆者は土壁そのものの再用を推奨するものではない。土壁にも湿気を含んで変色し、カビが生えるなどいくらかの大きな欠点がある。

現在市販されている鏝塗りの合成樹脂のジュラク壁の中には本来の土壁仕上と感じが近く、しかも防剝離、耐水、防火などの効果の認められるものがある。近代の化学をもってすれば、条件を具体的に指示すれば、吹付でも適切なものが必ずできるものと信じる。

80年代の、これからの和風のインテリアの進歩は、和風建築の真髄に正しく即応し、次第に減少する天然材の枯渇を補い粗末な材を生かして意匠や耐久性により勝れた諸種の建築材料の創造から導かれるものと考え、切望するものである。

（やまがた　さぶろう）

インテリア以前の課題解決と幻惑的言辞をつつしみたい

柴辻　政彦（志野陶石代表取締役社長）

●ひとびとが、生活とビジネスに係わる建築空間を『インテリア』という言葉をつかって思考をはじめたのは、当然、第二次世界大戦後の、それも1965年（昭和40年）に入ってからで、それ以前にはごく限られたエリート層の思考概念だったと思われます。

だから、日本の『インテリア』はせいぜい15年ほどの経験年数ということになります。

しかも、この『インテリア』という言葉そのものが、〝ひとと建築〟についての深い意味をもつものではなく、商業上でいう物品の販売促進策の宣伝文句としてはやったまでのことだと思われます。

●それにしても、一体、日本人の現代の都市生活やビジネスに係わる建築空間が、『インテリア』という、いわば、国際感覚で考えられるほど恵まれたものでしょうか。

わたくしは、この点、強い疑いをもっていて素直になれません。

土地の価格。建築費。建ペイ容積率。税制。生産業者の誇大主義など、どれをとっても『インテリア』以前の不都合な条件が充満、氾濫していて、とても庶民のレベルのものではありません。

一種の幻惑・迷妄症状に陥っているのです。

●だから

悲しいことだと思いますが，それが伝統的な和風であると欧米風であるとのどちらにせよ、国際的に通用する『インテリア』という思考は、現代日本のそれなりのエリート、つまり、多くとも人口３％未満の日本の上流社会といわれるひとびとの住空間とビジネス空間に適応範囲を絞ったものでしかないということになります。

●したがって、私にいわせれば『80年代のインテリアを考える』メインの課題は、一つはまず庶民レベルにおける『インテリア』以前の課題を、少なくとも将来を眺望して先進国といわれる程度にひきあげる努力をすること、二番目には、インテリアに関与する業者が、自ら社会を迷妄に導く言辞を弄ばないこと、だと思います。

（しばつじ　まさひこ）

これからのムード照明

河田　益典（小泉産業照明コンサルタント室長）

現段階のインテリヤ全体に言えることですが、日進月歩と言われるように、新製品開発には目まぐるしいものがあります。とくに照明器具においてはその例にもれず、開発の歩調は最たるものがあります。しかし、シンプルで格調高いものは良いもので、何年たっても使用できるものというものもあります。

テーマとして「これからのムード照明」をいただきましたので、述べてみましょう。

照明器具はどのような建築物にでも必要で、住宅・ビル・道路・工場・スポーツ等、ありとあらゆる個所に必要であります。その個所には基本的スポーツ照明とムード照明が同居していますので区分することはあまりよくありません。しかし住宅建設・店舗関係・料飯店関係においては、ムード照明がなくては成り立つことはできません。とくに住宅の場合には、装飾的感覚の機能の多い応接間、美味しく食事が行えるダイニングルーム、落ちついた感じで休息する寝室では、ムード照明が必要です。住宅の場合、その部屋の機能以上の雰囲気を高める照明器具をムード照明器具と言います。

とくに料飯店関係の店舗においては豪華なムード照明器具を使用して、業種にマッチした雰囲気をより以上にかもしている店舗ほど来客者が多く、店舗の売り上げ向上になっているので、ムード照明を忘れることはできません。商店経営においても、買回り品店より最寄り品店の店ほどムード感覚度が高くなっています。この場合、商品色彩をあざやかに、正確に演出するため、照明器具の形状はもちろんのこと、光源の光色・光の質のバランスまで考えて店舗の照明を計画することが好ましいもので、この感覚に比例して売り上げが向上しているといっても過言ではありません。

このようにムード照明は、人間の生活環境になくてはならないもので、住宅の良環境づくりに必要なものであり、他方、商店、料飯関係においては、店格向上の器となり、売り上げ関係にも影響してきています。

また最近とくに省エネルギー時代と言われていますが、その対策として、点滅回路を多く設けて不必要個所を自由に切れるように心がけるべきであります。なお一層注意しなければならないことは、ランプ光源の効率的な使用のしかただろうと思います。効率の悪いランプは除去し、少しでも良効率のものを使用して、グロウ類も透過の優れているものを使用すべきであります。

（かわた　ますすけ）

商業空間としての80年代インテリア思索

赤松　良一（赤松店舗研究所代表取締役所長）

商業空間とは、従来一般に言われる〝店舗〟の広いとらえ方としておきたい。

従来の店舗インテリアは建築物の内部空間としての販売、各種サービス活動の場として存在してきたが、70年代初頭からの消費、流通革命の全国的浸透や、モーターリゼーションの進展は、大都市繁華街などの一部を除いてほとんどの商業街区、店舗機能を根底からくつがえし、その対応としての店舗構成が、好むと好まざるにかかわらず、内部空間から建築施設そのもの、場合によっては街区の環境機能そのものにまで拡大せざるを得ない方向が鮮明となりつつある。

したがってわれわれは店舗ユーザー（商業投資者）に対する忠節観から、すでに70年代全体を通して〈客を集め、情報を提供する場をつくり、商品とサービスを多数の店舗から自由に選択できる〉ための複合商業施設、俗に言われるショッピングセンターづくりに費やし、ある程度の成果を得たが、80年代こそ、その意味での〝商業空間〟、すなわち内部インテリアの拡大から外部、環境に露出してきた商業施設構成に、一つの結論が提出される時点だと認識している。

紙数の限界から、今後意図しているテーマの一部を無体系なりに列記すると、

●商業診断などで全国どこに行っても、前記、大きい変革の流れによって、既存街区、商店街の客足は減少している。もはや個々の店舗内部の模様替えではどうにもならず、街区全体の大改革、再開発による機能近代化が営業存立の前提であることは、商業者自体が最もよく知っている。

●従来、とくに戦後わが国の一般店舗様式は、内部構成にとらわれるあまり、その集積である商店街などの外部景観は実に低俗、醜悪となっているが、これでは美意識の強い近代人は来ないのが当然（原宿などは街路樹でそれをカバーしているから若人が集っている）。もっと美しい外部との接触空間をもつことが社会大衆に支持され、成功する商業計画の前提。

●より本格的、長期的な繁栄には、都市計画に止まらず〈都市経営〉視点における行政の参加や、コミュニテイ、文化、リクリエーション施設を包含したシティセンター、シティパークのレベルが望ましい。

等が本質的なものである。

70年代の試行体験により、80年代には大きい必然性を確認し、成算へのデテールも整いつつある。　（あかまつ　りょういち）



公園風の緑地空間と売場施設とに変化のある接触線をもち、施設内にも外部光線をとり入れることを意図した80年代向きＳ．Ｃのイメージパース

これからの家具—椅子

光藤　俊夫

省エネルギーの時代だと言う。石油をはじめ、地球上の資源が、いまや枯渇しようとしていて、それに対処し得る方策は、この際、何がなんでもとりあげ、積極的な姿勢で実行していかねばならない。それは多分70年代のはじめに盛んに叫ばれた危機感以上の重みのものであるはずだ。どうしてと言って、その節の危機感なるもの、やたら悲愴ぶるばかりで、トイレット・ペーパー買い占め事件などが起きたとは言え、今日明日にでも生命が絶たれるほどのけわしさや厳しさがあったわけではないまま過ぎてしまっただけに、本当の危機感というのが何のことかさっぱり摑めなかったキライがあるからだ。もちろん、あれは嘘だったなどというつもりはない。今日にしてみれば、むしろ先の先のことを予測しての正鵠な判断だったと言えるし、それを真摯に追求してみせなかったおかげ、つまりは、油断を重ねているうちに迎えた80年代への入口で、急にその重みが大きなしわ寄せになって迫ってきた、とみることができる。

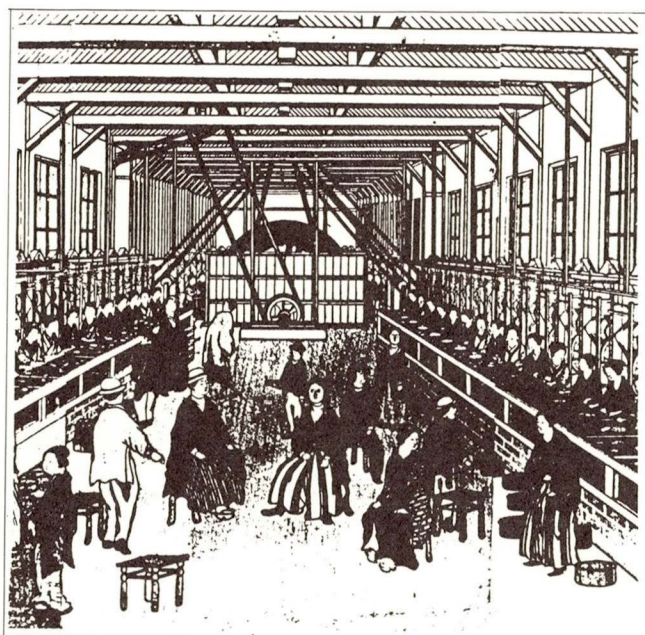
それにしても、である。省エネルックという風な、ほとんど理屈に合わない奇妙な提唱を典型とする愚対策ばかりでは、本当にそうなのかどうか疑わしく、またぞろ省エネ、省エネと連呼するだけの茶番劇に終わってしまう可能性がある。いや、それで終わるチャバンゲキなら、それは結構なことだ。ただし、つぎの世代に本当の危機や滅亡を招来させるような繰り越しがなくての話である。

まあ、とにかく、無駄なエネルギーを、ことにもつつしまねばならないご時世ではある。



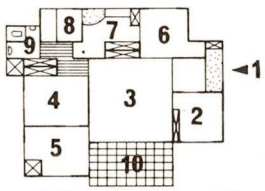
公家や戦国の
武将が用いた床几

日本の生活の歴史をさかのぼって、椅子がまったくなかったわけではない。倚子、草墪、床子、床几、胡床、縁台、曲彔など、古墳時代の昔から、それぞれの時代に、それはいろいろなかたちで存在していた。もっとも、その多くは唐来物であったにしても、それらを暮らしの基準にし得る機会は何度もあったはずなのだ。しかし、どうしても坐式、つまりは大方において椅子など必要としないすまい方であり続けたのは、日本人の場合、一体何が原因だったのだろう。断るまでもなく、今日でも椅子を、必ずしも主たる生活用具と認めていない国や民族はゴマンとあって、これを不思議がることは毫もない。しかし、起立していることと横臥することの間の動作としてある腰かけるための道具、といったきわめて原初的ななりわいを持つそんなものが、永く拒否されつづけているのは、やはり不自



金沢製糸場の図(明治初年)にみられるスツール

然としか言いようがない。最初に仕込まれた知恵が、いつまでも新鮮であり忘れ難いように、生まれてこの方、それはこうあるべきと植えつけられ、それで過ごしてきてつつがなかったしきたり、すなわち習慣とは怖ろしいほどに頑なもので、あるとき何かに目醒めて気がつく、といった滅多にない悟り、あるいは革命に似た衝動でもない限り、おいそれと改められるものでないことを、改めて思い知らされる。だから、俄に建築の洋風化を唱え、椅子式生活の導入をはかった明治の気概には、ある種のかけに似たものがあったにちがいない。



1 玄関　6 食堂
2 応接室兼書斎　7 台所
3 居間　8 浴室
4 寝室　9 便所
5 子供室　10 テラス

平和博覧会（大正11年）に出品された住宅のプラン。「住宅改良運動」の一環として洋式を主張したもの

よく似た言葉だが、文明と文化はちがう、と昔教えられた。われわれの生活にぜひとも必要なものの開発に伴い、主としては物質的な面で豊かになる状態を文明と呼び、それがなくとも機能上なんの不都合があるわけはないものの、あった方がずっと楽しく、また美しく、いわば精神面での充足が、さらに快適に果たされるものを文化と言う、と。東京、大阪間を3時間で走る新幹線は文明の利器で、それが何故クリームにブルーの線なのかは文化度による、というわけだ。これを英語でいうCivilization やCultureとただちに結びつけるわけにはいかないし、異論も多々あることだろうが、日本語の用法としてなら、あるいは平たく言ってそんな解釈が、ほぼ成り立っているような気がする。だとすれば、日本の近代化を成し遂げるために「ぜひとも必要」ととりあげた「洋風化」への推進は、まさに文明開化の名にふさわしい所業と言えるだろう。そして椅子はこのとき、文明の象徴としての座にあったのだ。

ところで、だからと言って、すべての建築が「洋風化」に切り変えられたわけではない。官庁・公署・学校・兵舎などの一部が洋風に改造、あるいは新築され、やがて東京有楽座が椅子式を採用（明治31年）、つづいて、やはり東京の三井呉服店が立式に変わる（明治33年）、といったことがありはしたものの、工場なども含め、すべてが公共機関の範囲にとどまり、一般庶民のすまいは旧態依然、「洋風化」とはおよそ無縁だったのである。

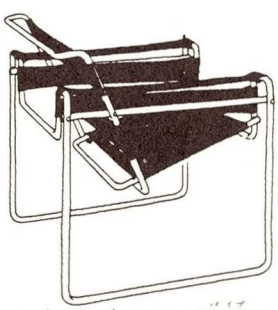
「文化住宅」と銘打たれた、一見ハイカラな様子の住宅がおめみえしたのは大正に入ってからだった。さきほどの解釈によれば、「楽しく、また美しく、いわば精神面での充足が、さらに快適に果たされる」ことをこそ標榜している住宅ということになる。もちろん「本邦将来の住宅は漸次椅子式に改むる可し。住宅の間取設備は在来の接客本位を家族本位に改む可し。住宅の構造及び設備は虚飾を避け、衛生及び災害防止に等実用に重きをおく可し。庭園は在来の観賞本位に偏せず保健防災等の実用に重きをおくべし。家具は簡単堅牢を旨とし住宅の改善に準ずべし。大都市にありては、地域の状況に依り、共同住宅及び田園都市の設備を奨励すべし。」（・点筆者）といった、生活改善同盟会（大正9年設立）による「生活改善の方針」6ヶ条（その大綱と解説は、当時の《建築と社会》誌に発表されているそうだ）を受けて立ったものだけに、たとえばプランニングの上でも、従来のものとはかない趣を異にするものではあった。すなわち居間および食堂中心型と称して良く、それまでの中廊下型の無益な点を衝いた、いうなれば進歩的、近代的形態を備えていたのである。椅子やベット使用の「洋風」スタイルであったことは言うまでもない。

そこでこの「文化住宅」が、当時どこまでの評判を得たのか、ということに興味が湧く。

屋内における履物の着脱について、いまだ欧米諸国と折り合いがついていないのはご存じの通りだ

が、文化住宅の時点でも、これは大きな問題として取りあげられたにちがいない。茶の間の一部や女中室にタタミが残されたこととあわせ、結局はどうしても割りきれず、そしてやはり「脱」ぐことでおさまるのだが、その意味では、完全な「洋風」とは言い難いところが随所にみうけられるのだ。当時の日本の道路事情がよくなかったとか、気候風土が湿潤であるからとかで「脱」がざるを得ないのだ、などとはよく言われることだが、その限りでは、道路事情も良くなり、屋内の空調設備も行き届いているはずの今日、なお「脱」いでいなければならない理由が解き明かせない。これはやはり「習慣とは怖ろしいほどに頑なもの」と素直に認めた上での了承であるより仕方がない。余談だが、スリッパなどというものの出現、あるいはさらなる改良は、このときあたりからではないのか、とそんな気がする。いずれにしても、これはすんなりと受け入れられたものではないらしい。それが証拠に、大正12年の関東大震災でもろくも潰え去った後、復興のかけ声にも、「文化住宅」はついに再び顔を出さず、ある時期における、それもごく限られた階級だけでの普及に止まったのである。

さて、文化住宅に伍して、文化鍋、文化包丁など、文化と頭についた台所道具の宣伝もかまびすかったのは、文化住宅の文化たる所以の大きな一つに、主婦の座の確立を目指しての台所の改良にあったからだが、それにしては、もっと根本的な洋風家具の活用について、文化椅子や文化テーブルの呼称がなかったのは、つぢつまの合わない話だ。あるいはあったのかも知れない。しかし、少なくともさきのものほどの鮮烈な記憶はない。これは鍋や包丁はこれまでも家庭で使用していたもので、だからそれに一寸ハイカラ味、すなわち文化を添えてみることもできるのだが、椅子やテーブルは、家庭内では今回はじめて接するもの、つまり文明そのものであって、「楽しく、また美しく」と文化をくっつけてみせるほどの余裕はまだまだだった、と言えることによるのだろう。


マルセル・ブロイヤーの鋼管椅子（1925年・大正14年）


トーネットのロッキングチェア（1860年・万延元年）


ケンタンのクロワッサンと呼ばれる空気椅子(1964・昭和39年)

このころ西欧では——。

1925年（大正14年）、マルセル・ブロイヤーは、自転車の構造からヒントを得て、世界ではじめての鋼管椅子（ワシリー・チェア）を考案、つづいてマルト・スタムやミース・ファン・デル・ローエが、カンティレバー・チェア（1926－昭和元年）を、そしてル・コルビュジェがバスキュラント・チェア（1929－昭和４年）を開発する。いずれも、その頃の合言葉「機能美」を実証しようとしての大活躍ではあった。そしてこれらは1860年（万延元年）、ミカエル・トーネットによって編み出された曲木椅子以来の優れた材料革命と言えるものだった。ここで椅子の材料革命ということだけをとりあげ、その後を辿って先に言ってしまえば、パイミオのサナトリウムを設計して国際的な地位を築いたフィンランドの建築家アルバア・アァルトのプライウッドによるアーム・チェア（1934－昭和９年）があり、アメリカのデザイナー、チャールズ・イームズ、また建築家エーロ・サアリネンらのプラスチェック・シェルをベースにした安楽椅子（1951－昭和26年）やペデスタル・チェア（別名チューリップ・チェア1957－昭和32年）などがある。そう言えばドイツの建築家フライ・オットーが、モントリオール博（1967－昭和42年）における西ドイツ館を花柄も美しいテントで覆ったことで急速に関心を集めたニューマック・アート、すなわち空気を包むことで成り立つかたちの面白さは椅子の世界にも反映し、フランスのデザイナー、ベルナルド・ケンタンがクロワッサン・チェア（1964－昭和39年）をつくったのをはじめ、デ・パス、ドウルビノ、ロマッティ共同によるブロウと名づけられた透明の風船椅子（1967－昭和42年）や、ガエターノ・ペーシェのアップ・シリーズ（1969－昭和44年）などが続々と登場したのはついこの間のことだが、それら一連のものも、ちょうどその気運にあった「使い捨

て時代」とうまくドッキングした上での、一応は材料革命と言えるなりわいを呈していたことを思い出す。これはしかし、またたく間に影をひそめた。

大正から昭和へ、関東大震災による傷跡は、ようやくにして癒えたとは言え、世はまさに不景気つづき、政党政治の腐敗と軍部によるファッショの台頭が、折角の近代化への歩みを滞らせがちだった。もちろん、その間を縫って、上野伊三郎や伊藤正文らによるインターナショナル建築会、あるいは森谷延雄の木の芽舎、また蔵田周忠や豊口克平らの形而工房などが、新しい建築や家具についての真摯な活動を展開していたことについて、見逃すことがあってはならない。そして、あのブロイヤーを生んだドイツの工芸学校バウハウスを実見し紹介した水谷武彦や山脇巌夫妻の啓蒙運動や、国立工芸指導所の設立と、そこに招聘され指導に当たったドイツの建築家ブルーノ・タウトの存在などで、斯界が受けた大きな収獲を忘れてはならない。とは言え、満州事変の勃発、さらに支那事変へと突入する前夜でのことである。しかも、かつての「住宅は漸次椅子式に改む可し」も、もはや立ち消えとなってしまっているような状況では、建築にしてもだが、たとえば椅子の創造や開発について、それほど多くの人が目を向けていたとは思えない。日本のすまいが、いよいよ坐式から立式へ、座ぶとんから椅子へと本格的に歩みはじめるのは、第二次世界大戦の終結を待ってからのことだった。

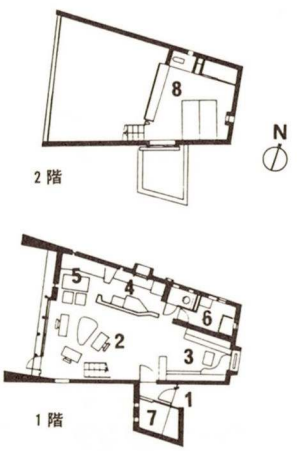


木の芽舎の創作による家具（昭和３年）



ブルーノ・タウト（1880－1938年）
昭和８年から11年まで滞日

池辺陽の立体最少限住居(昭和25年)、清家清の自邸(昭和26年)、増沢洵の自邸(昭和27年)、広瀬鎌二のＳＨ１(昭和28年)、吉阪隆正のヴィラ・クウクウ(昭和32年)、菊竹清訓のスカイ・ハウス（昭和33年）などが次々と、そしてまったくタタミのない家として、ぞれぞれ衝撃的なかたちで登場する。ここに至って、あの「生活改善同盟会」の「綱領」がやっと日の目をみたと言うべきだが、もちろん、すでにして単なる欧米への追随ではない基点を持っていたそれらは、しかも日本の伝統文化をふまえた上での、これからの日本人の新しい住まい方に対する真摯な提案として、かつての「文化住宅」とは較べものにならないほどの大きな意義を持っていた。また同じ頃、それら「住宅の改善に準じ」、渡辺力の紐椅子(昭和28年)、水之江忠臣の食卓と食堂椅子(昭和30年)、柳宗理のバタフライ・スツール(昭和31年)、剣持勇の籐椅子や長大作のダイニング・チェア（いずれも昭和35年）など、日本人の手になる、ほとんど最初の日本の椅子がつくり出され呼応する。



1　玄関　　5　食事室
2　居間　　6　洗面・化粧
3　書斎　　7　納戸
4　台所　　8　寝室

ヴィラ・クウクウ（昭和32年）のプラン

そして――。

今日タタミの部屋を持つ家にめぐり合うのは稀だ。また、もはや椅子のない生活など、想像するのも難しい。それで良かったのかどうかはともかく、ここまで来れば、今さら昔の坐式生活に戻ることがあるとは考えられない。だとすれば、そうしたスタイルをさらに自家薬籠中のものとして上手にあしらっていかねばならない。

ともあれ省エネルギーの時代である。これからのすまいや、これからの家具――椅子は「虚飾を避け」、なにかと「実用に重きをおき」、常に「簡単堅牢を旨と」すべきであろう。そこでよくよく考えてみれば、例の「生活改善の６ヶ条」なるもの、実は捨てたものではなく、今日でも、そしてこれからも十分通用するものであることに気がつくのだ。

（みつふじ　としお　建築家・竹中工務店東京支店設計部専門部長）



水之江忠臣の食堂椅子（昭和30年）

インテリア空間実例



大阪都ホテル　都パーラー
エグゼクティブサロン　ローヤル
ひろしま美術館　メインホール
梅田阪急ビル　1・2期コンコース
八鹿町小売商業団地　モールおよびコート
京大会館 エントランスホール、ラウンジおよび講演室
よみうり文化センター　会館ロビーおよびプール
千里台スカイハイツ
シャルム堺
ネオハイツ大淀
鴻池本社ビル　役員談話室
公立学校共済組合大阪宿泊所　なにわ会館
ホリディイン南海大阪(小林ビル)　5階ラウンジ
神戸山手学園友松会館　1階ロビー
ライジング飯田(株)本社ビル　ショールーム
新宮ショッピングセンター
ガーリッシュマインド　コーヒーショップ



●インテリア空間1

大阪都ホテル直営 都パーラー

施　主　㈱大阪都ホテル
設　計　安井建築設計事務所インテリア部
施　工　内装　奥村組、家具　近鉄百貨店装工部
所在地　大阪市天王寺区堀越町110番地 天王寺ステーションビル2階

カーペット敷込工事　辻田織物大阪株式会社　大阪市東区京橋1－7（OMMビル8F）TEL 06－943－2803

床工事家具工事　株式会社 近鉄百貨店 装工部　大阪市阿倍野区阿倍野筋1－1 TEL 06－624－1111

壁材・レリーフタイル　志野陶石株式会社 大阪営業所　大阪市東区京橋1－7（OMMビル7F）TEL 06－943－1536





撮影　㈱アンコール

仕上　床：カーペット敷
　　壁：米松染色化粧柱　レリーフタイル貼り　一部ビニールクロス貼り
　　天井：ビニールクロス貼り

当店は国鉄天王寺駅のステーションビル内にある大阪都ホテルの直営喫茶部門として、オープン当初から大勢の人々に親しまれてきた。しかし、永年の使用で内装も古くなり、厨房設備も老朽したので、今回全面的に改装したものである。

改装にあたっては、近代的厨房システムの導入によるサービスの向上、客席数を増やすことにより利用率を高めることが計画の目標とされた。設計の上では、客席内の大きな2本の柱のデザイン処理と西日対策や均一な空調効果などに苦心した。

インテリアの色調は化粧柱、面格子等を米松の染色によるグリーンを基調とし、柱型は格子スクリーンで囲みグレーペンミラーを貼り、広がりのある演出を計った。

床には、グリーンのストライプパターンのカーペットを使用し、壁は3種類のレリーフタイル貼り、飾棚にはアクセントカラーとして赤のスエードを貼った。天井はチャコールグレー系のクロスとし落ち着きのある空間に仕上げた。

（坂野知昭）



延面積　186㎡
竣　工　昭和54年3月



●インテリア空間2

エグゼクティブサロン「ローヤル」

施　主　サントリー株式会社
設　計　安井建築設計事務所インテリア部
施工工　竹中工務店
所在地　大阪市北区堂島浜2－1－1　サントリービル地下1階

延面積　159.34㎡
構造規模　SRC、8F、B2
竣　工　昭和52年10月

エグゼクティブサロン「ローヤル」は、サントリーが愛顧者を対象に、ゆったりと落ち着いて飲めて、静かに話ができるメンバーシップクラブとして企画し、東京、沖縄につづき大阪のサントリー本社ビルの地下にオープンした店である。

一般のクラブのように短いサイクルで改装することを前提にせずに、独自の雰意気ももちながら、飽きのこない、落ち着きのあるイメージの表現を試みた。

内装は、しっかりした材質で暖みを感じさせるインド砂岸を壁に貼り、調度品はフラン製の赤いモケット張とし、床も同色のカーペットを貼ることで壁との調和を計った。

別室は構造的な制約で天井の低い狭い空間をやわらげるために、壁に鏡のエッチンググラスを用いて、メインクラブ室とは違う雰囲気とした。

（吉田　誠）

（仕上）

主ホール　天井：ラスボード下地スタッコ塗り　壁：インド砂岩
　　床　：アキスミンスターカーペット　木部　樽材
　　照明：シャンデリア
別　室　天井：ラスボード下地スタッコ塗り　壁：鏡エッチンググラス
　　床　：アキスミンスターカーペット　木部　チーク材O.F.



エッチンググラス　大阪エッチンググラス株式会社　大阪市南区末吉橋通1－8　TEL　06－261－5341～2
家具工事　株式会社　阪急百貨店　室内装飾部　大阪市北区角田町8－7　TEL　06－372－2617
照明・シャンデリア　大光電機株式会社　大阪市東成区中道3－15－16（毎日東ビル）　TEL　06－972－5551
家具工事　株式会社　富士屋木工所　大阪市鶴見区茨田榎堤町671－4　TEL　06－911－2595

●インテリア空間 3

ひろしま美術館メインホール

施　主　㈶ひろしま美術館
設　計　日建設計大阪
施　工　清水建設広島支店
所在地　広島市基町 3 番 2 号

構造規模　B 1、1 F
竣　工　昭和53年 4 月

ひろしま美術館は、印象派絵画 150点を中心に、邦人の手による近代絵画も含めて 600余点にのぼる、印象派を中心とした全国でも特色のある美術館である。

展示館は円形のプランで、ホールを中心に 4 つの展示室をまわりに配置して、鑑賞者が自由に動線を選べるようになっている。中央のメインホールには、自然光のさし込む大きなドームがあり、それを中心としてベンチや緑を配置し、鑑賞のあとの休憩の場とすると共に、屋外のさわやかさを保つようにしている。仕上材や家具材料も、質感、色を出来るだけ自然に近い控え目なものとし、飽きのこない、気の張らないものにしている。

（佐々木　桂）

（仕上）床：ローマントラバーチン（フロアヒーティング設備）模様貼り
壁：ガラスクロスV．E
丸柱：ローマントラバーチン
天井：石膏ボードジョイント工法砂壁状吹付け材仕上げ
ドーム天井：ガラス繊維入りセメントリブ状成型板
家具：植木鉢カバー、スチールメタリコン仕上げ、ベンチ、プナムク材曲げ木加工



内装工事　株式会社　川島織物　大阪営業本部　大阪市東区京橋 1 － 7（OMMビル 8 F）TEL　06－942－6281

家具　坂光家具株式会社　広島市横本町 7 －25 TEL　0822－28－2281

メインホール丸柱 床大理石　株式会社　矢橋大理石商店　広島営業所　広島市十日市町 2 － 1 － 1（王井ビル 1 F）TEL　0822－91－1863

●インテリア空間4

梅田阪急ビルI・2期コンコース

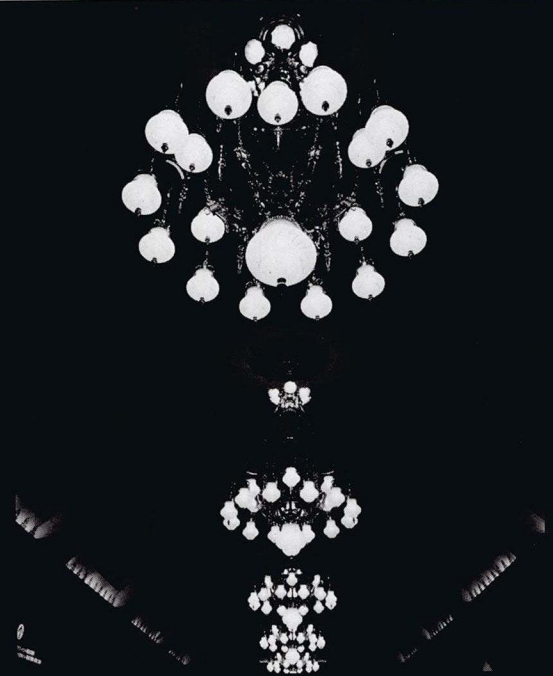
施　主　阪急電鉄㈱・㈱阪急百貨店　　床面積　808㎡
設計施工　竹中工務店　　構造規模　SRC、B2、8F、P3
所在地　大阪市北区角田町8番8号　　竣　工　昭和53年11月
床面積　コンコース

阪急電鉄の旧コンコースは本来の役割を終えた今も、新駅と周辺街区との通行の要として、終日歩行者が絶えない。この施設は昭和初期に伊東忠太先生の設計により完成したもので、そのボールト天井とモザイク壁画は当時としては画期的な意匠で、長年市民に親しまれてきた。改修にあたっては旧来の駅のもつドラマティックな空間を損うことなく、新しいコンコースとの調和を図ることに気を配っている。

壁・天井の意匠は補修、塗装程度に留め、腰は新コンコースに使われたベージュ色の大理石に更新したが、ディテールはできる限り当時の手法を踏襲している。床石は新コンコースのパターンを基調に、さらに細やかな石の模様を施し、百貨店をはじめとする商業施設のホワイエとしての演出効果を期待した。さらに一連のモチーフを使ったファサードのキャストアルミと新たにデザインされたシャンデリアの繊細な光が、より一層華やいだ雰囲気を醸成している。

（木村幸司）

（仕上）
床　：花崗石模様貼り　荒摺及びカーボン仕上
巾木：花崗石本磨
腰　：大理石本磨
壁　：硬質プラスター　アクリル系エマルジョンペイント
天井：同上



床・花崗石　株式会社 矢橋大理石商店　大阪市東区高麗橋2－9　TEL 06－202－4905

塗装工事　株式会社 三木塗装店　大阪市住吉区苅田町1－4　TEL 06－699－6565(代)

照明工事　山田照明株式会社 大阪支社　大阪市南区日本橋筋2－5－6　TEL 06－643－3421



モール

（モール仕上）

床：炻器質タイル 100× 200網代貼り
壁：コンクリート打放し上リシン吹付
天上：ヴォールトサッシュ樹脂ガラス　㋐ 5㎜

（コート仕上）

床：長尺塩ビシート
柱：ガラス貼り（垂壁部共）
腰壁：レンガタイル

撮影　河野　豊


コート

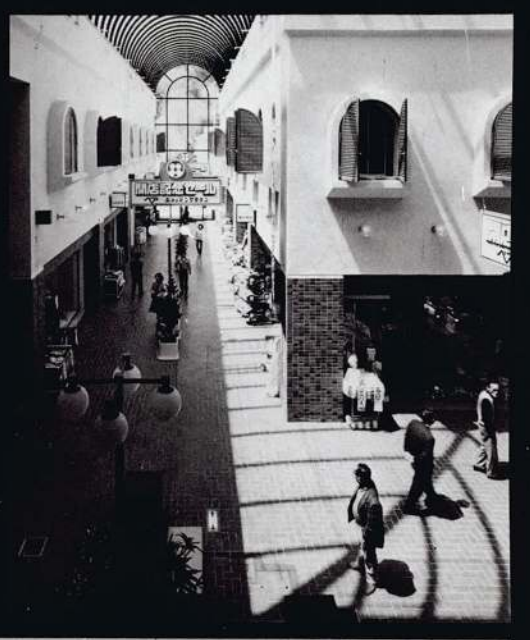
●インテリア空間5

八鹿町小売商業団地

施主　SC協同組合　名店街協同組合
設計　昭和設計：企画部　三宗司郎、土屋謹三、西川純一
　　㈱船場SC綜合開発研究所：香川英行、笹木秀近、
　　岩下　豊
施　工　㈱船場・竹中工務店
所在地　兵庫県養父郡八鹿町八鹿字沖田
構造規模　RC、2F
竣　工　昭和54年3月

建築的テーマは、「雪国に快適な都市的パブリックスペースを如何に提供するか」とした。そして、表日本の冬季の外部空間を志向した内部空間を表現しようと、モールとコートを設定した。
当商業団地は、2つの組合の複合体となって居り、両組合の協調の現われとして、一体的な外観のイメージを内部空間まで引込む考え方で、それぞれ、大きくスカイライトを採用している。それによって、内部空間に、現象として、〝軸〟と〝コア〟によるまとまりを与え、且つ広がりを持たせている。ショッピングセンターと言いながら、各組合員は、私共設計者と共に、「地域社会に何が提供出来るか」を真剣に考え、施設規模に比べると大きな質の高いパブリックスペースを設けている。この事は、将来確実に、組合員一人一人に利益と信用として帰ってくる事であろう。八鹿町の核、但馬の核として発展して行く事を心から願っている。

（三宗司郎）



噴水設備工事　東洋水芸株式会社　名古屋市西区新道町2－83　TEL 052－571－3916、1711



ラウンジ

●インテリア空間 6

京大会館

施　主　京都大学創立七十周年記念事業後援会
設　計　大林組本店建築設計第２部増田　仁
施　工　大林組
所在地　京都市左京区吉田河原町15－９

構造規模　ＲＣ、Ｂ１、３Ｆ、Ｐ１
竣　工　昭和53年10月

撮影　名執一雄

創立70周年記念事業の一環として計画されたこの会館には、歴史ある京都大学の雰囲気を取り入れ、学術研究、情報交換、親睦の場そして宿泊、喫食等多彩なプログラムが盛り込まれた。
学生時代を振り返ってみた時、近衛通りにある楽友会館で友と話し合い、食事を共にしたり、諸先生方と打ち解けて談笑したこと、またある時は一人ぶらっと立ち寄り、静かにラウンジに座っていたことが想い出された。
部屋のあちら　こちらに先輩諸氏の想い出が残り、永い時間の流れに耐えてきて、無造作に拭い去れないものが感じられた。
この豊かな交歓の場、森田慶一先生の御手になる楽友会館にほんの少しでも近づきたいと思いつつ設計した。

（増田　仁）



講演室

（エントランスホール仕上）
床　：炻器タイル
壁　：炻器タイル、コンクリート化粧打放
天井：蛭石吹付（着色）、（梁型）コンクリート化粧打放
（ラウンジ仕上）
床　：炻器タイル、ウィルトンカーペット
壁　：炻器タイル、ガラスブロック、（柱型）コンクリート化粧打放
天井：蛭石（着色）吹付、（梁型）コンクリート化粧打放
（講演室仕上）
床　：ウィルトンカーペット
壁　：練付化粧板（シオジ）
天井：アルミルーバー焼付塗装、（梁型）コンクリート化粧打放（スラブ下）蛭石（着色）吹付



エントランスホール

マグナグリッド（MGL－N－442）　株式会社 エービーシー商会　東京都千代田区永田町２－12－14　ＴＥＬ　03－507－7111(大代)

ガラスブロック工事　日本電気硝子株式会社 大阪営業部　大阪市北区角田町１－１　ＴＥＬ　06－312－2971



会館ロビー

（会館ロビー）

新聞、ＴＶ放送会社が企業のイメージアップと地域の文化に寄与する目的で建てられたこの文化センターは、この地区にあっては業務性、商業性の低い建物です。

文化ホール、教室、図書室、展示室等によって囲まれたこのロビーは、文化センターを訪れる人々に自由な憩いの場を提供し、地域住民に開放された質の高い空間であるといえます。

壁は外壁と同じ炻器質レンガタイルを連続して使用することによって内包された外部空間化を意図し、アルコーブの床を一段低くすることによって街の小広場を演出しています。２階のはり出しテラスでコーヒーを飲みながら談笑している人達、アルコーブのベンチで新聞を広げている人、文化ホールの開演を待ちながらたむろしている若者達、このロビー空間にはフレッシュな街角の風景が生まれています。

（道本裕忠）

（会館ロビー仕上）
床　：ゴムタイル
壁　：炻器質タイル（独立柱共）
天井：ヒル石ペイント吹付

●インテリア空間７

よみうり文化センター

施　主　㈱よみうり文化センター・よみうりＴＶ放送㈱
設計施工　大成建設大阪支店
所在地　大阪府豊中市新千里東町１－１－３
構造規模　ＲＣ、一部Ｓ、一部ＳＲＣ、Ｂ１、４Ｆ、Ｐ１
竣　工　昭和53年８月
撮影　つねなりすたじお

（プール）

「母と子の文化」をテーマとして計画された水泳教室のためのプール空間です。このプールのヴォールト状の大屋根は自走によって完全に開放することができ、夏のシーズンはこの大屋根を開放して、ふりそそぐ陽光と青空の下に開放的な屋外プール空間を演出することができます。ヴォールト屋根の妻側は北面のみを採光面とし、室内プール空間には柔らかい北光線を採り入れています。ヴォールト天井の色彩はグリーン一色でまとめることによって、立体トラス、駆動装置、照明器具等の複雑な構造を目立たせなくすると同時に、プール空間に落ち着きを与えています。　（道本裕忠）

プール：アルミ製プール（25ｍ×15ｍ公認規格）
プールサイド床：ノンスリップタイル
壁　：吹付タイル（独立柱共）
天　井：ビニール被覆鋼板スパンドレル



プール

タイル工事　（品番72－99）　西谷陶業株式会社　高松市鶴市町2029－8　ＴＥＬ　0878－82－1511

室内温水公認プール工事　神戸製鋼所　鉄構エンジニアリング本部　大阪市東区備後町５－１（御堂筋ビル）　ＴＥＬ　06－206－6166





●インテリア空間 8

千里台スカイハイツ

施　主　長谷工不動産株式会社
設　計　長谷川工務店一級建築士事務所
　　大阪支社設計部および設計監理部
施　工　長谷川工務店 大阪支社
所在地　吹田市山田東１丁目31、33番地



構造規模　ＳＲＣ、Ｂ１、13Ｆ、Ｐ１他
竣　工　昭和54年５月

万博公園を望む千里台という住環境に恵まれた南傾斜の丘陵地に計画された当マンションは、自然の地形と建物の調和を計るため、地盤高低差を建物の地中梁・芝張したのり地等で処理し、子供の成長・人間環境に不可欠な公園・緑地・プレイロットを充実させる様、心がけた。南棟（９Ｆ）と北棟（10Ｆ）の間から臨む空間と建物とのコントラストによる造形上のおもしろさを狙いエントランス部を低層にすると同時に下部空間を開放的にし、落ち着いた構えとするためアプローチ側壁を水平リブ付とした。外観はバルコニー面にアールを取り入れたレリーフ付ＧＲＣ手摺を採り入れ変化を出し、吹付タイルの外壁は全体的にブラウン系で統一、カラーアルミ手摺と調和させた。

コンパス・スキップライフは最近のゆとりある３ＬＤＫのニーズに合わせて開発したシリーズである。特徴として、リビングルームをバルコニー側に配し広々としたスペースを確保してコミュニケーションを充分計れるユニットプランとした。キッチンもバルコニー側の外部に面した明るいスペースを確保し、主婦が毎日楽しく料理してもらえる様、配慮した。また各居室も各々独立しており、好評を博しております。

（中馬博良・河口　裕）

（専用部仕上）床　：カーペット敷（フェルト下地）
　　壁　：ビニールクロス貼り
　　天井：化粧吸音ボード貼り

（エントランスアプローチ仕上）床　：レンガタイルデザイン貼
　　植込：レンガ積み
　　壁　：吹付タイル

タイル　天井タイル株式会社　東大阪市御厨1048　ＴＥＬ　06－788－8055

アルミ手摺スチールドア枠他　株式会社 込山製作所　堺市錦綾町３－４－15　ＴＥＬ　0722－28－2500(代)

電気設備工事　イグロ電気株式会社　大阪市東区平野町５－40（長谷川第11ビル）　ＴＥＬ　06－201－5621

木製建具収納ユニット工事　株式会社 中村建具　奈良県吉野郡大淀町桧垣本　ＴＥＬ　07475－2－0814(代)

内装工事　大阪装飾株式会社　大阪市西区京町堀１－13－24　ＴＥＬ　06－441－0931

造園植栽工事　樋口造園　大阪府八尾市服部川1624　ＴＥＬ　0729－41－8157



●インテリア空間9

シャルム堺

施　主　岩谷産業株式会社
設　計　長谷川工務店一級建築士事務所
　　大阪支社設計部および設計監理部
施　工　長谷川工務店 大阪支社
所在地　堺市大浜北町２丁目１番

全体計画は、全戸金融公庫融資付、いわゆる「民デベ」物件としてスタートした。400戸以上の団地を形成するには決して広くない敷地の有効利用を計るため、規模をＳＲＣ14階建とし、少しでもオープンスペースを確保できる様 努めた。建物配置はＶ型とし、その囲まれた部分に駐車スペースの他、別棟関係（電気室・受水槽・浄化槽等）を配した。敷地内では「人と車」の分離を原則とし、自転車置場は戸数分を南西部１ヵ所に集中すると共に、周囲からのプライバシー対策のため１階には専用庭＋緑地を設置した。導線計画は南海本線「堺駅」よりのアプローチとし、主玄関は東棟中央とし、前面にはフェニックスを植樹した。公庫の条件でもあった集会室は北西角（26号線沿）に配し、入居者の利便施設として利用されている。

（黒田全紀）

（エントランスホール仕上）
床　：グラニットタイル
壁　：スプレースタッコ押え
天井：化粧ロックウール吸音板

構造規模　ＳＲＣ、14Ｆ、Ｐ２
竣　　工　昭和54年２月



●インテリア空間10

ネオハイツ大淀

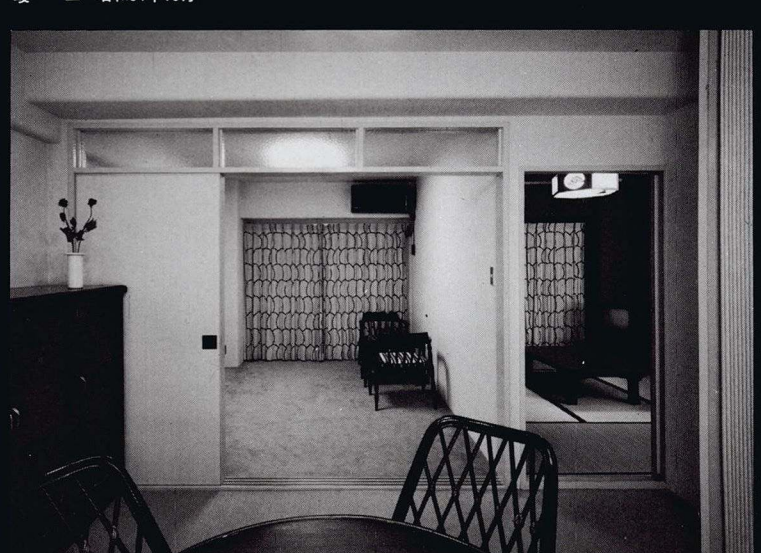
施　主　新洋ハウジング株式会社
設　計　長谷川工務店一級建築士事務所
　　大阪支社設計部および設計監理部
施　工　長谷川工務店 大阪支社
所在地　大阪市大淀区大淀北1丁目8番地1

コンバス・ニューライフは当社の最もポピュラーな標準ユニットプランであり、３ＤＫをメインとし、ダイニングルームを中央に取り、そこを中心にバルコニー側に洋室（リビング兼用）と和室６帖を配し、キッチンはスペースもゆったり独立型とし水廻りの統一も計った。子供部屋・書斎として廊下側に洋室を１室設けました。

（中馬博良）

（専用部仕上）
床　：カーペット敷(フェルト下地)
壁　：ビニールクロス貼り
天井：ビニールクロス貼り

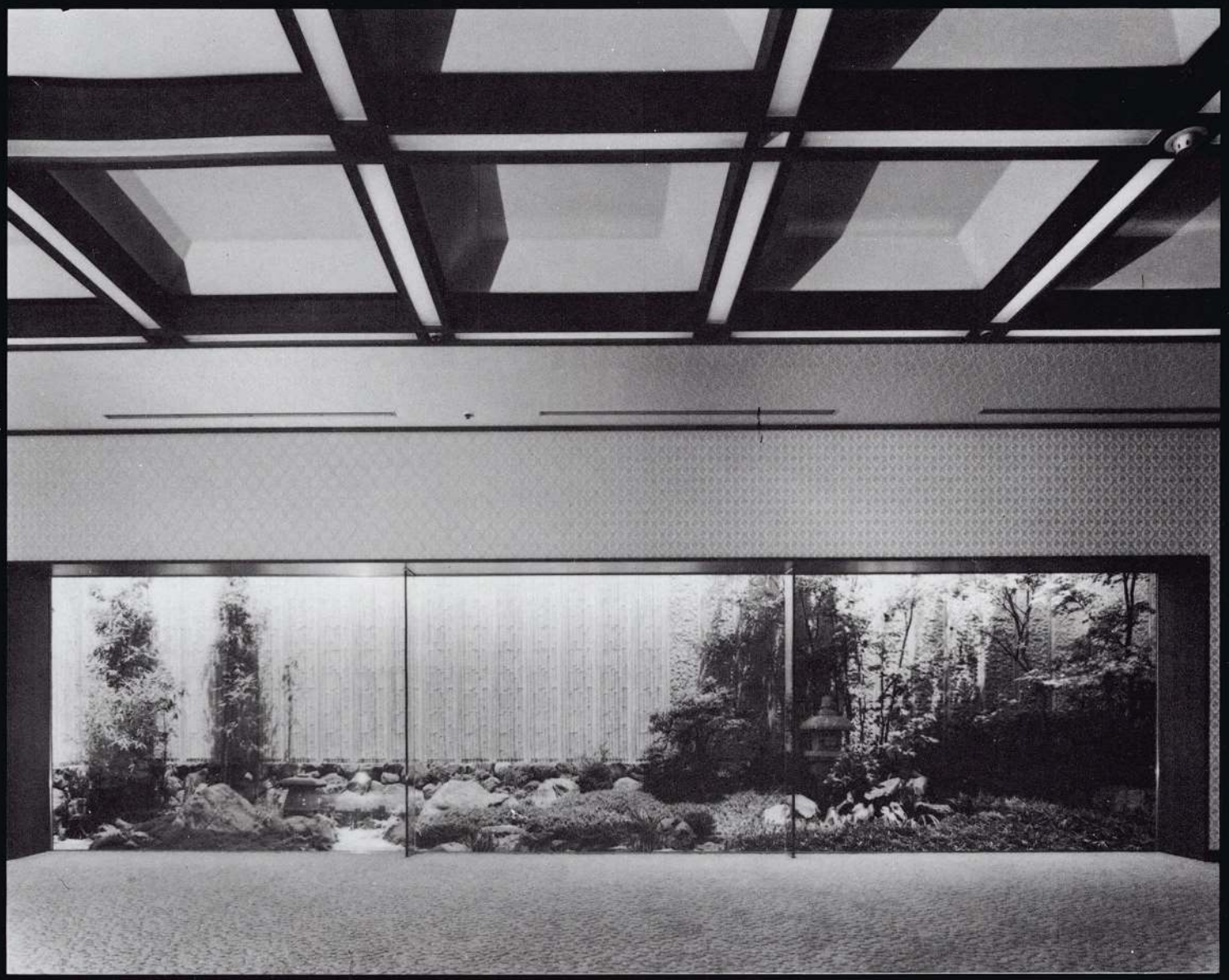
構造規模　ＳＲＣ、11Ｆ、Ｐ２
竣　　工　昭和54年10月



鋼製建具工事　不二サッシ販売株式会社　大阪市東区本町４－４－１本町野村ビル　ＴＥＬ　06－262－2541

造作　富士室内装備株式会社　神戸市葺合区二宮町１－314　ＴＥＬ　078－241－1155(代)

クロセットドアー　株式会社 ユニオン　大阪市西区南堀江２－13－22　ＴＥＬ　06－532－3731



●インテリア空間11

鴻池本社ビル役員談話室

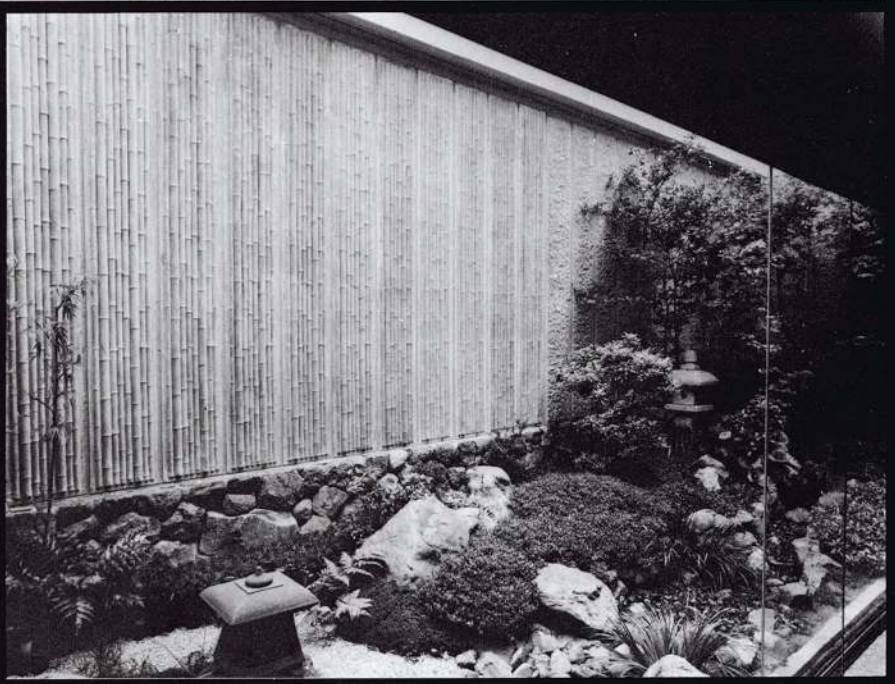
施　主　鳳産業株式会社
設　計　鴻池組大阪本店設計部
施　工　鴻池組大阪本店
所在地　大阪市東区北久宝寺町４－27

延面積　123㎡
構造規模　ＳＲＣ、Ｂ１、12Ｆ、Ｐ１
竣　工　昭和54年３月

本社ビル最上階に設けられた役員談話室である。ビルの中にあって、くつろいだ雰囲気とするため、坪庭が設けられた。坪庭は燈籠等を配した和風庭園であるが、和風の中にも新しさを求めて壁面は新しい材料であるＧＲＣ（ガラス繊維強化セメント板）で竹模様およびつつき模様のパネルを作り、型枠兼用でコンクリートに打ち込んだ。また室内は少し和風の雰囲気を取り入れて天井を格天井とした。天井格間はＧＲＣで作った天蓋状パネルをスラブより吊下げ、間接照明の反射板として使い室内にやわらかい光が満ちる様にした。

（高橋勝彦）

（仕上）
床　：カーペット
巾木：チーク練付
壁　：クロス
天井：チーク練付格子およびＧＲＣ・ＥＰ、クロス貼り



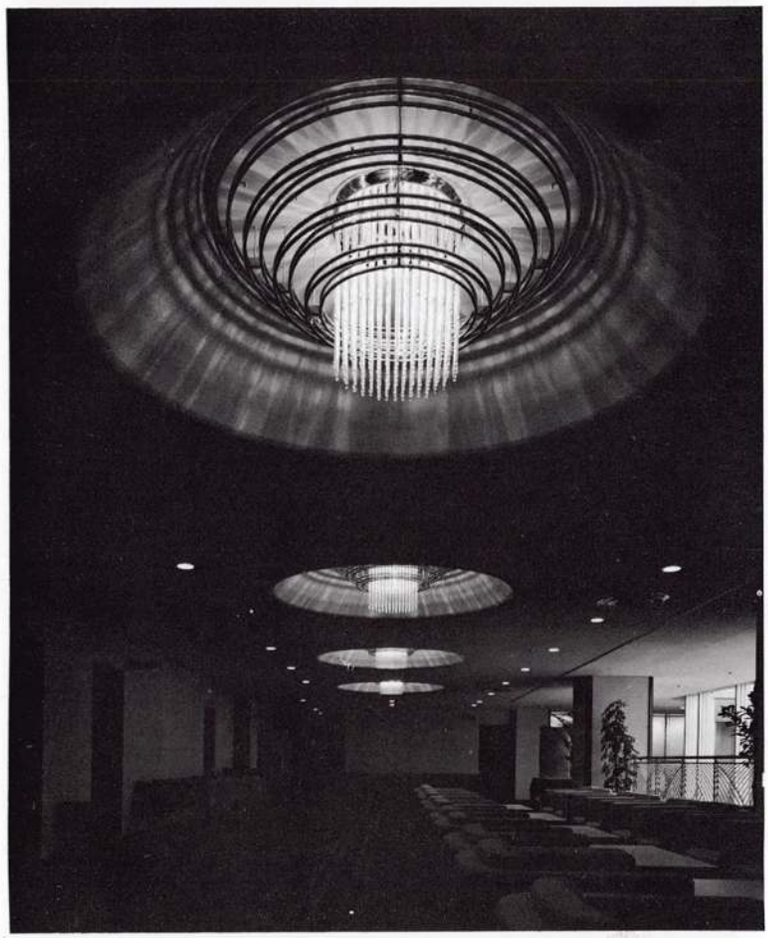
ＧＲＣ製品（天井パネル、庭園パネル）　鴻池プレハブ工業株式会社　大阪市東区北久宝寺町４－27　ＴＥＬ　06－244－3662

内装工事（クロス貼他）　合名会社 利倉幸商店　大阪市南区長堀橋筋２－20　ＴＥＬ　06－211－0571㈹

造園工事　阪急園芸株式会社　吹田市佐竹台１－４－１　ＴＥＬ　06－834－0721

インテリア空間12

公立学校共済組合大阪宿泊所
なにわ会館



設　　計　東畑建築事務所
施　　工　錢高組(改装)・阪急百貨店(家具)
所 在 地　大阪市天王寺区石ヶ辻町38－1
敷地面積　4,496㎡
建築面積　2,465㎡
延床面積　11,533㎡
構造規模　ＳＲＣ、Ｂ1、９Ｆ、Ｐ2
竣　　工　昭和53年８月

(仕上) 床　：ウィルトン別織カーペット
　　壁　：別色染　ガラスクロス
　　天井：合成樹脂エマルジョン蛭石吹付
　　別註シャンデリア
　　別註安楽椅子及び卓子

設計主旨

本会館は昭和44年に建設されたものであるが、消防法改正を機に全面的改装を行ない、既存空間に新しい生命を吹き込み質的グレードアップを計るというのが今回の改装工事の目的である。
方法として全体的に附加的装飾は一切省き、建築空間を構成する各エレメントによる総合的な演出効果を得るために、床・壁・天井・家具・照明・サイン等主要なインテリアエレメントは全て「波のイメージ」を基調としてトータルデザインを行ない全体的調和を計るとともに、各室の空間的画一化を避けるため折上天井を設けて空間を個性化し、それに見合う照明計画および器具の設計を行なった。家具は成型合板の板脚を使用して宴会場ロビーにふさわしいやさしさを表現し、かつ背面意匠の充実を計った。

（玉置豊始）

照明器具　ヤマギワ株式会社大阪店　大阪市浪速区日本橋筋３－41　ＴＥＬ　06－643－2111（大代）

インテリア空間13

ホリディ・イン南海大阪(小林ビル)5階 ラウンジ

設　　計　東畑建築事務所　　施　　工　戸田建設
所 在 地　大阪市南区久佐衛門町28－1
敷地面積　1,834.12㎡
建築面積　1,626.84㎡
延床面積　19,392.50㎡
構造規模　地下ＲＣ、地上ＳＲＣ
竣　　工　昭和54年３月

(仕上)
床　：ジュータン一部玄昌石張
巾木：木製
壁　：ＰＢペン下クロスの上ＥＰローラー
天井：同上
化粧柱・梁：米松合板（シースワール）ＯＳＣＬ



設計主旨

ラウンジはホテルフロントが位置する階にあり御堂筋に面し御堂ペーブとフロント階の持つ風格と重厚さを対応調和させた空間である。ホリディイン発祥の地はテネシー州メンフィスで、アメリカ南部の持つ郷愁と、「ミナミ」のもつそれと、御堂筋の持つさわやかさを融合させエクステリアとインテリアを一体化し、その中で語り合う場をこのラウンジで演出している。郷愁を表現するため、材料の持つ質感・色・光を選択する時金属的なクールなものを避け、しっくい調の壁と天井、それに調和するすすけた黒い化粧柱と梁、床には奥につながるバー、レストランへアプローチするためのサーモンピンクのジュータンと天然スレートの割肌が自然にとけ合い、ろうそくの光がかもしだす素朴な光源でやすらぎのある素朴なムードを演出している。そして外部につながる化粧梁天井ルーバ格子が内外空間を一体化させ、御堂ペーブがラウンジに溶けこみさわやかなかつ素朴で郷愁のある空間となってくつろぎの場を構成しています。

（本持一博）

照明器具　ヤマギワ株式会社大阪店　大阪市浪速区日本橋筋３－41　ＴＥＬ　06－643－2111（大代）

インテリア空間14

神戸山手学園友松会館 1階ロビー



設計施工　清水建設
所 在 地　神戸市生田区山本通５－67－８
敷地面積　564.08㎡
建築面積　314.91㎡
延床面積　528.80㎡
構造規模　ＲＣ、２Ｆ
竣　　工　昭和53年12月

（仕上）床　：クッションフロア
壁　：ビニールクロス
ＰＳシャモットタイルボーダー
天井：塩地練付ベニヤ
木工事
カーペット・カーテン
家具
シャンデリア

設計主旨

六甲山麓の閑静な住宅地に位置する、この同窓会館は卒業生の会合や、理事会、学生の研修等を目的として計画されました。女性の利用が主体となる本会館のテーマは、優しさと親しみを感じさせる空間の創造にありました。
ロビーは、外壁から内壁へと連続するスタッコの白い壁を基調に、暖かみあるテクスチュアを持つレンガ・天然木で構成し、勾配屋根の架構を生かした吹抜け空間の広がりは、天井までのガラススクリーンにより、北側アプローチ・南側ピロティ・庭園へとつながり、外部との一体感をもたせました。また昼間の自然採光も多く、夜間は白熱灯の柔かな光により、明るく清潔感のあふれるムードづくりを演出しました。　（加藤視希夫）

オブテリア シャンデリア　東芝電材株式会社 神戸営業所　神戸市東灘区本山南町８－６－26　ＴＥＬ　078－451－1931㈹

インテリア空間15

ライジング飯田㈱本社ビル

設　　計　錢高組一級建築士事務所
施　　工　錢高組大阪支社

所 在 地　大阪市東成区深江南２丁目13番５号
敷地面積　304.298㎡
建築面積　238.61㎡
延床面積　914.36㎡
構造規模　ＲＣ、４Ｆ、Ｐ付
竣　　工　昭和53年11月

（室内仕上）床　：アスファルト系塩ビ・柄入タイル
壁　：ビニールクロス貼り
天井：ビニールクロス貼り
ステージ、ケース：カーペット敷、桜材色付仕上



設計主旨

大阪市と東大阪市との接点である新深江交差点脇に位置するこの建物は、今後商業地域として発展するであろう若い息吹きを先き取りし、企業イメージと本社ビルの性格を融合させることに留意した。外観は都会的な感覚と紳士服、紳士用品の専門店としての品位の高い独特な雰囲気をレンガ色のエレガンスなスタイルで表現する。建物、看板それにマッチしたシックな色調は市内商業中心地のイメージカラーを十分取入れバランスのある内装計画をすることが課題であった。玄関アプローチより見るショールームと２・３階のフロアスペースとの動線と外観とのフイットさせる内装に配慮した。内部周囲は白色ベースでステージ造作等は桜材チャコ仕上とし、装飾品との調和を求めた。
（Ｍ・Ｍ）

内装工事　株式会社 トーヨー・アード　大阪市東区高麗橋１－２－１　ＴＥＬ　06－201－0841㈹

インテリア空間16

新宮ショッピングセンター

（仕上）床　：長尺床材
天井：プラスターボードリシン吹付
吹抜部分：床、寄木張り天井等、プラスター仕上

所在地　福岡県粕屋郡新宮町
敷地面積　7,776㎡
建築面積　5,447㎡
延床面積　10,591㎡
構造規模　RC、2F
竣　工　昭和52年11月

施設企画・建築基本設計・内装設計監理　赤松店舗研究所
施　工　高木工務店



設計主旨

当町は福岡市に隣接する住宅および学園都邑で人口約3万人従来町民生活に必要な買物の殆んどは福岡市に依存し街らしい機能が欠如していた。
当プロジェクトはこの状態を改善して生活利便と都市生活のコミュニティスペースづくりを意図し、地元デベロッパーが開発、熊本に本社をおく量販売が運営する地域型S．Cである。
従って設計上の主眼は地域住民が参加しやすい開放性とこの町の誇りとなり得る公共広場的要素をとり入れ、しかも営業機能の完結の条件としたので全館2層建て、本館と別館2棟合計3棟を2階で結び、エクステリア、インテリアいづれにも魅力のある広場空間をもつように試みた。
外部空間は3方のアプローチから正面玄関前広場への集約を計り、内部広場は核店舗売場、専門店売場の接点に円形に絞った吹抜を構成、ここが1～2階エスカレーター動線であると共に催し広場としてステージ等を設け、町民参加プラザとしている。　（山田常寿）

照明　大光電機株式会社　大阪市東成区中道3－15－16（毎日東ビル）TEL　06－972－5551

インテリア空間17

ガーリッシュマインド　コーヒーショップ

（仕上）床　アプローチ床：レンガタイル
内部床：コルクタイル「プラストコルク」
壁：ラフトン吹付　ビトログラス
天　井：ラフトン吹付
バーバック　扉：ラッカー　奥板：ビトログラス
階段式照明ボックス：ビトログラス、アクリライト
カウンタートップ及腰：プラストコルク
卓　子　トップ及腰：プラストコルク
椅　子　側板　〃　〃

所在地　吹田市江ノ木町2－15
延床面積　43㎡
構造規模　S、ALC板、3F
竣　工　昭和54年4月

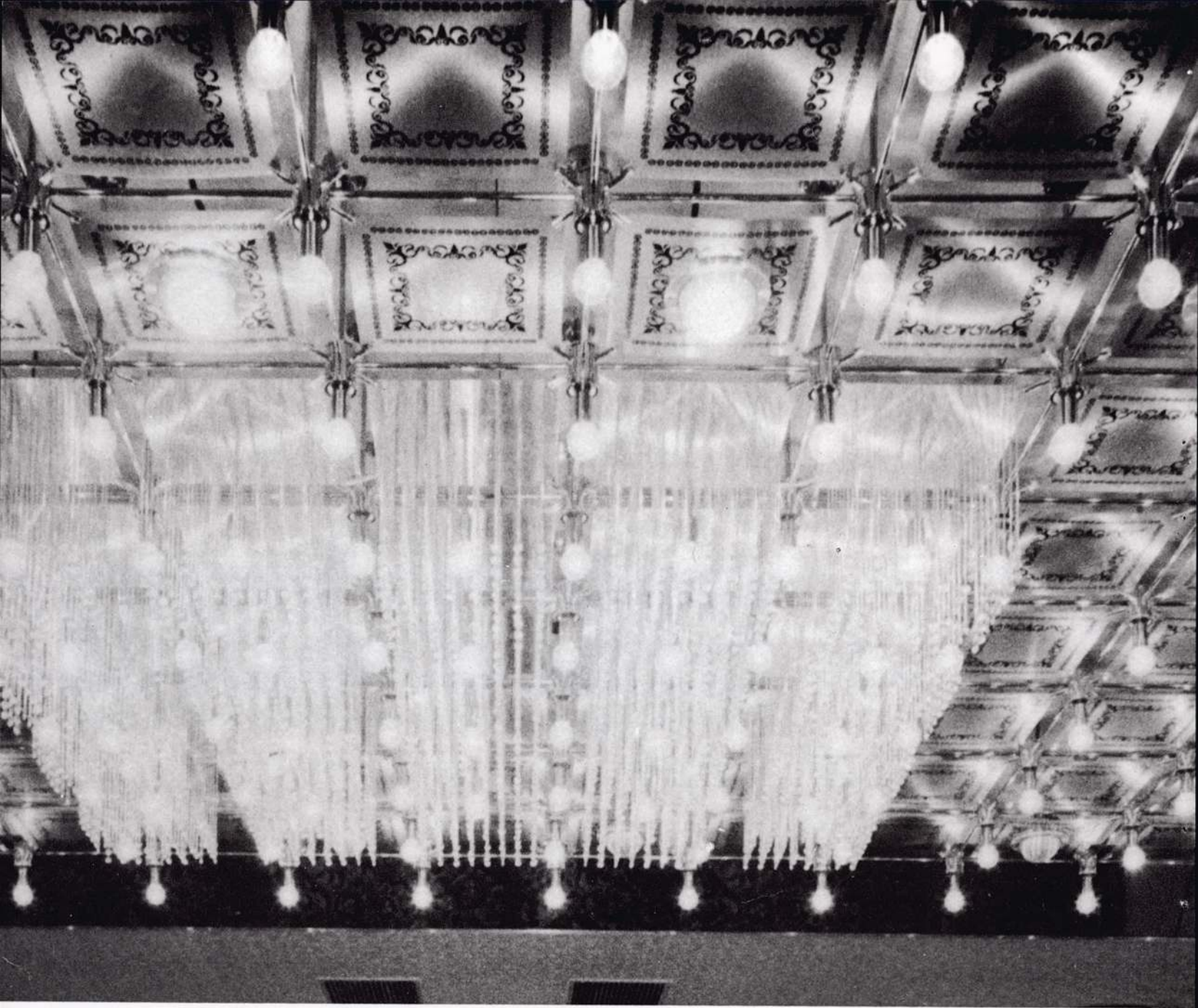
設　計　福岡喜久雄デザイン事務所
施　工　大和工業　（内装、看板、ファサード部）



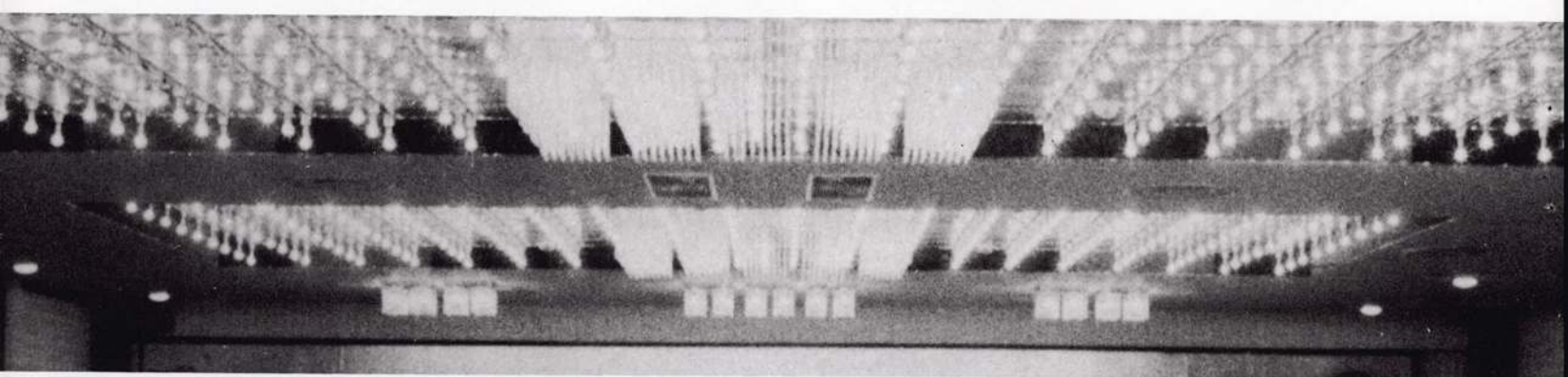
設計主旨

デザインの傾向は、商業空間としては極めてシンプルなデザインで、今日言われる減算式デザインである。
即ち不必要な飾りを徹底的に削減はい除したもので、インテリア構成の色彩もオフホワイトとあと一色「この一色もナチュラルカラー」。
材料もラフトンとコルクタイルと椅子貼地と言う、極めて限定した構成、これ以外には、全く必要なものだけにしぼり例えば硝子とか、洗面鉢との陶器、クロームメッキの金具と言った具合である。
全体の構成は、床面とテーブルトップ、カウンタートップと言った、目の高かさより低い面の構成と水平を主にコルクタイル貼り、壁面と天井はオフホワイトのラフトン吹付け。
バーバックの棚の扉と空間の分割のデザイン性が、この空間の見せ場、スピーカーケースは椅子貼地を使用、バーバックの奥板はビトログラスの同色の仕上、扉はラッカー仕上である。別面、ウインドーサイドは既存の壁面の分割を有効に生かすための装置、間接照明のボックスと階段状の照明器具、これらも全体と統一性のある材質、色調である。
直照明はソフトなイメージ演出と、シンプルなインテリア構成に深みをもたす表現の手段としてインダイレクト方式を採用し、かつ、間接照明の効果をよくする意味と、ランニングコスト、照度等の総合的省エネルギー性発想で、F・L球を多用、但し演色性の低下を防ぐ理由で色温度の低いメロールックを採用した。　（福岡喜久雄）

内装・ファッサード部工事　大和工業株式会社　大阪市城東区成育3－13－6　TEL　06－934－8686㈹



―いま、大きく変わる遠藤の光―



明るい街づくり住いづくりに貢献する。株式会社 遠藤照明

Lighting ENDO

本　　社　〒577 東大阪市衣摺5丁目1－16☎（06）727－3200(代)
開 発 部　〒542 南区東賑町5丁目山喜ビル3F☎（06）768－7531(代)

カタログのお申込は
開発部ＥＬ係へ！

墨田営業所☎（03）632－7165(代)　静岡営業所☎（0542）55－1307(代)　神戸営業所☎（078)351－3130(代)
渋谷営業所☎（03）499－3592(代)　福岡営業所☎（092）712－5461(代)　北九州営業所☎（093)922－5050(代)
仙台営業所☎（0222)46－2551(代)　札幌営業所☎（011）271－4711(代)　大阪販売☎（06）779－0605(代)
京 都 店☎（075)802－2328(代)　広 島 店☎（0822）38－6717(代)　東京特販☎（03）632－3515(代)
大阪特販☎（06）768－7011(代)



いい暮しにいいあかり。

あかりが織りなす光と影……
あかりはやすらぎの空間をつくり出す……
そんなあかりの心をカタチにした
ヒカリ照明器具。

いい暮しにいいあかり
ヒカリ照明器具

小泉産業株式会社

本　　社　〒541 大阪市東区備後町4丁目43番地
　　電話 (06) 262-1751
本　　社　〒541 大阪市東区備後町3丁目長谷ビル2F・3F
ショールーム　電話 (06) 261-0219

大阪LCR-(06) 261-9316
大阪営業所-(0729) 82-1141
サービスセンター-(0729) 85-5521
姫路出張所-(0792) 97-7575
京都出張所-(075) 622-3240
和歌山出張所-(0734) 72-3623
広島営業所-(0822) 43-1751
岡山出張所-(0862) 63-1101
米子出張所-(0859) 29-3321
山口出張所-(0835) 22-6250
福山出張所-(0849) 31-7602
高松営業所-(0878) 33-0131
松山出張所-(0899) 46-4516
高知出張所-(0888) 66-4567
福岡営業所-(092) 522-2311
北九州出張所-(093) 582-0131
久留米出張所-(09428) 3-4761
大分出張所-(0975) 43-2380
熊本出張所-(0963) 83-1737
鹿児島出張所-(0992) 52-3914
長崎出張所-(09572) 6-3970
宮崎出張所-(0985) 28-1180
沖縄出張所-(0988) 61-9308
名古屋営業所-(052) 481-7121
岡崎出張所-(0564) 24-3101
静岡出張所-(0542) 81-6636
浜松出張所-(0534) 64-5667
岐阜出張所-(0582) 53-7151
三重出張所-(0592) 25-1685
金沢出張所-(0762) 49-3233
松本出張所-(0263) 26-3691
東京営業所-(03) 863-7691
東京LCR-(03) 863-7691
横浜出張所-(0463) 54-1151
北関東営業所-(0489) 24-9461
熊谷出張所-(0489) 25-3561
水戸出張所-(0292) 24-3601
新潟出張所-(0252) 24-3325
千葉出張所-(0472) 33-2030
仙台営業所-(0222) 91-2101
札幌出張所-(011) 662-3131
釧路連絡所-(0154) 52-1017

創意ある空間づくりのアシスタント



宝塚ホテル・宴会場

DAIKO

最近の納入先及び受注件名

- 大阪駅前市街地ビル才三棟（大阪市・大建設計）
- 東京池袋サンシャイン60ビル（三菱地所）
- サンシャインシティワールドインポートマート（三越建装部）
- 横浜市立大佛記念館（横浜市・浦辺建築事務所）
- 久保田鉄工本社ビル（日建設計）
- 神戸貿易センタービル、レストラン“バーグ”（日建設計）
- 大分市庁舎（日建設計）
- 大分県立芸術会館（安井建築設計事務所）
- 福岡サンセルコ（福岡市・赤松店舗研究所）
- 兵庫県農業会館（東畑建築事務所）
- 宝塚ホテル宴会場（阪急エンジニアリング・大林組）
- 寿屋新宮店（赤松店舗研究所）
- セントバーナード千里山店（阪急エンジニアリング・竹中工務店）
- 大阪駅前市街地ビル才四棟（大阪市・東畑建築事務所）（受注中）
- 日本銀行大阪支店（日建設計）（受注中）
- 倉敷市庁舎（倉敷市・浦辺建築事務所）（受注中）
- 倉敷駅前市街地ビル（倉敷市・浦辺建築事務所）（受注中）
- 東洋紡績本社ビル（大林組・東洋紡サンリビング）（受注中）
- 須磨ニュータウン名谷ショッピングセンター（神戸市・日建設計）（受注中）

照明に関するあらゆるご相談にお応えできるプロを自負しています。……

TACT DAIKO ☎(06)972-5551（又は、各営業所にお問い合せください）

いまや、照明に課せられる使命は、「照らす」ことだけではありません。〈タクト・ダイコー〉は、この現実を明確に把握した《あかりの創造集団》です。さまざまな機能と性格を持つ空間に、設計される方のイメージを、あかりを通して、具体的に定着させます。ぜひご利用ください。

大光電機株式会社

本　社　大阪市東成区中道3丁目15番16号（毎日東ビル）　〒537　☎(06)972-5551代
本社工場　大阪市東成区玉津3丁目13番8号　〒537　☎(06)972-4881代

東京支店☎(03)433-3551代　旭　川☎(0166)22-2685～6　大　阪☎(06)972-8861代
東京市販☎(03)433-3551代　函　館☎(0138)55-7099　京　滋☎(075)314-7897
東京中央☎(03)433-8701代　青　森☎(0177)42-4241～3　兵　庫☎(078)332-2481～2
南関東☎(03)758-3421代　盛　岡☎(0196)46-2247　広　島☎(0822)47-6711代
北関東☎(0286)37-1461代　仙　台☎(0222)86-4952～3　岡　山☎(0862)32-4038
高　崎☎(0273)52-2301代　郡　山☎(0249)33-6585　高　松☎(0878)61-5023
埼　玉☎(0488)64-1641代　北　陸☎(0762)42-6084　松　山☎(0899)33-2810
千　葉☎(0471)64-1161代　新　潟☎(0252)41-3811代　福　岡☎(092)531-3164代
札　幌☎(011)561-8067代　名古屋☎(052)821-6276代　熊　本☎(0963)69-3114
釧　路☎(0154)52-3143代　静　岡☎(0542)82-6018代　鹿児島☎(0992)26-2986

マネージメント110シリーズ
●デスクMG-11D ●イスCR-131D(本革)●ロッカーMG-11L ●書棚MG-11B ●サイドボードMG-11S

風格の表情。

コクヨがつくる役員室です

経営環境が厳しくなるにつれて、企業をあずかるトップエグゼクティブの多忙ぶりも増しそうです。こんな時こそ、静かに経営に思いをめぐらす時間を持ちたいもの。コクヨ〈マネージメントシリーズ〉は、デスクをはじめ、サイドボード、書棚、ロッカーなどが揃った、役員室のトータルファニチャーです。格調高い130シリーズからお求めやすい価格の80シリーズまで、豊富にバリエーションが揃っています。



マネージメント130シリーズ
●デスクMG-13D ●イスCR-140D(本革)●ロッカーMG-13L
●サイドボードMG-13S ●プラントボックスMG-13PX



マネージメント80シリーズ
●デスクMG-8D ●イスCR-527D ●ロッカーMG-8L ●書棚MG-8B
●サイドボードMG-8S ●ガラス書棚MG-8G ●テーブルMG-8T

●役員室のトータルファッション

コクヨ マネージメント シリーズ

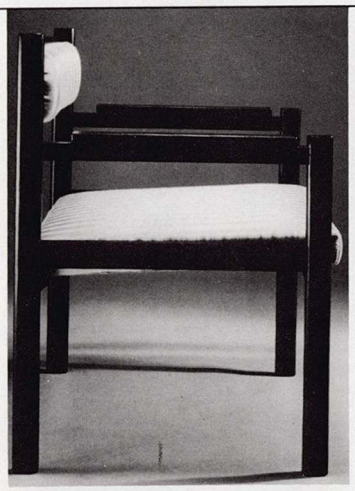
コクヨ株式会社
〒537 大阪市東成区大今里南6丁目1番1号
☎(06)976—1221

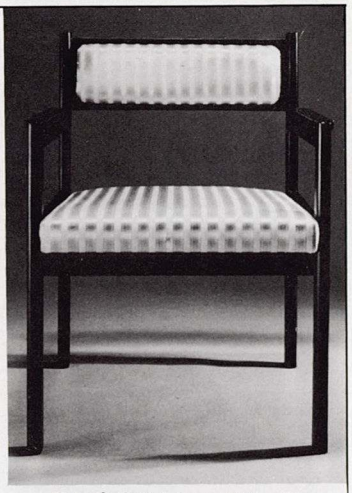
GL
ORIGINAL
FURNITURE

株式会社 GL

すてきな暮しの空間
設計
施工
制作

本　　社・京都市東山区四条通祇園石段下(075)561－7101(代表)〒605
東京事務所・東京都港区赤坂３丁目21番15号 (03)583－2906・4806〒107



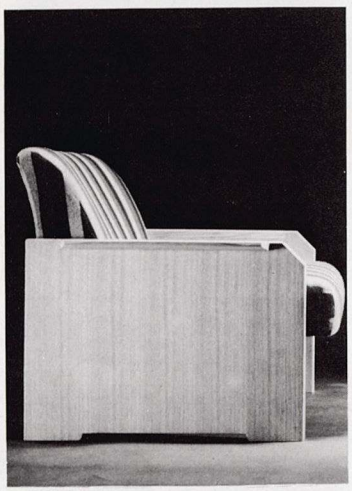


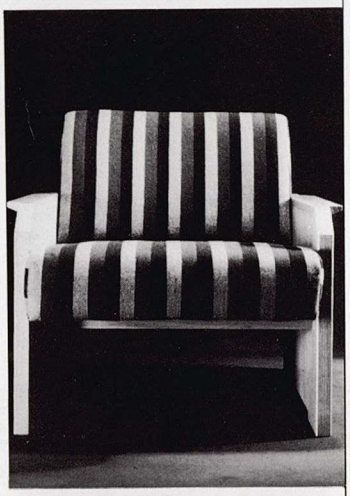
GLオリジナル　412—S



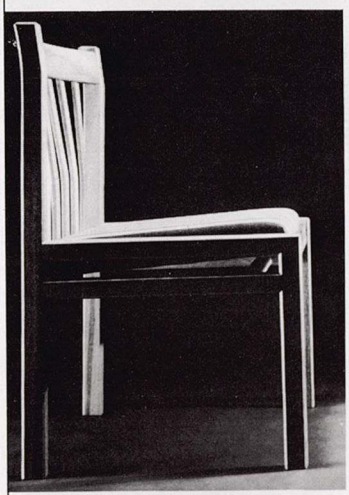


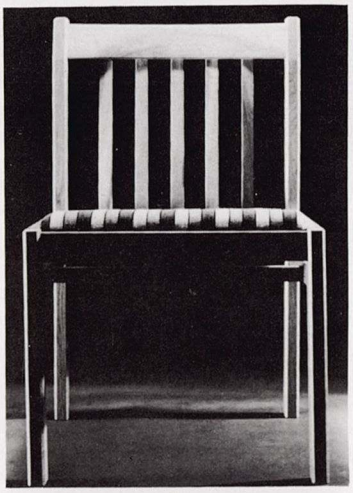
GLオリジナル　111—W



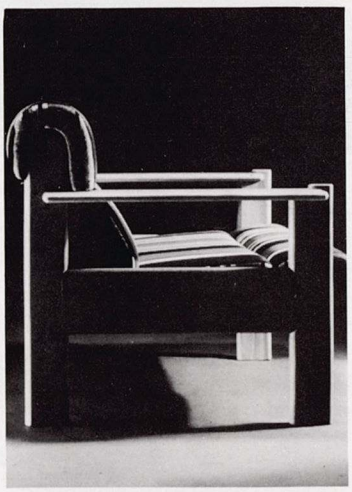


GLオリジナル　515—T



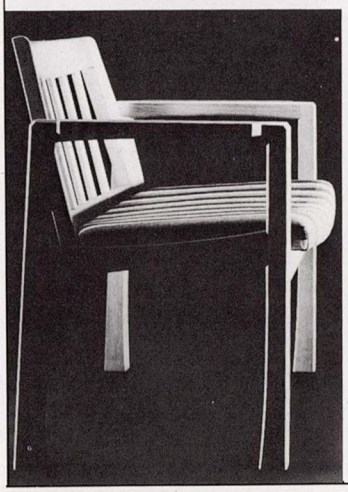


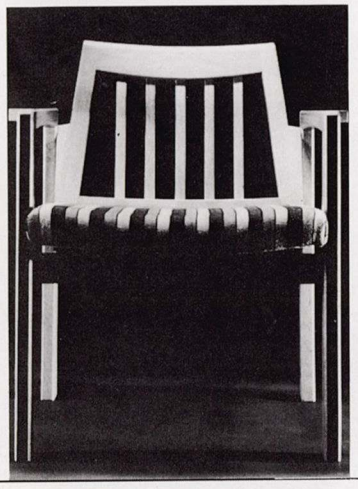
GLオリジナル　211—N



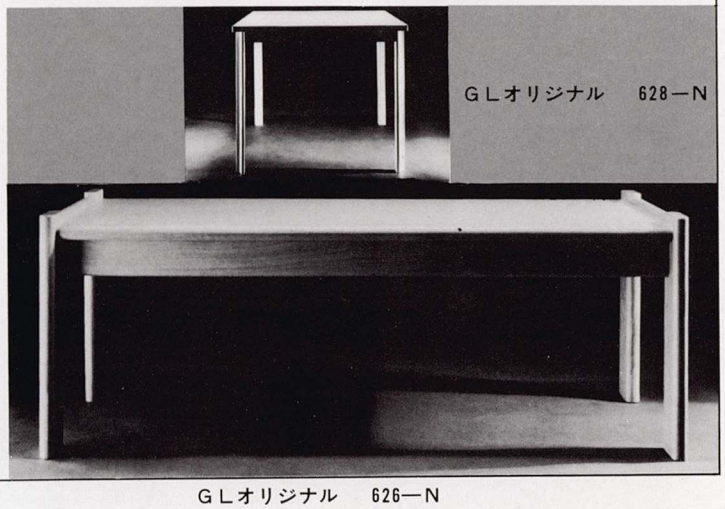


GLオリジナル　615—N





GLオリジナル　312—N



GLオリジナル　628—N

GLオリジナル　626—N

インテリアに 現代建築に
山本金属の技術は生きています

YAMAMOTO KINZOKU

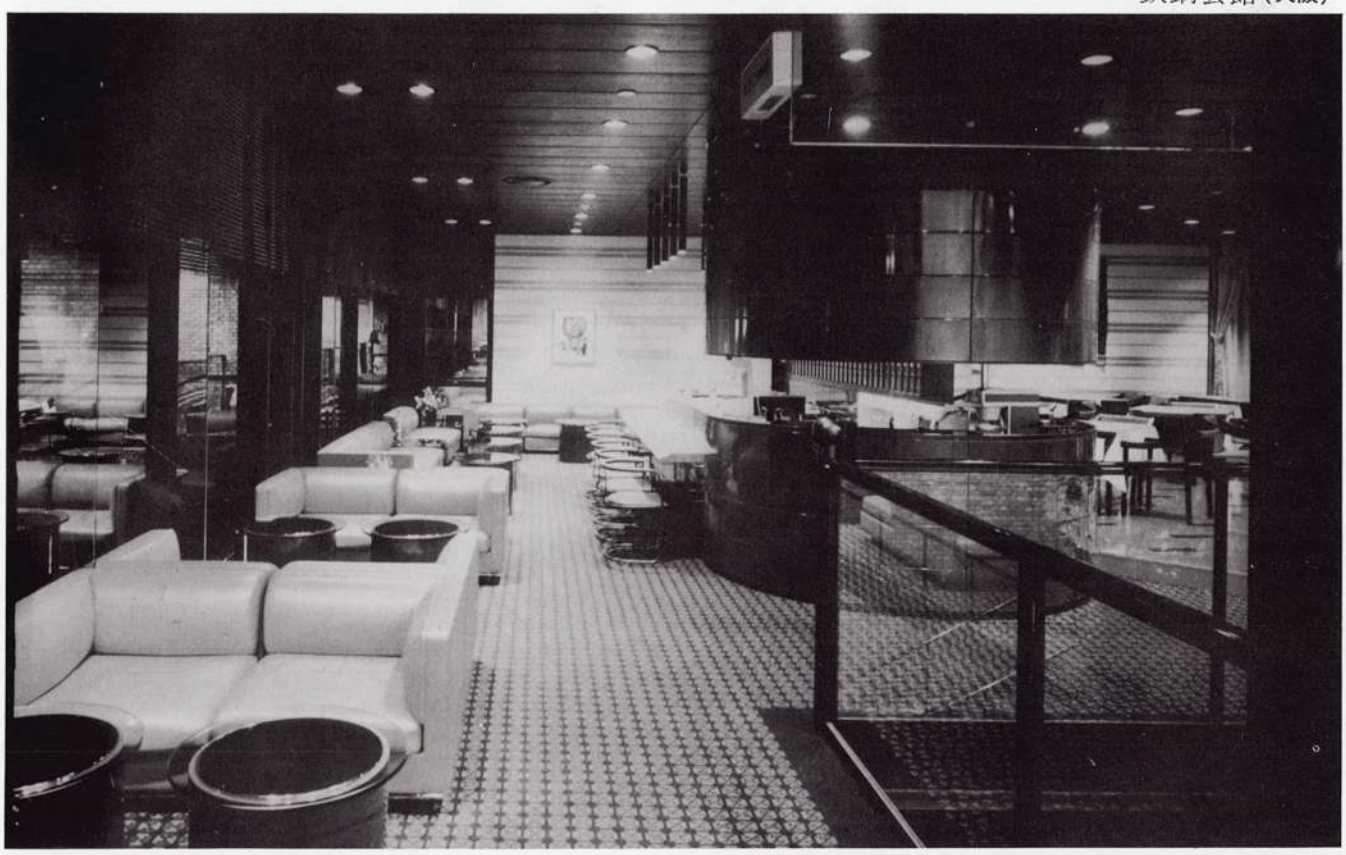
私どもは、創業以来半世期にわたって、常に製作金物業界における設計段階でのご相談から製作における技術的な問題解決まで、一貫して満足な製作金物の完成・納入をめざして、お得意様各位のご要望に副うべく専心努力してまいりました。建築製作金物にかかわるあらゆる問題を、常に検討・研究することによって、よりよい製品製作と業界の発展をめざしておりますが、今後ますます経験と技術の積み重ねのうえに、皆様のご意見・ご要望をとりいれて、いっそうの努力・前進を期しておりますので、よろしくご愛顧を賜わりますようお願いいたします。

株式会社 山本金属製作所

本社及本社工場 大阪市南区西賑町25番地〒542
ＴＥＬ　大阪06(761)0127(代)
守　口　工　場 守口市浜町２丁目１番地〒570
ＴＥＬ　大阪06(993)7192

創　　業――大正13年４月３日
主要業務――家具金物・建築金物・ディスプレイ金物・美術金物・装飾金物・陳列金物・照明金物・船舶金物・厨房金物・その他諸金物別註設計製作・ステンレス製品・ブロンズ製品・軽合金製品オリジナル金属家具及びパーツ
実用新案特許３号棚受の製作販売
建設業許可大阪府知事許可(般－53)第978号
一級建築士事務所大阪府知事登録イ第7979号

鉄鋼会館(大阪)



日本の伝統美が選んだ ヨーロッパの一流ブランド

いまリセッションの予感の中で期待されるインテリア材

KURIYAMA

空間に
ポエジーを求める人々の
声が聞え
空間に
美を求める人々の
姿が見える

企業が利益を追求する時
人々と企業の間で
「美と利益を共に充す」ことが
理想となる

設計・建築・販売の
異なる立場で
その理想が検討され
"一流ブランド商品"が
選ばれる

ヨーロッパと共に生きて40年
クリヤマゴムが
自信と責任を持ち
お届けする
"ヨーロッパの一流ブランド"に
ご注目ください

'80 EUROPEAN BRAND IN JAPAN

iboflor アイボフロア

置敷きタイルカーペット

伝統ある美しいパターン「フローレンス」「アテネ」「ローマ」「マドリッド」総計19種 他 無地色 格調高いブランドです

GERMANY

teroydécor テロイデコール

最高級ウール壁装材

「テロイ」はクリエーターズネーム 本場英国ウールを基材としたシックで豪華な雰囲気をもつ100%ウール壁装材 自信と信頼のブランドです

ENGLAND

Plast Cork プラストコルク

コルク床材

ナチュラルパターンが"キャラクター""ハーモニー""ノーマル""エキスパンド"とモダンな感覚 技術のブランドです

SWEDEN

taraflex sport タラフレックス・スポーツ

室内スポーツ床材

「タラ」はフランスの地名 モントリオールオリンピック実績17,000㎡ モスクワオリンピック採用決定20,000㎡で実証済 世界のブランドです

FRANCE

代理店募集

KURIYAMA WILL DO FOR YOU?

1お客のニーズを先取りするネットワークを持つか？2絶えず新しい商品開発をするか？3高付加価値商品を提供するか？4基本的な宣伝活動を充分にするか？5営業情報を豊富に流すか？その他、ご質問のおありの方は栗山ゴム㈱インテリア事業部へご連絡ください

栗山ゴム株式会社 インテリア事業部

本社■大阪市淀川区西中島1丁目12番4号 ☎(06)305 5611(大代)

東京支店■東京都渋谷区南平台町15番13号帝都渋谷ビル8階 ☎(03)463 1841(代)

●カタログご希望の方は本社インテリア事業部へどうぞ

暮らしの中に潤いを！

シンコーインテリア株式会社

SINCOL

本　　社
東大阪市長田東３丁目54番地　〒577
ＴＥＬ(06)747－5151(大代表)
奈良営業所
奈良市古市町７８６　〒630
ＴＥＬ(0742)62－1421・1431
堺　営業所
堺市南旅篭町西1丁1－8　〒590
ＴＥＬ(0722)21－5177(代表)

営業品目ご案内

シンコールカーテン
シンコール11カーペット
ポンリュウム・サニーカーペット
アームストロング・タイル
アコーデオンカーテン
ブラインド・レール
接着剤・壁装クロス
その他工事用資材全般

設計プランに最適な床材をアウトプット！

TOLI TOTAL FLOORING SYSTEM

1919年、日本ではじめてリノリュームを国産化して以来、東リは床材メーカーのパイオニアとして、常に業界に先駆け、時代にマッチした各種床材を開発してまいりました。この間60年、東リは常に用途・目的・予算・効果の４つを念頭に、床材の開発、製造から、施工、メンテナンス技術の開発まで一貫した姿勢のもとにニーズにお応えしています。そして、いま、この姿勢をさらに充実させ、より完ぺキなフロアカバリングを目指し、システム化したものが、東リ・トータル・フロアリング・システム、略してT.T.F.です。

よろこびを敷きつめる
東リ

東洋リノリユーム株式会社
札幌営業所 ☎(011)271－2561　東京営業所 ☎(03) 503－3021　大阪営業所 ☎(06) 943－1641　高松営業所 ☎(0878)33－4410
仙台営業所 ☎(0222)94－3505　名古屋営業所 ☎(052)733－3471　広島営業所 ☎(0822)28－3361　福岡営業所 ☎(092)411－9076

伝統が生み出す安定した品質と優れたセンス



日本加工製紙株式会社

JISマーク表示許可工場
許可番号３７８０１８
防火壁装材料製造業者
登録番号　第６号

本　　社	東京都港区赤坂２－５－27八千代ビル	ＴＥＬ(584) 2671(大代表)
関西営業部	大阪市東区平野町4-35千代田生命ビル	ＴＥＬ大阪(202) 代表3633
名古屋出張所	名古屋市中区丸ノ内1-17-19長銀ビル	ＴＥＬ名古屋(231)代表1321
工　　場	高　萩　藤　田	

世界の壁に

パインソフト

省エネルギー時代向き、優れた保温、断熱効果を有し、少々ラフな下地も高発泡壁紙で充分カバー出来ます。

パインブル

豊富でユニークな色、柄を集録したビニール壁紙全集

パインブルS

全種防燃、ＪＩＳ規格品。公営住宅マンション等に最適の壁紙。
在庫は１万米まで即納出来ます。

SOFT·WALLCOVERINGS·TOKIWA LEATHER IND.

JISマーク表示指定工場 本社工場許可番号578011
大垣工場許可番号478045
防火壁装材料製造業者 登録番号 第10号
UL(UNDERWRITERS LABORATORIES INC) 承認

トキワレザー工業株式会社

本社工場	大阪市西成区南開1丁目2番17号	TEL06(561)1623 〒557
東京出張所	東京都台東区寿３－20－３	TEL03(844)8902 〒111
大垣工場	岐阜県大垣市久徳町 330	TEL0584(81)3385〒503

特殊壁装材製造販売・和室に最適

●聚楽壁紙●ホクシノン（無機質壁紙）

(株)ホクシンクロス

〒583 大阪府羽曳野市島泉８—173—1
ＴＥＬ（0729）３９—３６１０
工場　〒580　大阪府松原市三宅町1222番地
第一　〒639-11奈良県大和郡山市小泉町2744
第二　〒597　大阪府貝塚市王子５０１

総合壁装材

キボークロス15集

キボーシリーズ
キボージェイ
キボーミニ
キボーライゼー

サンプル御入用の節は当社へ御一報下さい

総発売元

株式会社 原田喜佐 大阪支店

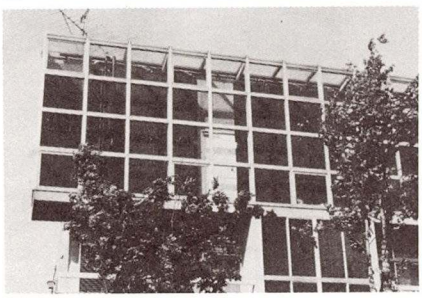
〒546 吹田市広芝町 13 — 31
ＴＥＬ 06(386)６５１１(代) テレックス　５２３ — ６６２２
本社・壁装館　〒160　東京都新宿区新宿２—８—１
ＴＥＬ 03(354)２６４１(代)

日本建築協会60周年記念出版　建築技術選書12

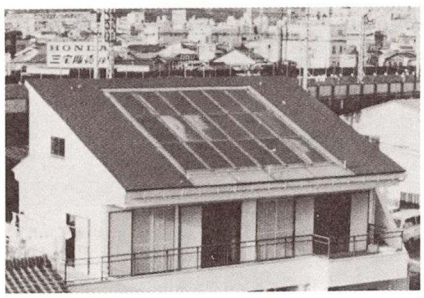
ソーラーハウス

新日本空調
内山武夫著

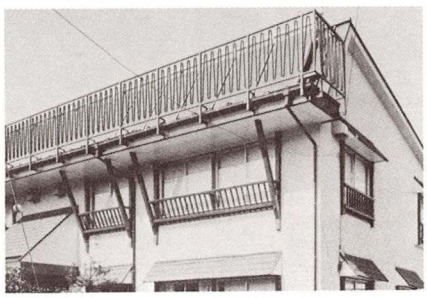
住宅関係者からユーザーまで，すべての人に役立つ，
どうすれば，確実で損のないソーラーハウスをつくれるかを示す実践的手引



内山ソーラーハウス　太陽熱利用の要である集熱器を，そのまま屋根にのせると高くつくうえに，保守もむつかしい．壁と集熱器を一体化しコスト低減を図るとともに，保守を容易にした例である．



大石邸（静岡市）　集熱器を屋根の上におく場合，汚れに対する配慮を怠ってはならない．この例では，清掃のために回転ブラシ取付フックと吹出角度可変の散水管が設けられている．



富士電機製造㈱ クラブハウス　太陽熱直接暖房の場合，補助熱源の選択を誤まってはならない．この例は補助熱源を空気熱源ヒートポンプとした推奨できるシステムである．（以上，本書より）

目　次

1　望ましいソーラーハウス
2　まず負荷を減らそう
3　ソーラーハウスはどうあるべきか
4　給湯はこう考えればよい
5　暖房はこう考えればよい
6　太陽熱暖房の基礎資料
　実現のための手引き
ソーラーハウスべからず集

11月10日発売
A5　144頁　1000円

学芸出版社　京都市下京区木津屋橋通西洞院東入　☎ 075—343—0811

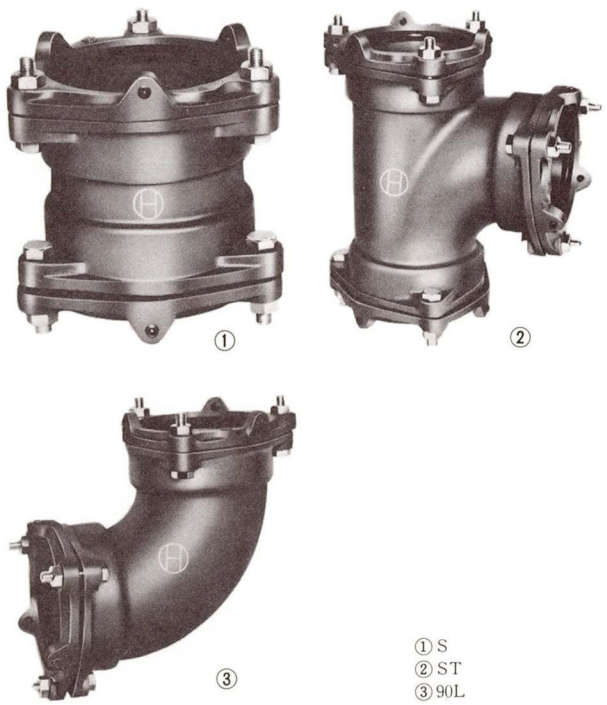
新製品ハイライト

新可とう継手「ワンマンB」

建築衛生設備資材の（株）長谷川鋳工所では、このほど、経済性・作業性など多くのニーズに対応した新排水管用可とう継手**「ワンマンB」**を開発、発売を開始した。

「ワンマンB」は、構造的には、パッキン部にO－リングを採用し、これをボルト締めにより圧着するだけで、フレキシブルにジョイントできる簡単な施工性が決め手であり、O－リングの機能を生かし、材質にもクロロプレンゴムと良質の天然ゴムのブレンドによる優れたゴムを採用しているものだ。また、抜け出し防止を確実にするため、パッキングの圧力とは別に、くぼみ先の止めビスを併用。これによって、旧ワンマン継手では必要であった現場での拡管作業がなくなったため施工性が高まり価格も引き下げられている。

種類は、90°エルボ、90°大曲りエルボ 、45°エルボ、90Y、90°大曲りY、45°Y、ソケット、90°大曲り両Y、差し継手付90°Y、鉛管用フランジ、掃除口付ソケット、CO栓の12種類。サイズは1¼インチ～6インチまで。



①S
②ST
③90L

詳しい資料は下記まで。

株式會社 長谷川鋳工所

本　　社　〒101東京都千代田区神田淡路町1-2　TEL　03—255—4051(代)
大阪営業所　〒530大阪市北区南森町2—3—36　TEL　06—315—8900(代)

●中国を訪ねて〈8〉—— 王柏群

蘇州遊覧

上海発午前6時40分の汽車で蘇州へ向かうため、8月26日は早朝ホテルを出発。前夜は同窓の黄君宅でご馳走になり2時過ぎに就寝したのですが、早起きも一向に苦になりません。中国へ来て、〝郷に入れば郷に従え〟と毎日昼食後はひと眠りするのが習いとなりましたが、そのせいか体調は上々です。

列車内ではテーブルを隔てて楊さんと向かい合わせにゆったりと坐り、服務員が何度もサービスしてくれる熱い中国茶をすすりながら車外の風景や雑談を楽しんでいると、1時間少々で早くも蘇州駅に到着します。

蘇州は2500年前の春秋時代に呉の首都として栄え、明代から清の中期にかけては中国最大の大都会だったと言われています。

気候温暖、風光明媚で〝東洋のベニス〟と譬えられたこの地には、古来多数の官僚や地主が別荘や隠居所を構え、それぞれが趣向を凝らした園林が大小合わせて200カ所も現在に残されています。解放前、蘇州の塔は煙突よりも多いと言われたくらい佛寺や旧蹟の多いことでも知られ、他方、工場と言えば全市でわずか3工場(マッチ、生糸、絹織物)を数えるのみでした。

現在は従業員1,000人を超える工場が22カ所、500人以上の中規模工場66カ所を含めて計476工場が操業し、電子機器その他多種多様な軽工業製品を生産しています。豊富な水産物や全国でも高水準を誇る農産物とともに蘇州は過去における消費都市から脱皮して生産都市として発展しつつあり、烟館(阿片館)、当舗(質屋)、酒楼が蘇州の三多と言われた過去の様相は町から姿を消しました。現在市区43万人、近郊を含めて人口は54万人、観光都市としての整備も重視されています。

旅行社の王鴻根さんの説明を聞いていますと、車は間もなく緑の多い宿舎の南林飯店へ到着。二階建てのしょう洒な建物です。

〈留園〉　ホテルで一服したあと車でまず留園を訪ねました。北京の頤和園、承徳の離園、蘇州の拙政園とともに四大名園の一つですが、比較的小じんまりした庭園で、形の変化に富む太湖石が随所に使われています。留園を含め多くの園林が解放後修復整備され、市民の公園や学校やホテル等に利用されています。



奇岩の多い太湖石(留園にて)



黄泥で造られた虎丘の塔

〈雲岩寺塔〉　俗称虎丘。紀元961年の宋代に完成した7層の塔で、高さ47.5米に及ぶ土造の塔です。もち米と明礬(みょうばん)で黄泥を固めたと伝えられていますが、明朝の頃から傾斜し始め、1965年の調査では上下で1.82米も差があったそうです。ちょうど1階をコンクリートで補強する工事が進められていました。

塔のすぐ下には3,000本の剣とともに呉王の墓陵があると伝えられる〝剣池〟があります。解放後調査を行ったところ、池底で立派な門が発見されました。ところが池水のポンプアップによって上部の塔の傾斜が著しく進行し、止むなく調査は中止されました。案内の王さんは、何とか妙案はないものか日本の技術にも期待したいと話していました。

剣池から少し下ると越王勾踐が幽閑されていた〝勾踐洞〟があります。〝天勾踐を空しうする勿れ、時范蠡(はんれい)無きにしも非ず〟と桜の幹に刻んだ兒島高徳の十字の詩、小学生の頃歴史と唱歌で習った懐かしい詩を思い出します。

〈寒山寺〉　唐の詩人張継の名作で知られる姑蘇城外寒山寺の門をくぐり、とくに許しを得て鐘楼の鐘をつきました。つき終わってからはじめて張継の聞いた夜半の鐘声とは別物だと知り、がっかりします。本物の鐘は何者かによって日本へ持ち去られ、伊藤博文が八方手をつくして探しましたがとうとう見つからず、明治38年に別に一つ鋳造して届けたという鐘が寺内に展示してありました。

寺門を出ると正面に太鼓橋があり、その名は楓橋といいます。早速楊さんと記念撮影。楓橋夜泊の一節に〝江楓の漁火愁眠に対す〟とありますが、作者はこの楓橋と少し先にある江春橋の中間に碇泊した船中で鐘声を聞くのです。

〈刺繍研究所〉　緑の中の静かな研究所で驚くほど精緻な作業が進められていました。1,000年の伝統を持つ蘇繍は、湖南の湘繍、四川の蜀繍、広東の奥繍とともに内外にその名を馳せ、解放後はさらに〝両面繍〟という新しい技術も開発されました。題材に猫と金魚よく使われ、とくに金魚の尾の微妙な揺れを表現するために1本の絹糸を48本に分けて刺繍するという信じられないほどの技巧には全く脱帽のほかはありません。眼鏡をかけた人は皆無で、かけると全体の色合いなどがつかめなくなるといいます。ちょうど中年の婦人の指導で若い人達が眼保健操という眼の体操をしていましたが、健康管理にはとくに細心の注意を払っています。

〈拙政園〉　留園と並ぶ四大名園の一つで、蘇州最大の園林です。昔中央で監察を司る長官が屢々(しばしば)地方を視察しました。地方の悪徳官吏は自らの収賄の発覚を恐れて袖の下を使い、一方、一般官吏も中央の高官に媚び入るため金品を贈ります。かくして彼は巨万の財を成し、晩年追われるごとく職を辞すと蘇州で豪奢な住まいを築造したのです。〝拙政園〟という名称は表向きは政治から退き謙虚に蟄居するという意味で、その実は宮廷を追われた恨みを込めて時の宮廷政治の愚拙さを嘲笑し名付けたと言われています。

蓮池が過半を占める広い敷地の一角に盆栽(中国では盆景)園がありました。恐らく数百を数える盆栽の中で100年〜200年クラスも少なくないそうですが、とくに樹齢200年の柘榴の盆栽は圧巻でした。作者は数百年後の枝ぶりを脳裏に描きつつ丹誠こめて育て上げたと伝えられています。もちろんこれらの逸品は素人ではすぐに枯らしてしまうので、専門職によって大切に保護されています。

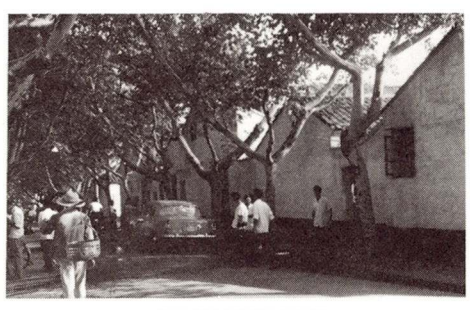
〈小園林〉　夕食後、楊さんと二人でぶらりと散歩に出かけ、とある小園林へ入りました。たまたま園内では新作ランタンの展示会が催され、夕涼みを兼ねた市民達で超満員の盛況。小じんまりとした中で趣向の凝らされた室内や庭園を興味深く見て廻りましたが、点灯された大小さまざま色とりどりのランタンが夏の夜の情緒をそそっていました。

〈獅子林〉　二日目の早朝、600余年前の元の時代から続く古い名園を訪ねました。

天如、唯則両禅師が恩師中峯和尚を記念して建立した獅子林寺がその前身で、師子林とも書かれます。園内の石の三分の二が太湖石。

〈戒幢律寺〉　正面ににこやかな彌勒菩薩が鎮座し、両側に泥で造られた巨大な四天王の立つ正門から本堂へ進むと、天井の高い堂内には極彩色の浮き彫りをバックに薬師や如来や釈迦や観音等諸々の佛像が私達の目を見張らせます。亜の字型平面の別棟にずらりと並んだ五百体の羅漢像も壮観でした。わけても作者が一生を捧げたという、径2米内外、高さ4米にも及ぶ木彫りの千手観音像の素晴らしさにみとれます。右から見れば笑顔、左からはしかめ面、正面は不愁不笑という済公像もなかなかユーモラスな像でした。

この日は午前10時45分発の汽車で上海経由杭州へ向かうため、やや急ぎ足に見学を済ませます。ホテルから駅へ車を走らせると、遠くに昨日訪れた虎丘の塔がくっきりとその姿を浮かばせていました。街路のプラタナスの緑と民家の白い壁の対比がひときわ美しく眼に映ります。短い滞在でしたが蘇州は古い伝統と新しい息吹きを感じさせる美しい町でした。



街路樹と民家の白い壁

構造の頁

63 大阪地盤の生成（その1）

西垣　好彦

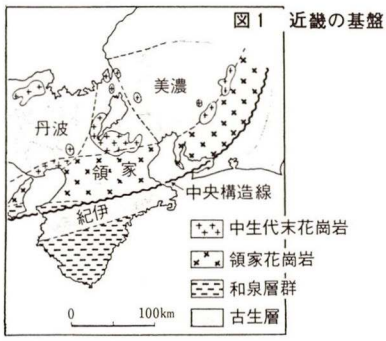
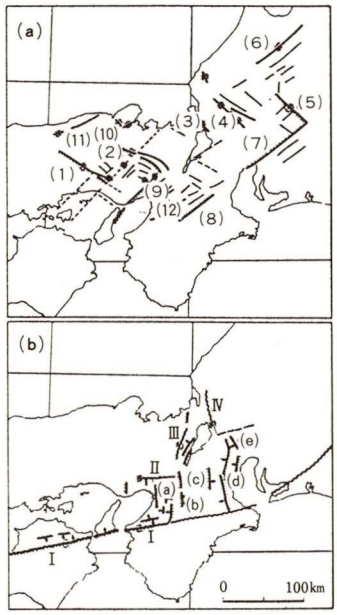


図1　近畿の基盤

大阪地盤と六甲山

六甲山は猛暑の頃、阪神地区の住民にとって身近に涼を求められる所として親しまれている。この六甲山は大阪地盤の生成に非常に重要な役割を果たしてきた。六甲山にいくつもの断層のあることは、基礎関係の業務に携わっている人々にはよく知られており、この断層形成運動が、大阪地盤の生成そのものに通じる。したがって、六甲山の現在までの歴史を知れば、大阪地盤の生成の概要を知ることができる。六甲山に関しては藤田・笠間（1971）に詳しく述べられている。

近畿の基盤（岩盤）構造は、丹波・美濃帯と秩父帯の古生層の間に領家帯がはさまれた東西に延びる帯状構造の所に、中生代末の火成活動により近江盆地から六甲にかけての花崗岩の貫入があって、領家帯の北側の古生層帯は丹波帯と美濃帯に分断され、**図1**のような基盤岩体を構成している。図1のように敦賀湾を頂点とし、琵琶湖・大阪湾・伊勢湾を含み、底辺を中央構造線とする三角形の地域に、ほぼ南北方向に延びる山地と、その間にはさまれた盆地とが交互に配列する地形で特徴づけられているので、近畿三角地帯と呼ばれている。



(a)横ずれ断層系
(1)山崎断層　(2)三峠断層　(3)集福寺断層　(4)根尾谷断層　(5)阿寺断層　(6)跡津川断層　(7)塀風山断層　(8)伊賀断層　(9)五助橋・諏訪山断層　(10)郷村・山田断層　(11)湯村・吉岡・鹿野断層　(12)大和川断層
(b)逆断層系と特殊断層
(a)生駒断層　(b)三百断層　(c)頓宮断層　(d)一志断層　(e)養老断層

Ⅰ：中央構造線
Ⅱ：有馬ー高槻構造線
Ⅲ：花折断層
Ⅳ：柳ケ瀬断層

図3　近畿の断層系

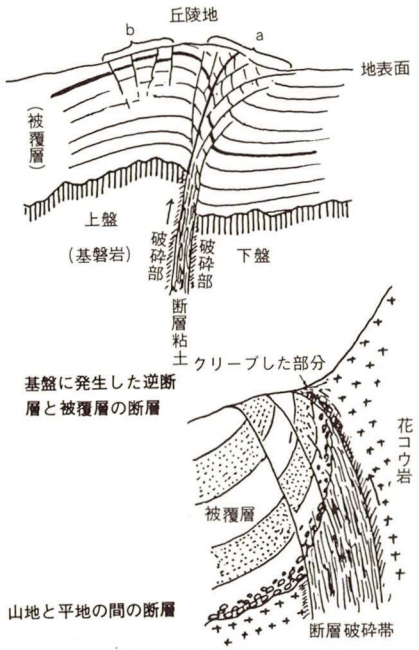


図4　近畿地方の断層例（藤田原図）

領家帯の南北両縁は構造的に非常に重要な意味があり、南縁は中央構造線で、西南日本を内帯と外帯に区別している。また北縁はほぼ有馬ー高槻構造線と一致する。この二つの構造線と呼ばれる弱線はその後の地質構成や地形発達に大きい影響をおよぼしたと考えられる。北部の古生層は琵琶湖をはさんで西に丹波帯、東に美濃帯があり、この両地塊と接する部分は激しい歪の集中部となり、六甲山地等が隆起した。この六甲山ができた地殻変動は六甲変動と呼ばれているが、この地殻変動が進み出したのは第四紀になってからであり、この変動は後に述べる大阪層群と呼ばれる第四紀層の堆積状態からすると、50万年ばかり前から激化した断層運動によるとみなされる。しかし、六甲山地を上昇させた激しい運動も、年平均にすると、1～2㎜にしかすぎない。六甲山地とその周辺の第四紀の発達を示したのが**図2**である。

この六甲変動によって**図3**に示す断層系ができ、六甲山・生駒山・淡路島が隆起すると同時に、鈴鹿山地とか比叡山等、近畿地方の主な山地全部もこの時代に隆起し、千里・枚方・羽曳野・泉北等の丘陵が発達し、大阪・琵琶湖等の沈降盆地ができ、現在の基本的な地形ができあがった。大阪平野のほぼ中央の大阪城が位置する上町台地も、この地殻変動により上昇した部分で、地下深くに隠れた山地である。断層や褶曲も地殻上層部に生じたひずみの蓄積と解放過程の具体的な現れであり、基盤構造から地殻上層部の造構応力場を知ることができる。図3のような変形を生じさせている造構応力は、多くの研究結果により東西方向の水平圧縮応力であることが明らかになっている。これらの断層はよく言われる活断層であろうか。活断層というと今にも動き出しそうに思われるが、そうではなく、きわめて最近まで運動してきた断層であり、今後も活動の可能性がある断層というばくぜんとした意味であったが、最近〝現在の地殻応力場で活動しうる断層〟という考え方がされるようになり、この意味からすると図3の断層はすべて活断層である。

藤田(1977)は、以上述べた近畿地方の基盤の変動を、地殻の発達に関する大変興味深い学説であるプレートテクトニクスとの関係について、「西南日本からみたプレートテクトニクス」にまとめているので、興味ある方は一読されたい。

六甲山地には多種多様の断層があり、露頭観察や六甲山地を貫くトンネル掘削によりその構造が明らかにされてきている。その例は**図4**のようになり、(a)は基盤岩の上の被覆層にその影響を示し、被覆層内では多数の小さい副断層がみられ、丘陵地でそれらの例が多く観察されている。(b)は断層主要部が山麓崖錐下に潜在した状態を示し、破砕部が被覆層の上に低角度にかぶさっている。このような断層は地表調査だけでは明らかにできない場合がある。最近のように開発が丘陵から山地部へと広がっていくと、その境界部で予期しなかったような破砕した弱線に出くわすことが多い。このような地形については、航空写真や実測地形図および詳細な現地踏査を行えば、ある程度推定することは可能である。

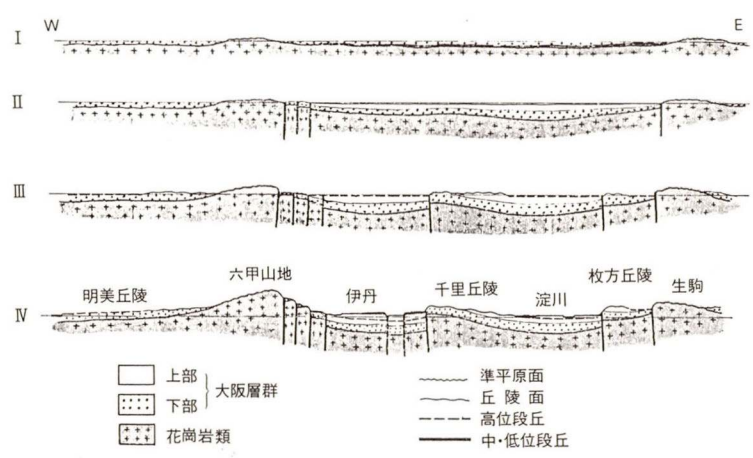


図2　六甲山地とその周辺の第四紀地質構造の発達

Ⅰ：更新世前期、基盤褶曲と大阪層群下部の形成
Ⅱ：更新世前期、NE-SW方向の断層運動と大阪層群上部の形成
Ⅲ：更新世中期、N-S方向の断層運動と高位段丘の形成
Ⅳ：更新世後期ー現世、断層地塊の傾動的急上昇

1)藤田和夫・笠間太郎(1971)：六甲山地とその周辺の地質　神戸市企画局
2)藤田和夫(1977)：西南日本の第四紀地殻変動とプレートテクトニクス　地団研専報20号

(にしがき よしひこ　基礎地盤コンサルタンツKK技術センター次長)

設備の頁

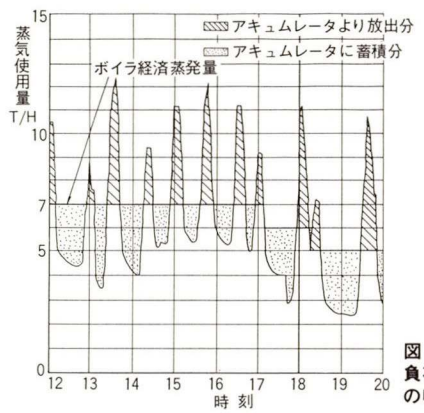
63 省エネルギーからみたスチームアキュムレータ

安形　明彦

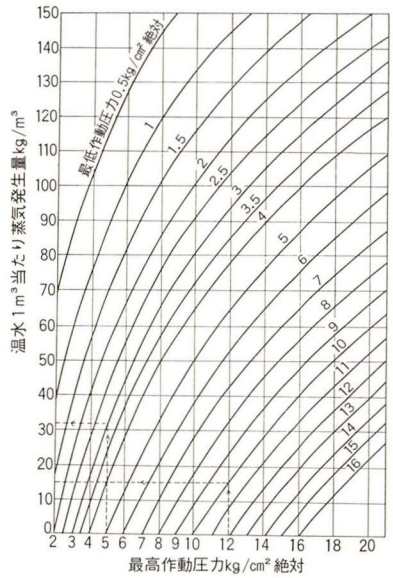
冷暖房、給湯、クリーニング、消毒、厨房等の熱源に蒸気を使用している病院、ホテル、学校、ビルなどにおいて、蒸気ボイラ設備にかかる負荷は、時間帯、昼夜によって大きな変動がある。この蒸気の負荷変動を吸収し、余剰蒸気を備蓄し、必要に応じてこれを放出し、全体として熱効率を高めて石油エネルギーの節約に努めようというのが、建築設備で利用されるスチームアキュムレータである。図－1にアキュムレータで負荷変動を吸収し、ボイラ負荷をコンスタントにした例を示す。

1．構造と原理

変圧式アキュムレータは蓄熱器であり、蓄熱媒体として飽和熱水を利用している。図－2にスチームアキュムレータの一般的な構造図を示す。



図－1 負荷変動の吸収



図－3 蒸気アキュムレータの蒸気発生量

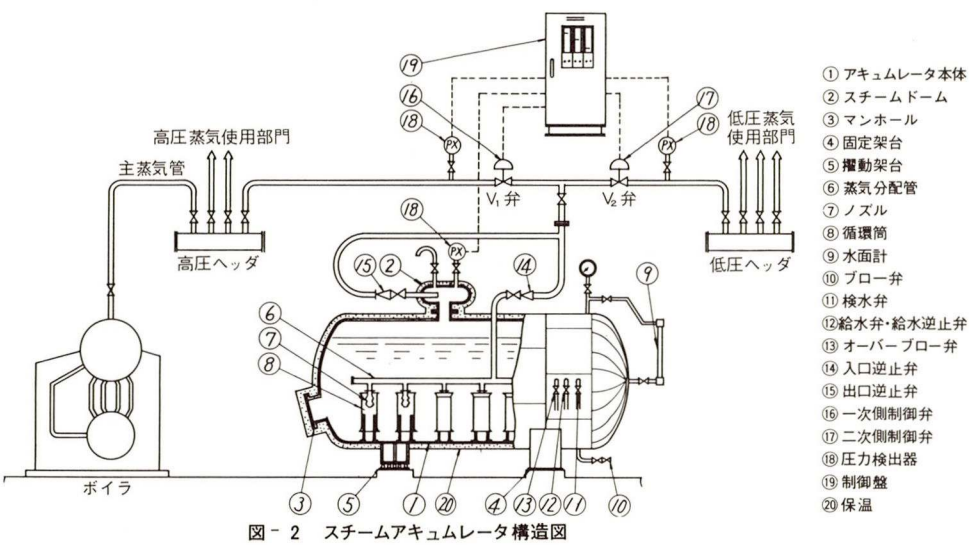
スチームアキュムレータは、蓄熱槽となる第一種圧力容器の本体と、蒸気の流入、流出を自在にする自動制御弁系とから成っている。本体内部には蒸気分配管、蒸気と水とを急速に混合させるための蒸気吹込ノズル、循環筒を備えている。圧力容器内の水に余剰蒸気を吹き込んでいくと容器内の水温は次第に上昇し、それにつれて容器内の圧力も上昇する。この飽和熱水を減圧すれば熱水は自己蒸発し、自ら圧力を下げつつ蒸気を発生する。本体は、放散熱量を最低（70～80 Kcal/m²h）にするように十分な厚さの保温を施行する。

自動制御弁系は通常、高圧側蒸気流入弁（V_1弁）と、低圧側蒸気流出弁（V_2弁）の２台で一対となっており、アキュムレータの機能を左右する重要な部分で、弁サイジングは慎重に行わなくてはならない。アキュムレータの場合、自動弁は流量、差圧ともに変化するので大きなレンジャビリティを要求され、空気式、電気式あるいは精密減圧弁等が使用される。

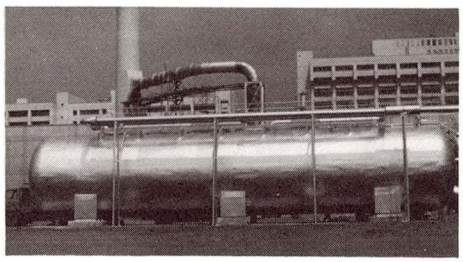
変圧にともなう缶内熱水1m³当たりの発生蒸気量線図を図－3に示す。

2．A大学附属病院の実施例

この大学病院は650床のベッドを持つ比較的新しい病院で、動力設備も確かなものであった。熱発生用ボイラも10T/H×３基と余裕があった。日



図－2　スチームアキュムレータ構造図



写真－1

中は蒸気使用量も多く、ボイラは２基稼動しているのであるが、夜間は病棟の空調用、医師職員の入浴用、緊急手術用オートクレーブ用の蒸気のみに負荷が下がってしまい、ボイラ効率も悪く省エネルギーの観点から夜間（21.00～7.00）10時間分の蒸気をアキュムレータで賄うことにした。

設置されたアキュムレータは、保有水量140m³、変圧範囲９～２kg/cm²Gのものであった（写真－1）。夜間の蒸気使用量は500kg/H～1300kg/Hと予想され、最大蓄積蒸気量は11,000kgとした。設置前は低負荷時のボイラ安定運転が困難であったのが解消された上に、つぎのような効果があった。

a）夜間はボイラを停止したが、蒸気の供給が安定し、蒸気使用部門での心配がなくなった。

b）日中も含めボイラ効率が上がって、重油の節約となった。

c）ボイラの運転時間が短くなり、排煙脱硫装置のランニングコストが大幅に減少した。

d）ボイラ技士の夜間勤務が解消した。

e）朝のボイラ起動時刻も遅くなり、朝の厨房の蒸気もアキュムレータで賄った。

3．設置による効果

アキュムレータ設置によりボイラは、高効率点で一定負荷運転が可能になり、また一定時間ボイラを運転しないでも蒸気を供給することができる。この特性によって、つぎのような効果が生まれる。

a）ボイラの効率上昇で、燃料費が節減される。（5～10%）

b）夜間、休日のボイラ運転体止が可能となり、ボイラを含めた熱源プラントの無人運転が可能となる。

c）昼、夜を問わず緊急時の蒸気が確保できる。

d）ボイラの安定運転、燃焼状態の向上で、黒煙、NOx，SOxの発生が抑えられる。

e）急激な負荷変動を吸収でき、ボイラに無理な負荷が加わらずボイラの故障防止、寿命延長となる。

f）光化学スモッグ警報発令時も蒸気が使用できる。

4．性能、範囲

本体の設計圧力は、ボイラの最高使用圧力と合わせるのが良く、通常10kg/cm²Gである。ゴミ焼却炉の排ガスボイラと組み合わせて、地域暖房やビニールハウスの温調用に使われる場合は16～20 kg/cm²G 型のものも作られる 。

容量としては、輸送の面から制約を受け、現状では、150m³というのが最大である。これ以上の大きさになった場合は２缶とか３缶に分けられ、国内の建築設備での最大容量は105m³×２基となっている。

（あがた あきひこ　進栄株式会社技術部長）

施工材料の頁

62 静かな破砕剤

一家　惟俊

1．まえがき

近年、建設工事に伴う岩石やコンクリートの破砕に際し、環境保全の立場からダイナマイトを初めとする火薬類や破砕機械などの使用が困難な現場が多くなってきており、破砕関係者の間では安全性が高く無公害な破砕剤の要望が強まっている。このような現況に鑑み開発された破砕剤が「ブライスター」であり、「ブライスター」は火薬類や危険物に属さず、無騒音、無振動で飛石、粉塵、ガスなどを発生しない無公害で安全な破砕剤である。

2．「ブライスター」の成分および特性

「ブライスター」の成分は、特殊な珪酸塩を主体とする無機化合物と特殊な有機化合物であり、灰白状の粉末である。「ブライスター」の特性はつぎの通りであり、在来の破砕法に比べ優れた特性を有している。

① 有害成分は一切含んでおらず、危険物ではないので、安全な破砕作業ができる。使用に際しては、火薬類のような法規制を一切受けず、保管・取り扱いも簡単であり、施工に際しては取り扱い責任者も不要で、誰でも安全に、かつ簡単に破砕作業ができる。

② 膨張圧を利用した破砕剤であるから、静かな破砕ができる。従来から使用されている火薬類または機械力による破砕に比べ、振動・飛石・粉塵・ガスを発生せず、無公害で安全に岩石やコンクリートの破砕ができる。また、膨張圧は長時間持続するので時間の経過とともに亀裂幅が増大し、被破砕物の取り除きが容易となる。

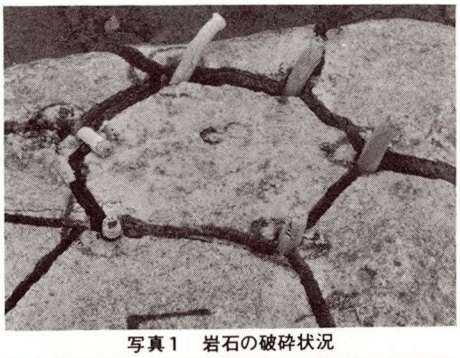


写真1　岩石の破砕状況

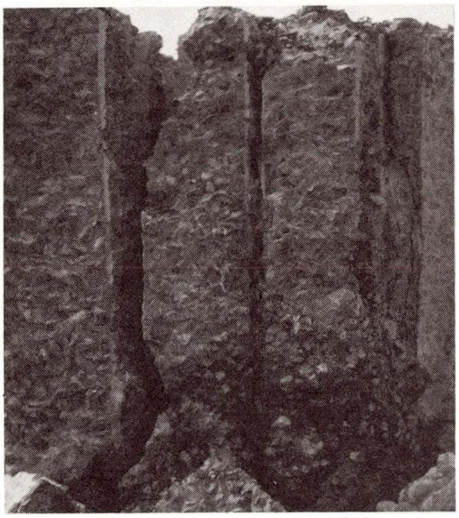


写真2　コンクリートの破砕状況

③ 岩石やコンクリートに「ブライスター」を充填するだけで、充填口に蓋をするなど繁雑な処置を必要としない。膨張圧を生じる代表的な鉱物として知られる生石灰を破砕剤として使用する場合は、孔口に強固な蓋を設けないと孔口から生石灰が噴出して膨張圧が有効に破砕力として作用せず、またコンクリート破砕器を使用する場合にも、孔口に砂やセメントモルタルによるタンピングを必要とする。しかしながら「ブライスター」の場合は、充填後短時間で強度を発現し、その後大きな膨張圧が作用するため孔口に蓋をしなくても膨張圧のロスが少なく、膨張圧が有効に破砕力として作用する。

④ 常温下では、充填後24時間で3,000t/m² 以上の大きな膨張圧を発現する。一般に岩石の引張強度は400～700t/m²、コンクリートの引張強度は150～300t/m²であるから、「ブライスター」の膨張圧でいかなる岩石、コンクリートでも破砕することが可能である。

3．他の破砕工法との比較

破砕力、破砕時の状況、安全性、経済性などについて「ブライスター」による破砕工法を他の破砕工法と比較すると**表1**の通りとなり、「ブライスター」による破砕工法の利点は大きい。

表1　「ブライスター」による破砕工法と他の破砕工法との比較表

種類／項目	破砕力	破砕時の状況				安全性	防護設備の簡略化	経済性
		騒音	振動	粉塵・ガス	飛石			
ダイナマイト	◎	×	×	×	×	×	×	◎
コンクリート破砕器	○	△	△	×	△	△	×	×
油圧ブレーカー	△	△	○	○	◎	○	◎	△
割岩機	×	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×
ブライスター	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○

注）◎優れている　○良い　△やや劣る　×劣る

4．使用方法

① 練り混ぜ方法

混合容器（金属製またはポリ製バケツなど）に予め約1.5ℓの水を入れ、これに1袋(5kg)の「ブライスター」を徐々に入れて、ハンドミキサーまたは手練りによって2～3分間流動性が出るまで十分に練り混ぜる。

② 充填方法

練り混ぜた「ブライスター」を15分間以内に速やかに被破砕体に削孔した孔に流し込み、孔口まで充填する。

5．使用量および破砕時間

「ブライスター」の使用量は、岩質・現場状況・工期等によって若干異なるが、1㎥の岩石またはコンクリートを破砕するための標準使用量は5～10kgである。「ブライスター」を充填して亀裂が発生するまでの時間は、気温によって異なるが、気温20℃程度では大体10～20時間であり、時間の経過とともに亀裂幅が増大し、48時間後には亀裂幅は10～30㎜に達する。

6．荷姿および価格

「ブライスター」の荷姿は、20kg入防水ダンボール箱（5kg入防湿小袋4袋詰め）であり、積算価格は、17,000円／箱である。（沖縄・北海道は、18,000円／箱）

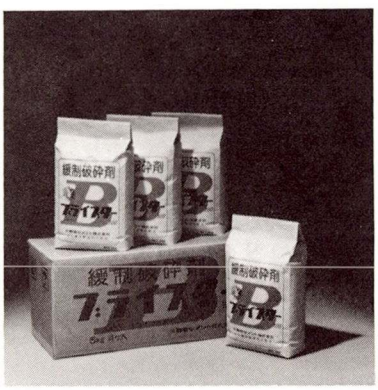


写真3

7．あとがき

現時点において爆発を伴わない破砕は、機械的な破砕以外になく、機械的な破砕においてさえも騒音・振動などの公害が生じており、公害を発生しない破砕工法の出現は破砕関係者の永年の夢であった。上述した通り「ブライスター」は、この夢を実現したものであり、振動・飛石・粉塵・ガスなどの発生がない、安全で誰でもどこでも自由に使える無公害破砕剤であり、今後「ブライスター」の使用が一般化すれば、破砕現場における事故および破砕に伴う公害問題も減少し、種々の破砕作業がトラブルなく円滑に遂行できるものと確信する。

（ひとつや　これとし　小野田セメントKK開発部参事）

静かな
破砕に！

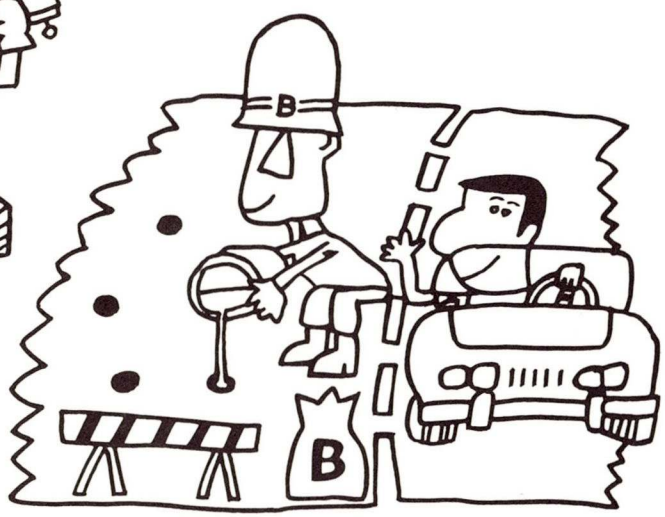
ブライスター

静か



安全

ブライスターの破砕工事には、火薬類を使用しませんから、まったく安全。振動の恐れも飛石などの危険もなく、常に安全な破砕工事ができます。



ブライスターは時間の経過と共に3000 t/㎡以上の膨張圧を生じて岩石や鉄筋コンクリートに亀裂を入れ破砕するため、騒音や振動を発生しません。このため静かに破砕工事ができます。

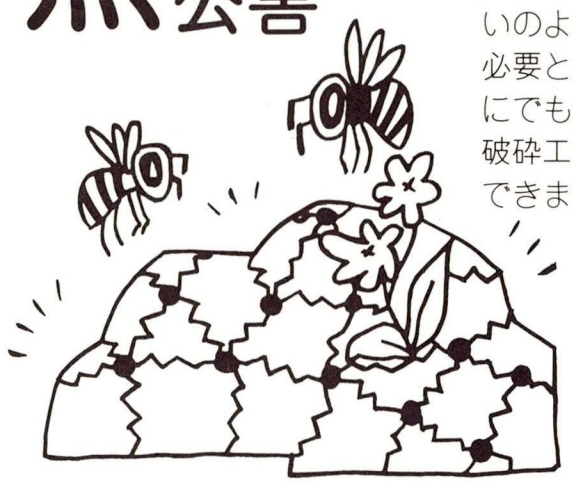
ブライスター

無騒音、無振動で飛石、粉塵、ガス等を発生しない無公害で火薬類に属さない安全で静かな破砕剤です。

ブライスターを水で練りまぜ、岩石又は鉄筋コンクリートに、一定の孔をあけ、ブライスターを充填するだけで亀裂を発生させる誰にでも、何処でも自由に使うことができる破砕剤です。

無公害

ブライスターを充填したあとは静かな破砕が進み、公害は発生しません。しかも火薬類の取扱いのように特殊技術を必要としませんから誰にでも何処でも容易に破砕工事を行うことができます。



小野田セメント株式会社
〒135 東京都江東区豊洲1-1-7 TEL 03（531）4111 (代)
中国爆砕工事株式会社
〒718 岡山県新見市新見312 TEL 08677（2）1126 (代)

4

日影図演習シリーズ

伊藤克三・佐藤隆二

日影図・日影時間図の描き方とそのチェック方法・その4

等時間日影線の描き方

今回は日影時間図作成の最終段階である等時間日影線の描き方について述べることにする。

演習3で求めた格子線上で1，2，…，8時間日影となる地点を求めて、これらの点を結べば、各等時間日影線が簡単に描けるが、この等時間日影線には性質の異なる2種の誤差が含まれている。一つは演習3で求めた地点そのものに含まれる誤差であり、もう一つは、それらの地点を結んで等時間日影線を描く際に生じる誤差である。これらの誤差を完全に除去して、完璧な等時間日影線すなわち日影時間図を描くことは不可能であるが、それらの誤差の原因並びに等時間日影線のもつべき性質を知ることにより、部分的にではあるが、それらの誤差をできる限り少なくすることが可能であるので、ここでは、その実務的な要領を実例について述べることにする。

演習4．等時間日影線の描き方

〔問〕 演習3で求めた、各格子線上の1，2，…，8時間日影となる地点をもとに、1，2，…，8時間の各等時間日影線を描き、日影時間図を作成せよ。

解説と解答例

演習3で得た地点のうち、同一の日影時間となる地点を順次直線で結べば、**図1**のような日影時間図が得られる。演習3で得た各地点そのものは、コンピューターによるものと同程度、あるいはそれ以上の精度を持っているので、格子点の選び方が同じであれば、この図の精度もコンピューターによる日影時間図と同程度かそれ以上である。したがって、この図1をそのまま確認申請図書として利用することも可能である。

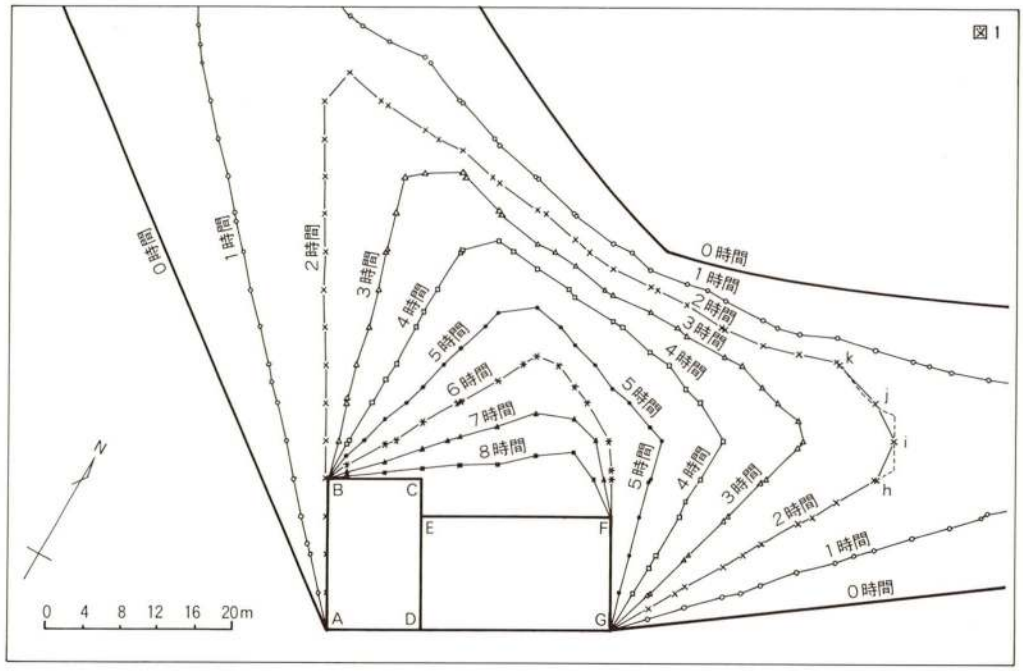
しかし、この図の等時間日影線には、先に述べたような誤差が含まれているので、以下、その誤差の内容とその誤差をできるだけ少なくして、より精度の高い日影時間図を作成するための方法を述べることにする。

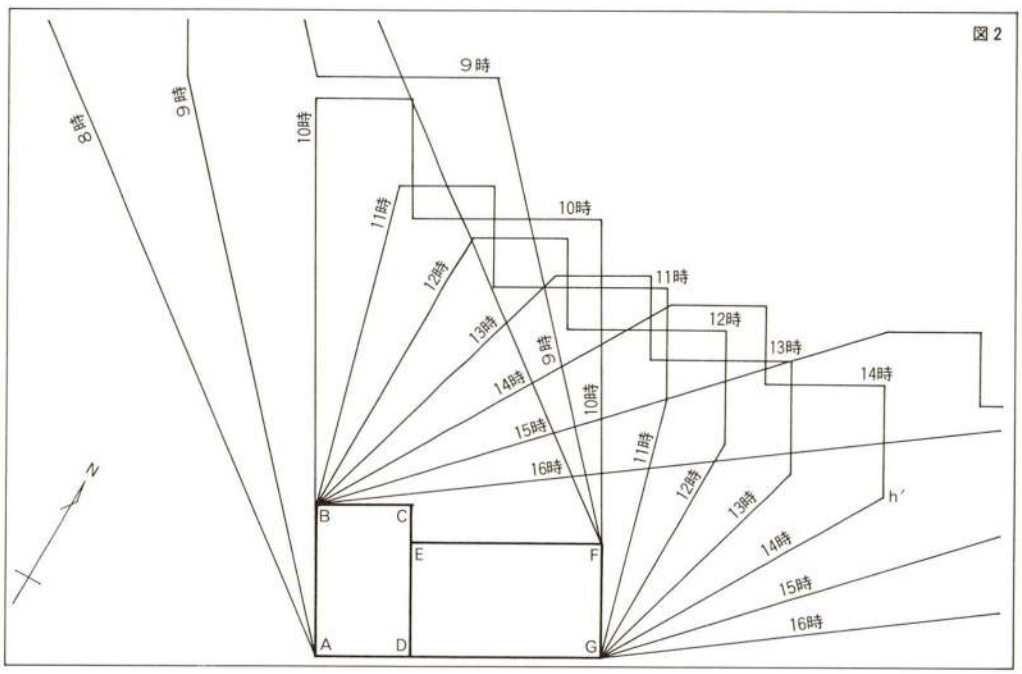
まず、演習3で得た地点そのものに含まれる誤差について述べる。たとえば、図1のG点からh点に至る2時間日影線は、後に述べるように一直線となるべきであるが、正確に一直線とはなっていない。この誤差が図1の各地点に含まれる誤差で、演習2の各格子点で求めた日影時間の誤差とそれに基づいて各格子線上で描いた演習3の日影時間の断面図の作図誤差とに起因するものである。したがって、ここで紹介した方法による場合、図1の各点がこの程度の誤差を含んでいることになる。しかし、演習を実行してきた縮尺1/400の図面上でのこの誤差は最大1㎜（実寸で40㎝）程度であるので、作図線の太さ等を考慮すれば、実用上問題となるものではないが、等時間日影線の性質を知れば、演習1で作成した各時刻の日影図(**図2**）を利用して、部分的にではあるが、この誤差を除去することができる。すなわち、建物のA，B，F，Gの各点に集結する等時間日影線の一部が、各時刻の日影図の輪郭に一致することを利用すればよいのである。

2時間日影線を例にとれば、図2の14時の日影図の線分$\overline{Gh'}$上の各点は、すべて14時から日影となり、16時までの2時間日影となる地点である。したがって、この線分$\overline{Gh'}$が2時間日影線の一部であり、図1のG～hの各点は、本来この線分上に位置するものであることがわかる。このことを利用して、各等時間日影線の一部を描くと、**図3**のようになる。（8時間日影線は、このような直線のみで描ける）この方法を拡張して日影図の交点のみから直接等時間日影線を描くことが、一般的に可能であるかのように従来書かれているものが少なくないが、これは先にも述べたように、建築物が少しでも複雑な場合には誤った結果を導くものである。この方法の利用は、本例のような場合には、図3に示す直線部分に限定することが望ましい。建物の形態が複雑なほど、この直線が等時間日影線の一部となる範囲は狭く、しかも、その範囲を前もって知ることは一般には困難である。

つぎに、演習3で求めた地点を直線で結ぶことによって生じる等時間日影線の誤差について述べる。図1の各点を結ぶ折線の等時間日影線は、先に述べた建物に集結する部分を除けば、曲線となるのが普通である（建築物が単純な形のときにはそれ以外にも直線となる部分はある）が、その曲線を容易に知ることができないため、便宜上直線で代用しているにすぎないのである。たとえば、図1のh，i，j，kの各点を結ぶ折線の2時間日影線は、本来図示の破線でなければならない。この両者の差異が折線で描く等時間日影線の誤差である。この誤差は、結ぶべき地点間の正しい等時間日影線が直線的でなく、大きく彎曲あるいは屈曲している場合に大きくなる性質を持っている。等時間日影線が最も著しく彎曲あるいは屈曲するのは、図3に示した等時間日影線が直線となる部分の先端付近であるので、その部分における誤差を小さくすれば、日影時間図全体の精度はそれに応じて高くなる。

この誤差を小さくするには、結ぶべき地点の間隔を小さくすればよく，2時間日影線を例にとれば、大きな誤差を生じる部分すなわちG点からの直線に載る最遠の点hとつぎの点iとの間さらに点iと点jとの間にちょうど2時間日影となる地点を数点見付け出せばよいのである。すなわち、線分$\overline{h\ i}$あるいは線分$\overline{i\ j}$の近傍に任意の検討点を設定し、演習2の方法によりその検討点での日影時間がちょうど2時間となる点を試行錯誤により求めればよいのである。建物周辺に設定する格子線の間隔を小さくすることによっても同一日影時間となる地点の数を増やし、誤差の少ない等時間日影線を得ることができるが、その場合には、この誤差の減少に直接役立たない多数の格子点での日影時間の検討を要するので効率の良い方法とは言い難い。





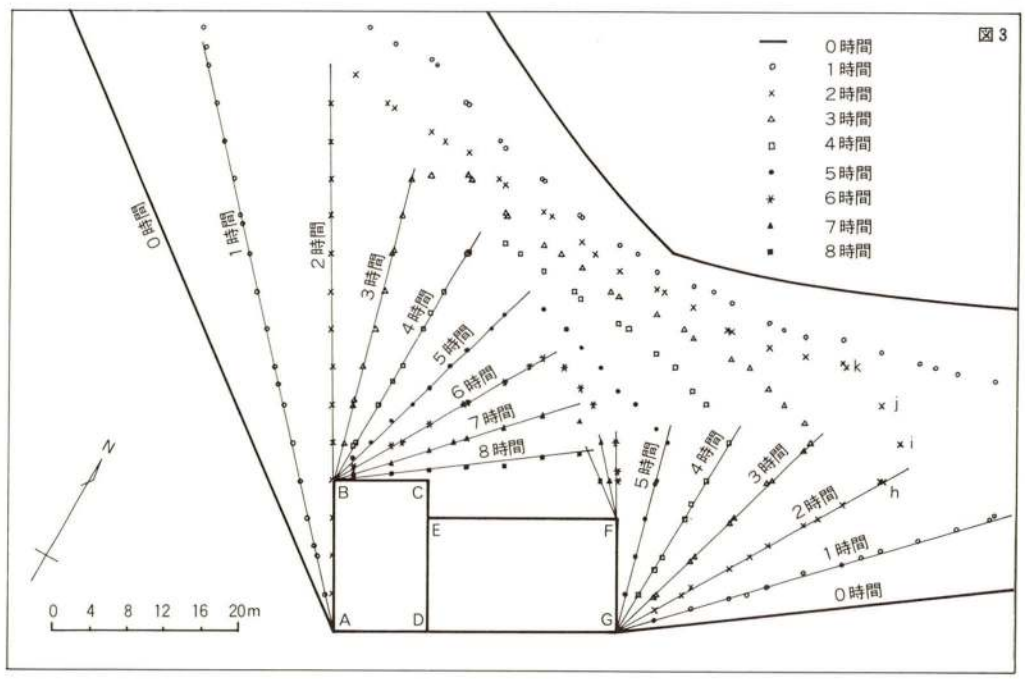


図1　日影時間図の例
図2　各時刻の日影図（演習1・解答）
図3　等時間日影線の一部分（直線となる部分）

なお、先に述べた部分以外においても、結ぶべき地点相互の距離が大きい場合には、実用上問題になる誤差を生じることもあるので、上に述べた方法により、その中間に等時間日影線上にあるべき地点を求めることが望ましいこともある。

以上のようにして、大きな誤差を生じる可能性の高い部分のみに焦点を絞って検討を加えれば、実用上十分な精度をもつ日影時間図を手作業で作成することは難しいことではない。

このようにして描いた日影時間図すなわち本演習の解答例が**図4**である。なお、この図は読者諸氏の演習の成果を直接検討できるように、縮尺1/400で描いたものである。

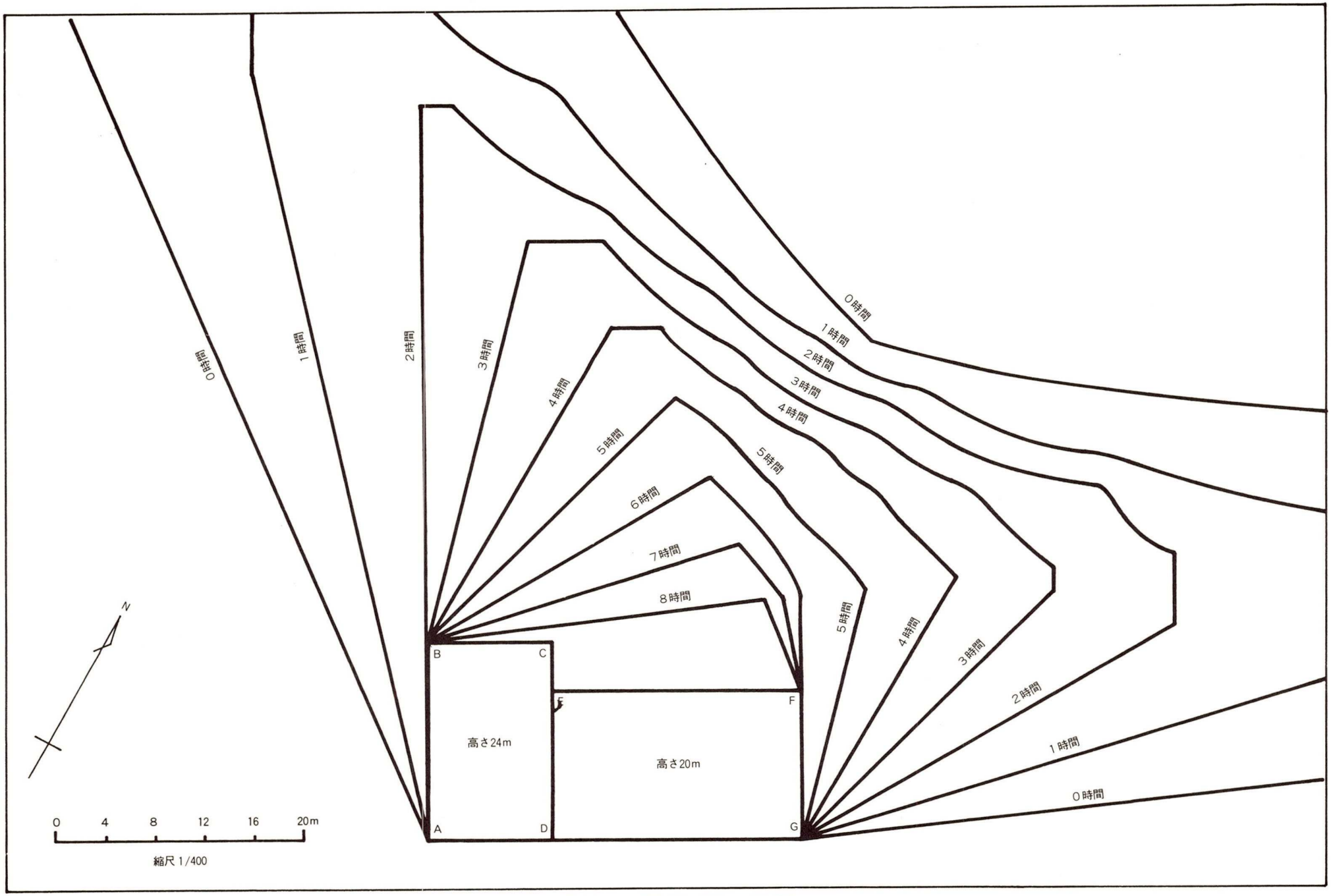


図4　対象建築物の日影時間図（演習4・解答例）

昭和54年度・第２回若い会員の集い

都市住宅を考える(3)

コーポラティブハウスの問題点と展望

……中筋　修氏に聞く……

レポート

住宅が量から質の時代へ入ったと言われてから久しいのですが、依然として量的な面ばかりに目が向けられたままになっているなんて、一体どうなっているんだろう。総住宅戸数が世帯数を上まわっているそうだから、数字の上では空家が増えた分だけ自由に家が選べるはずなんだけれど、実際にはそんな感じは全然せず、依然として私達に必要な住宅は身近にはないようです。

そんな折、コーポラティブ方式で住宅を建てている都住創のプロジェクト見学へ出かけました。トジュウソウとは、その名の通り都市に住宅を創る(造る)という意味です。都住創の目標は３つあります。①都市に住もう、②共同建設をしよう、③住宅の質を高めよう、がそれであり、この目標を目ざして居住者達はお互いに協力しあって、建物完成までこぎつけていくのですが、これがどれほど大変な作業であるかということは言うまでもないでしょう。協力しあうといっても、お互いの生活にかかわることですから、利害対立が出てくることも当然あるでしょう。しかし折り合いをつけないと完成しないことも確かなのですから、このあたりの解決方法が大きな問題でしょうか。言ってみれば個と全体の問題に否応なく居住者が立ち会わされているのですから、コーポラティブハウスはまさに住宅の質に面と向かい会っているようです。実際、松屋町に建設された《第１号　都住創松屋町住宅》を見学していると、居住者の個性が室内の随所にあらわれていて楽しいものでした。居住者の要求がみなちがうので、住戸プランもそれぞれ異なっています。建物の外観からはちょっと想像もできません。公営住宅へ十数回申し込んでやっと入居できたわが身のことを思うとうらやましくもありました。

見学後、府立労働センターで、中筋、近野両氏の講演が行われました。中筋氏はスライドをうつしながら、都住創設立の過程と住宅完成までの苦心をユーモアを混じえながら話され、参加者も身をのりだして聞いていたようでした。現在では住戸の区画規模も住戸プランも自由に出来るところまで来ているとのことでした。

コーポラティブハウスの今後の課題として、組合住宅を法人化する方向にもっていき、そして住み替えが自由になっていくようにするのが一番よいのではないかと話されました。大阪市内で生まれたトジュウソウは今徐々に増えつつあるようです。

レポータ・三宅　良一（㈱企画設計社）

都市住宅を考える－問題点と展望

藤原　吉昭

今日の都市住宅の集中化は消費者の職住接近を根底とし、かつ交通、教育、病院、文化、等の環境を身近に望んでいることが、都市への集中化に拍車をかけていると思う。さらに建築基準法の規制等によって、郊外での共同住宅は投資金に対して土地効率が低く、土地効率の高い都市へと、経済性をベースとした原因で集中化しているのも、一つの現象である。

これらの流れを止めることは容易でない。かりにこの流れに乗って都市住居をもとめようとした場合、われわれは家をただ単に寝る器のみで満足するだろうか、人々は人生に哲学をもって生活をしているはずである。これらの哲学は人それぞれ異なっており、各人がいくらかでもそれに近づくよう個々に努力しているのが現状である。これらのことを考えてみたとき、都住創グループの行動は、われわれ建築を志す、仲間として敬意を表したい。

現在行われている都市住宅（共同住宅）の建設はデベロッパーと言われる業者が規格品を、人が人として生活するにはほど遠く、デベロッパー自体の経済ベースを基にした建物を量産しているのが現状ではなかろうか。すなわち、そこには真に消費者側にたった建築を行っているとは断言できない。そういう筆者もその一端を担う者として良心の痛む次第である。

さて、都住創グループの行動についてであるが、実際のところ、これらに参加する建築家は自己犠牲的な行動をとっているのではないだろうか。われわれ第三者から見た場合であるが、土地さがし、設計、工事管理等の完成までの一連の行動は奉仕的精神および行動により完成に近づけているように思われてならない、筆者の思いちがいであればよいのであるが。これらの奉仕的精神が働いていることは、これからの都住創の発展に無理がしようじるのではないだろうか。しかし現実のところ、一般デベロッパーの行った建物と、都住創の行った建物には、はっきりと、経済性、入居者の喜びの空間、手作りの色、味、香りが消費者側にたって考えられていることはまちがいない。これから先の都住創の発展について前記に述べたように、無理のない、あたりまえの状態の上において正しく発展し、かつ組合員のみの立場だけではなく、その場所にとけこんで、先住者との問題・環境等を考えていってこそ都住創の目的である古里づくりの一端を担い、おらが町のすみよい都市づくりに発展するのではないだろうか。

（日本建設株式会社）

都市でどう住むか

光岡　正道

住宅を求め、多くの人が郊外へとスプロール化を続ける中で、都心の人口空洞化が今日大きく取り沙汰されており、都市の経済、文化的な危機感まで波紋を広げつつある。今回、都心での居住を積極的に試みようとする中筋氏を中心とした「コーポラティブハウス」運動があることを知り、興味深く見学会に参加した。“都心に住みたいと思っている人は多いが、都心で気に入った家を買おうと思えば、目が飛び出るほど高い。手頃な値の家は遠かったり、狭かったり、つまり値段に住まいを合わせると狭小過密、居住スペースに合わすと長距離通勤、そんな現実を何とかできないものか”がこの運動の出発点であり、その原則は「都心に住むこと」と「一戸建、平家建ではダメだ」にあると。

すなわち「都市に住む」は高密度居住を前提としなければ成り立たない。そして今日の零細な土地所有と土地の高地価を考えるなら「人の家の屋根に人が住む」という居住様式のあり方を追求していくことが必要なのだと中筋氏は強調する。確かに過去、現在にわたり、公共住宅、マンションを中心として「高密度住宅」は供給されてきた。しかし高い割には狭い、環境が悪い、近隣関係が煩わしい、先行きが不安であるなど、問題も多く、そのことが一面において一戸建住宅への需要を引き起こしていることを考えるなら、氏の意図も、より鮮明となろう。

現在、４棟目が建設中であり、一定の成果、見通しを整理する時期に来ている。コーポラティブの魅力はなんといっても、「安い」・「フリープラン」・「コミュニティ形成」にある。一般のマンションより20～30%も安くでき、入居者も限られた層だけでなく、棟を追うごとにその平均所得は下がりつつあり、一般庶民にも手の届く価格であるという。またプランは各自自由に持ち寄り、全体として煮つめていく。そしてどの階、どの場所をとるかは、若い世帯にはより安く、広いスペースを、老夫婦にはより日当たりの良い場所を等、各層の要求に対してきめ細かな配慮がなされ、なごやかな雰囲気の中で決められていると聞き、驚いた。



そして最も重要なことは、住宅取得を通して、住民相互が理解を深め、コミュニティを醸成していくプロセスであろう。従来からマンション等で問題となっている、ピアノ騒音等の近隣問題もここでは、話し合い納得、生活ルールの確立を通して解決されており、そのことによってなお一層、信頼関係を深め合うという今後の都市居住を考えるにあたってきわめて示唆的な状況が生まれている。

しかし、いくつかの不安は残る。ひとつは、複雑な権利関係を前提としているため、今後、メインテナンス、住み替えの見通しがたつのかということ。そして、今日の住宅事情全般を改善できうる有効な手段となりえるかということである。中筋氏の説明によると、本来都市の住居は、場所・所得・家族構造・好みに応じて比較的簡単に移り住めることが望ましく、そのためには、住宅の計画的、公的な供給が、基本でありこのコーポラティブの考え方もその線上にあるという。具体的には、現在の区分所有という形態をとらず、組合を法人化して一括所有し、各入居者はその使用権をもち、住み替える時点で組合に売却するというシステムも考えられる。そして現在の「フリープラン」も、ただ闇雲に、自由なプランニングを寄せ合わせ一つの住居群をつくるという意味だけではなく、その「自由さ」を徹底し、ぶつけあうことによって、生活空間の共通認証を発見、整理し、互換性をめざす一プロセスだという。

一方、限りない地価の高値・高騰・限りない？持家一戸建住宅への魅力が存在する現在、中筋氏のいう都市住宅の創造は容易ではない。とくに最近話題となっているミニ開発住宅は、住宅需要における立地場所、住戸規模、価格という三大基本要素を需要者の取得能力限界ぎりぎりのところで相対的に均衡されており、きわめて高い市場性を持っている。つまり、良いにしろ悪いにしろ、これも「都市住宅」のひとつの解なのかもしれない。今後これらの悪しき？魅力と誘惑に対してコーポラティブハウスがいかに挑み、「都市でどうすむか」のテーマにいかに答えるかを注目していきたい。

（大阪市建築局）

日　時	昭和54年６月23日(土)　集合13:30→解散17:00
講　師	中筋　修氏（安原中筋建築研究所）
ゲスト	近野正男氏（大阪府建築部 建築指導課）
参加者	30名
プログラム	13:30→14:10　「都住創」第１号松屋町住宅見学
	14:10→14:40　徒歩にて第３,４号棟の外部見学
	14:40→16:20　講演とスライド（於：大阪府立労働センター）
	16:20→17:00　質疑応答・解散

日本建築協会

月間の動き

昭和54年8月分

理事会

22日　4時～5時　於会館集会室
出席者　塚本会長、佐野・足立両副会長ほか13名
議事　(1)　第25回工高生デザインコンクール実施の件
(2)　建築計画と新耐震設計法についての研修会開催の件
(3)　第35回建築工事実務講習会開催の件
(4)　大阪市街地再開発促進協議会理事推せんの件
(5)　友誼団体事業を協賛並びに後援の件
(6)　設監業務調査会解散の件
(7)　入退会者承認の件
(8)　報告事項

会勢委員会

22日　3時～4時　於会館集会室
出席者　市川委員長ほか6名
議事　会勢委員会の活動方針、その他

出版委員会

小委員会打合
1日　4時～5時半　於会館3階会議室
出席者　小林委員長、学芸出版社
議事　(1)　建築技術選書愛読者カード集計について
(2)　9月刊行の2選書の件
(3)　新企画の件

事業委員会

若い会員の集い「ディスカバー大阪」企画分科会
8日　6時半～9時半　於会館3階会議室
出席者　石古主査ほか3名
議事　(1)　大阪府西大阪治水事務所との打合せ報告
(2)　テーマ及び企画内容について
(3)　会告原稿について
(4)　その他

若い会員の集い第5回企画分科会
21日　6時半～10時　於会館3階会議室
出席者　湯山主査ほか1名
議事　(1)　会告原稿作成検討ならびに写真その他の選定
(2)　その他

建築計画と新耐震設計法研修会分科会・講師打合会
24日　6時～9時　於会館集会室
出席者　ゲスト　青柳　司氏(日建設計)、能勢次郎氏(能勢建築設計事務所)、久徳敏治氏(竹中工務店)、横山誠一氏（安井建築設計事務所)、脇山広三氏(大阪大学)、西村副委員長ほか3名
議事　(1)　「建築計画と新耐震設計法についての研修会」開催について
(2)　その他

編集委員会

投稿欄小委員会
9日　4時～6時20分　於会館集会室
出席者　木村副委員長ほか3名
議事　(1)　6、7月号の報告
(2)　8月号の報告
(3)　9月号以降の取材状況
(4)　読者・ニュース欄をより有意義にするために
(5)　その他

委員会
10日　4時～5時半　於会館集会室
出席者　渡辺、木村各副委員長ほか3名
議事　(1)　8月号＝建物の終局強度の検討特集経過報告
(2)　9月号＝庄内のまちづくり特集経過報告
(3)　10月号＝建設業の労務事情と省力化(仮称)特集経過報告
(4)　特別企画・インテリア特集号経過報告
(5)　11月号＝第26回青年技術者特集報告
(6)　12月号＝今後の省エネルギの趨勢(仮称)特集企画
(7)　1月号＝80年代のまちづくり―歴史に学ぶ―（仮称）特集企画
(8)　2月号、3月号以降の企画
(9)　小委員会報告(投稿欄、作品作風、広告企画)
(10)　収支状況
(11)　その他

1月号特集第1回勉強会
10日　6時～8時半　於会館集会室
出席者　富樫幹事、斎藤和夫氏(大阪市大)、寺内信氏(大阪工大）ほか3名
議事　1月号特集のための玉置豊次郎氏についての勉強会

「建設業の労務事情」座談会
18日　9時50分～11時40分　於会館集会室
出席者　広瀬晴之(竹中工務店)、大石 巌(鴻池組)、米沢多計志(松村組)、仲川英利(大林組)、杉浦宏(大成建設)、井上幸男(奥村組)の各氏、高木幹事
議事　10月号特集のための座談会

広告企画小委員会
20日　4時半～5時半　於会館集会室
出席者　渡辺副委員長ほか5名
議事　(1)　8月号特集関連広告収入報告
(2)　10月号「インテリア」特集(9月号順延)広告経過報告
10月号「建設業の労務事情と省力化」(仮称)広告企画
(3)　11月号「日本住宅公団関西支社53年度表彰作品」特集広告企画
(4)　12月号「今後の省エネルギの趨勢」特集広告企画
(5)　作品作風関係報告

作品作風小委員会
22日　4時～6時20分　於会館3階会議室
出席者　寺井副委員長ほか5名
議事　(1)　8月分の作品報告
(2)　9月号以降の作品PR状況
(3)　選定作品中の掲載分一覧表
(4)　作品選定（前回未入分）

1月号特集第2回勉強会
25日　2時～5時　於大阪市大田中記念館
出席者　富樫幹事、斎藤和夫氏(大阪市大)、寺内信氏(大阪工大）ほか5名
議事　1月号特集のための中沢誠一郎氏についての勉強会

建材委員会

委員会
30日　4時～7時半　於会館集会室
出席者　山田、牧田、元木正副委員長ほか11名
三和化工㈱5名
議事　(1)　サンペルカの説明
(2)　今後のテーマ及び新建材の紹介
議事終了後、しばし歓談

教育委員会

建築工事実務講習会講師打合
31日　5時～7時半　於会館3階会議室
出席者　講師　金田宏氏(大林組)、羽生永紀氏(大成建設)、綿野文雄氏(竹中工務店)
佐々木副委員長ほか1名
議事　昭和54年度「建築工事実務講習会」(第35回)開催について

見学会

住友信託銀行千里事務センター・協栄生命保険㈱関西総局ビル新築工事の見学会
25日　1時40分～5時
参加者　24名
● 住友信託銀行千里事務センター
設計監理　㈱日建設計
施　工　鹿島建設㈱・フジタ工業㈱・㈱鴻池組・住友建設㈱共同企業体
当日説明者　日建設計設計監理部・広瀬二郎氏、企業体・内野所長ほか
● 協栄生命保険㈱関西総局ビル
設　計　鹿島建設㈱建築設計本部
施　工　鹿島建設㈱大阪支店
当日説明者　鹿島建設㈱作業所、仲建築主任

建築クラブ朝食会

14日　8時～9時半　於大阪グランドホテル
出席者　76名
当日は栗本建設工業㈱取締役相談役、村上勇氏より「趣味と健康」についてお話を伺った後、同氏制作の16㎜映画、文楽「桐竹紋十郎」を観賞した。

8月の入会者（敬称略）

〔個人会員10名〕

井上　宣延　　蒲田　弘　　白木　哲次
中道　正伸　　中山　孝人　　福本　早苗
北條　稔郎　　増田　仁　　松村耕四郎
三宗　司郎

訂正：9月号後付広告62ページ下段「月刊建築技術54年11月号」の「定価￥700」とあるのを「特価￥780」に訂正いたします。

地震考

総合天井システム〈Jライン工法〉〈ALTS工法〉

耐震・耐火そして軽量化を誇る総合天井システム〝Jライン工法〟〝ALTS工法〟は当社独自の照明灯ユニットおよびアルミ製Tバーを建物のモジュールに配列し、天井仕上げ材と一体化したシステム天井です。空調、照明、防災機器、スピーカーなどの設備ゾーンとの組み合せ、さらに間仕切、ブラインドBOXなどの取り付けも可能にした多機能を誇っております。（PAT. 6件）

奥村重兵衛株式会社

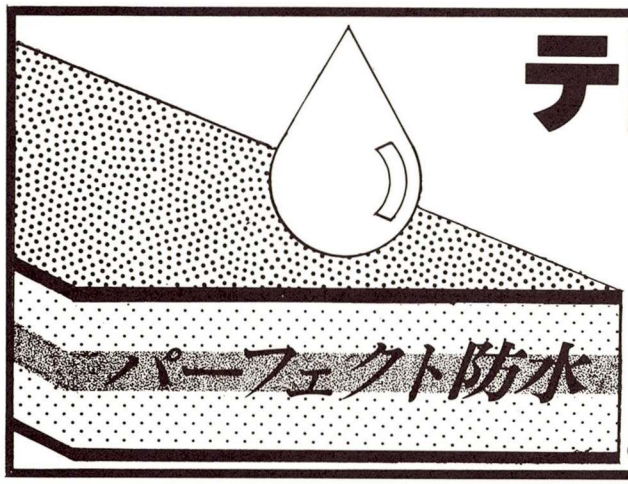
本　社　大阪市北区西天満５丁目３番７号　〒530 電話(06) 312－4131㈹
東　京　東京都港区新橋4丁目2番第29森ビル　〒105 電話(03) 437－3361㈹
福　岡　福岡市博多区住吉２丁目16番27号　〒812 電話(092)291－0459㈹
名古屋　名古屋市西区倹町２丁目１番６号　〒451 電話(052)522－5436㈹
仙　台　仙台市本町2丁目1番8号第1広瀬ビル　〒980 電話(0222)65－6568㈹
沖　縄　沖縄県那覇市壺川１１９番地　〒900 電話(0988)53－6850㈹

室谷

内装不燃材

室谷商事株式会社

本社　神戸市生田区北長狭通４－１　（英和ビル）
電話　神戸(331) 0881～3
支店　大阪市北区西天満2丁目6番8号(堂ビル5階)
電話　大阪(364) 2031～4
倉庫　神戸市葺合区八幡通１－５(電話221 2923)



テトカッパー防水層

防水専業の研究・経験から生れたすくない資源のパーフェクトな防水層です。
この防水層は（一層防水）施工するだけで、防水は完璧です。
温度変化に伸びがなく、柔軟性に富み、耐酸、耐薬品性に優れ、腐蝕しません。

カッパー防水帯　コーパータイト　新工法
オクロン防水帯　プレノテクト吹付工法

●お申込次第カタログ進呈

奥山化工業株式會社

本　社	東京都中央区銀座8－4－9	電話 03 （571） 2703
大阪事務所	大阪市淀川区東三国6－1－41	電話 06 (391) 1081－2
埼玉営業所	埼玉県桶川市東1－6－10	電話 0487(74)2845－6
厚木出張所	神奈川県厚木市金田字宮畑259	電話 0462 （21） 6092
名古屋出張所	名古屋市南区若草町33	電話 052 （811） 3660
九州出張所	佐賀県諸富町	電話 0952 （47） 2945

防火・防煙から避難装置まで
建築防災の総合メーカー

豊かな経験
最新の技術

東洋シヤッター

東洋シヤッター株式会社

本社：大阪市東区両替町1－12 日生ビル　☎（943)6571代表
東京・横浜・盛岡・郡山・水戸・浜松・岡崎・名古屋・富山・大津・京都・堺・神戸・広島・福岡他全国主要都市

空気調和・冷暖房設備
給排水・衛生設備 設計・施工

株式会社 朝日工業社

本　社　東京都港区浜松町1-25-7　電話（434)6171(大代)
大阪支社　大阪市淀川区加島1-58-59　電話（302)2271(代)
支　店　北海道・東北・名古屋・中国・九州
営業所　釧路・函館・盛岡・横浜・静岡・京都・神戸

空気調和設備
衛生設備 設計施工

三建設備工業株式會社

大阪支店　大阪市北区紅梅町3番5号　電話（352)1131（代）
本　社　東京都中央区日本橋蠣殻町2－22　電話（667)3431（大代）
支　社　名古屋・仙台・札幌・広島・福岡・金沢・新潟・横浜

空調・衛生
防災・汚水処理 設計施工

株式会社 大阪城口研究所

取締役社長　城口庸平

大阪市北区角田町2番15号 電話 大阪372局7151(代)
京都市東山区大和大路正面上ル 電話 京都561局4944(代)
神戸市生田区下山手通六ノ一 電話 神戸341局5892

空気調和・衛生設備 設計施工

株式会社 三晃空調

本　社　大阪市北区西天満3丁目13番20号　電話 06－344－1911
東京本店　東京都新宿区西新宿　新宿住友ビル　電話 03－344－1911
大阪本店　大阪市北区西天満3丁目13番20号　電話 06－363－1371
支　店　名古屋市中村区下笹島町11－2　電話052－581－8571
広島市紙屋町1丁目2番22号　電話0822－47－4535
福岡市中央区大名2丁目4番22号　電話092－761－3795
出張所　仙台・横浜・福井・京都・神戸・松江・高松・沖縄

電気・空調・衛生・防災・産業廃水設備
設計施工

大阪電気暖房株式会社

本　店　大阪市西区江戸堀1丁目10番17号 〒550 電話(441)8231
本　社　東京都中央区銀座2丁目2番17号 〒104 電話(535)5251
支　社　大阪・東京・名古屋
支　店　札幌・仙台・金沢・広島・福岡
営業所　新潟・天理・岡山・高松・熊本
出張所　帯広・青森・秋田・盛岡・前橋・千葉・横浜・静岡
富山・福井・豊田・京都・神戸・徳山・鹿児島・那覇
海外支店　シンガポール

空調衛生・冷凍冷蔵・地盤凍結
よりよき環境へ技術で挑む——

株式会社精研

本　社　大阪市南区瓦屋町3番丁68番地(オートセンタービル2階)
郵便番号542　電話 大阪(06) 768－5031番
東京支店　東京都千代田区九段南2丁目2番5号(九段ビル8階)
郵便番号102　電話 東京(03) 262－3241～4番

空気調和設備
給排水・衛生水道
電気設備
厨房

環境衛生施設
荷役運搬機械
化学鉱山機械

三機工業 株式会社大阪支店

取締役社長　各務節
大阪支店長　稲畠和治

大阪市東区北浜2丁目22番地　電話 大阪(202) 代表3071
本　店　東京・日比谷・三信ビル
支　店　名古屋、福岡、札幌、広島、仙台、北陸
出張所　横浜、高松、静岡、豊田、岡山、金沢

新日本空調株式会社

大阪支店　大阪市北区堂島浜1丁目2番6号（新大ビル）
電話（06）344－6031（代）
本　社　東京都中央区日本橋本石町4-2(三井第二別館)
電話（03）279－5671（大代）
名古屋・九州・広島・札幌・東海村・北陸・大分

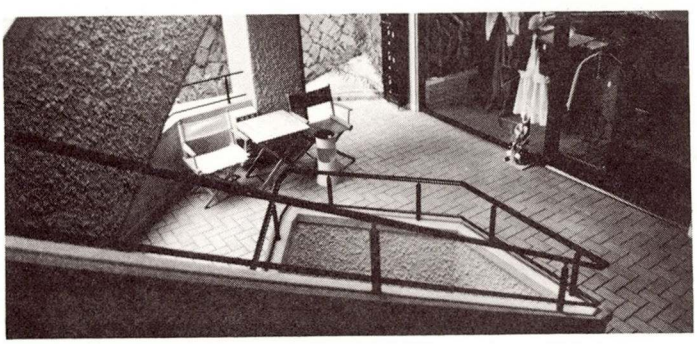
■給排水衛生　■冷暖房
■空気調和設備　■その他管工事一切の設計・施工

斎久工業株式会社

本　社　東京都千代田区大手町2-6-2（日本ビル）
電話 03-(270)-7411(代)
大阪支社　大阪市北区中之島4-2-38　電話 06-(443)5041(代)
支　店　札幌・岡山
営業所　仙台・千葉・名古屋・金沢・高松・広島・福岡
出張所　福井・倉敷・苫小牧

cleanair
一年中 秋のすがすがしさ！

創業1901
須賀工業株式会社
大阪市西区土佐堀1丁目2番30号 TEL.06-441-5171(大代表)〒550





商品は空気です。

熱と空気のエンジニア
株式会社
大気社

●営業種目
空気調和設備　給排水衛生設備　塗装設備　公害防止関連設備の設計・製作・施工

本社・東京支店　東京都新宿区西新宿2-6-1　☎03－344－1851(大代)　大阪支店☎06－488－5851(代)
名古屋支店☎052－211－1535(代)　九州支店☎092－431－2147　営業所：札幌・仙台・横浜・京都
神戸・広島　出張所：新潟・金沢・大宮・静岡・豊田・岡山・松山・熊本・鹿児島・沖縄・バンコク

空調・衛生・防災設備　設計並施工

日本管工業株式会社

本社及京都支店　京都市南区西九条豊田町20番地の1　電話(681)5101～5・夜間専用(691)1045
大阪支店　大阪市北区天満1-5-20　電話(06)352－3501㈹
四日市支店　四日市市西末広町　電話(0593)53－7431㈹
津営業所　津市栄町2－111　電話(0592)26－3610㈹
滋賀営業所　大津市打出浜13－15　電話(0775)22－9738㈹
名古屋営業所　名古屋市中川区百船町　電話(052)363－0681㈹

空気調和　給排水衛生　搬送機設備　設計施工

第一工業株式会社
大阪支店

大阪支店　〒530　大阪市北区西天満3丁目6番14号　電話　06－364－6661(代表)
本　社　〒100　東京都千代田区丸の内3丁目3番1号　電話　03－211－8511(代表)

Carrier
冷暖房はキャリア
CARRIER

東洋キヤリア工業(株)デストビューター関西地区
日本冷熱工産株式会社
本社及大阪営業所　吹田市豊津町40番38号　電話大阪(384)1201～7

MODAIR
空気調和設備　換気・除塵設備　設計施工

東洋熱工業株式会社大阪支店

大阪市西区靭本町3－1－27　TEL(443)8071
本社　東京都中央区京橋2丁目9　TEL(562)1351
支店　名古屋・福岡

平山工業株式会社

衛生・空気調和設備・設計・施工

大阪市西区江戸堀1-22-7　TEL(441)㈹1994・(443)㈹0331

空気調和・衛生設備　ガス設備・ガス住宅設備　設計・施工　大阪ガス指定工事会社　大阪ガス設備機器特約店

大晃設備株式会社

本社　大阪市北区西天満5-11-12　電話 06－313－1846
ガス工事部　大阪営業所　大阪市北区西天満5-11-12　電話 06－313－1846
ガス工事部　枚方営業所　枚方市甲斐田東町9番3号　電話0720－49－2128
設備部　大阪営業所　大阪市北区西天満5-11-12　電話 06－313－1846
設備営業部　京都営業所　枚方市甲斐田東町9番3号　電話0720－49－2128

空気調和設備・給排水衛生設備・上下水道施設
環境衛生施設・公害防止施設／設計・施工

山田工業株式会社

本社及管工事事業部　大阪市西区京町堀1－6－8　電話06(443)8161(大代表)
環境装置事業部　大阪市淀川区三津屋南1－1－35　電話 06(308)1491(代表)
東京支店　東京都江東区亀戸1-8-4(由田ビル)　電話 03(683)8421(代表)
名古屋支店　名古屋市中区栄2－16－13(京極ビル)　電話052(202)0077(代表)
福岡支店　福岡市博多区博多駅東2-4-30(いわきビル)　電話092(451)3456
営業所　京都・神戸・姫路・広島・高松・松山

給・排水・衛生・消火・暖冷房設備

株式会社西原衛生工業所大阪店

大阪市大淀区中津6丁目8番4号　**電話大阪(458)3531番**
支店・営業所　福岡・京都・広島・天理・川西

活字のない印刷

日本写植印刷株式会社

代表取締役　神田都義

本社　〒545　大阪市阿倍野区阪南町7-5-30　☎06(606)1111代
日本写植センター　〒892　鹿児島市名山町4-7　三宝ビル　☎0992(26)4371
津山写植センター　〒708　津山市大手町8番5号　模範店会館　☎08682(4)1771
沖縄写植センター　〒900　南風原村兼城　沖縄印刷団地　☎0988(55)6100





電気・計装工事 設計施工

栗原工業株式会社

取締役社長 栗 原 信 英

大阪市北区角田町1-1 東阪急ビル TEL06-313-1101
支 店 東京・名古屋・舞鶴・京都・天理
大阪南・神戸・広島・四国・九州

電気設備 (E) 設計施工

朝陽電気株式会社

代表取締役 山 本 博 三

本 社 大阪市北区中之島3－2－4 朝日ビル
TEL 大阪06（385）1361（代）
本社営業所 吹田市垂水町3－34－6
TEL 大阪06（385）1361（代）
京都営業所 京都市右京区西京極葛野町21
TEL 京都075（311）1185（代）
福岡出張所 福岡市中央区薬院1－14－8
TEL 福岡092（771）6168

電気工事設計施工

株式会社 三 興 社

代表取締役 坪 井 大

本 社 大阪市北区西天満2丁目6－8（堂ビル7階）
電 話（361）3671（代）
支 店 東京都中央区日本橋箱崎町20番5号
電 話（671）1478（代）
出張所 川崎・相模原・堺・福山

電気設備工事設計施工

東光電気工事株式会社

大阪支社

常務取締役支社長 姉 川 正 男

大阪市東区高麗橋五丁目二八番地 電話大阪（202）0325～9番
本 社 東京都千代田区西神田1丁目4番5号
支 社 札幌・仙台・丸ノ内・横浜・名古屋・福岡
営業所・出張所 全国主要都市21ヶ所

電気・暖冷房・空調工事設計施工

三宝電機株式会社

取締役社長 嘉 納 伝 三

本 社 大阪市北区西天満2丁目6－8（堂ビル3階）
電 話（364）1471（代）
支 店 東京都港区新橋2－16（ニュー新橋ビル7階）
電 話（504）0231
支 店 名古屋市北区城見通2丁目20番地
電 話（991）5131（代）
営業所 神戸・堺・千葉・宇都宮・熊本

電気・計装・空調工事 設計施工

ヤマト電気エンジニアリング株式会社

取締役社長 山 本 永 造

本 社 大阪市北区西天満5丁目1番3号
TEL 06－364－3056（代）
支 店 東京・神戸・広島・岡山
事業所 名古屋・岡山・札幌・苫小牧・浜松・滋賀
京都・高砂・三原・徳山・松山・新居浜・福岡・沖縄

総合設備工事〈設計・施行〉
電気・アンテナ・送電線・プラント・計装・空調・土木・建築

(K) 太陽工藤工事株式会社

取締役社長 小 林 四 郎

本 社 大阪市福島区福島7－22－8
TEL（06）452－1151（大代）
事業所 東京・名古屋・大阪・広島・福岡

電気工事設計施工

富士電業株式会社

取締役社長 田 中 実

本 社 大阪市西区北堀江上通1丁目65
電話 大阪（538）1171代表
営業所 東京・名古屋・広島・福岡

TAIP タイプ工法

北は稚内から―南は那覇まで

三角杭 **TOPパイル**

無騒音無振動
（TAIP工法）



私たちは
日本の土に
取り組んでいます



東海以西



関東・甲信越以東

株式会社 武智工務所

大阪本店：〒541 大阪市東区高麗橋2－20
☎06（226）1191 大代表
東京本社：〒103 東京都中央区日本橋蛎殻町1-38-12
☎03（667）1191 大代表

建設省住指発482号

奉仕感謝の店
タイル工事施工
㊥ 株式会社 川岸窯業商店
本　社　大阪市西区西本町1－13－33(靱本町バス停前)
電話　大阪 06(532)代0461　㊡ 550

リバコ 壁装 カーテン カーペット
株式会社 川川商店
大阪営業所　〒531　大阪市大淀区大淀南1－1－16
TEL 06－458－1872～6
本　社　〒105　東京都港区西新橋2－6－1
TEL 03－503－5301代
東京営業所　〒150　東京都渋谷区松涛2－18－2
TEL 03－465－8611代
札幌出張所　〒064　札幌市中央区南十四条西6 行啓グランドハイツ905号
TEL 011－512－7689

営業品目　建設省認定の防火材料
セメント系吹付材　ソリジットスタイン　基材同等　0003号
特殊リシン吹付材　エバウォール　基材同等　0003号
アクリル系吹付材　エバーサンド　基材同等　0004号
ヒル石吹付材　エバテックス　基材同等　0004号
合同特許建材工業株式会社
本　社　大阪市東住吉区駒川町3－54　電話 (06)702－7814～7
東京事業所・名古屋出張所・高松出張所・福岡出張所

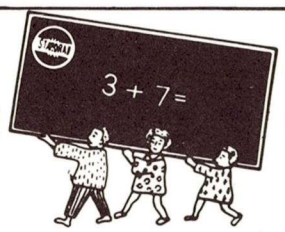
3K サンケークロス
川島株式會社
本　社　東京都中央区日本橋小伝馬町1-40 TEL(03)663-3371
大阪支店　大阪市平野区背戸口2－14－14 TEL(06)702-8102
支　店　名古屋(052)932-1381　札幌(011)741-3721
広　島(0822)93-4676

株式会社 矢橋大理石商店
大阪支店
大阪市東区高麗橋2丁目9　野村ビル5階　電話 大阪(202)4905

ルノン 壁装材
光建産業株式会社
本　社　〒141　東京都品川区西五反田2－34－4　TEL 03－492－7341
東京支店　〒143　東京都大田区平和島6－1－1　TEL 03－767－3411
物流ビルA棟AE5－1
大阪支店　〒538　大阪市鶴見区茨田大宮町301－1　TEL 06－913－1031

SSS 石膏プラスター　(壁用・床用)
SSS ボンド　(ボード類直貼り接着材)
SSS ギプセット　(土質安定用石膏)
サンエス石膏株式会社
大阪本社　〒530 大阪市北区堂島2丁目4－17
関西営業所　TEL 06(344)6526

華美をきらった 誕生 アダルト感覚
アースウェイブカーテン
ラグジュアリーカーペット
日本フェアトーン株式会社
〒540●大阪市東区鎗屋町1丁目34番地●ヤリヤマチビル
TEL 06(943)6481(代)



Standard Board&Slate
フタバ黒板
〒547　大阪市平野区加美北3－4－5　TEL 大阪06(792)5858㈹

更に充実の
キボークロス15集 新発売!!
見本帳御入用の節は御一報下さい
キボークロス 総発売元
株式会社 原田喜佐 大阪支店
〒564 吹田市広芝町13－31
TEL 06(386)6511(代)
本社・壁装館　〒160 東京都新宿区新宿2－8－1
TEL03(354)2641(代)

別注壁紙(クロス)御相談は
シマクロスで
シマクロス株式会社
〒550 大阪市西区本田3丁目2－18
TEL.(06)581－7461～5

特殊壁装材製造販売　和室に最適
●聚楽壁紙●ホクシノン(無機質壁紙)
(株)ホクシンクロス
〒583 大阪府羽曳野市島泉8－173－1
TEL(0729)39－3610
工場　〒580　大阪府松原市三宅町1222番地
第一　〒639-11奈良県大和郡山市小泉町2744
第二　〒597　大阪府貝塚市王子501

建築に新しい時代を拓く内・外壁材！

旭化成建材
ヘーベルライト®

●年中快適　●クラックが入らない
●耐火パネル　●工期の短縮化



◀ヘーベルライト使用木造住宅
（大阪府高石市・G邸）

最高の技術が生みだした
新しい素材

ヘーベル

ZONOLITE

■吸音吹付化粧材
耐火・防火・断熱・結露防止

ゾノライト
プラスター（PA）
モルタル（MA）
コンクリート（EA）
モノコート（MK）

（法定防火材・建設省認定・基材同等第0003号）

㈱新興建材工業所
〒550 大阪市西区南堀江通4－32－11　☎(06)538－2951(代)
責任施工　工事部　直通☎(06)541－5755
（建設業　大阪府知事許可《般－52》第20210号）

明石支店 〒673 明石市西新町2-12-14 ☎078(922)0007(代)
高槻営業所 〒569 高槻市宮田町2-1-29 ☎0726(96)2889
中国営業所 〒742 柳井市宮本浜（柳井総合卸センター内）
☎08202(2)5211

月刊 建築技術
建設省建築研究所　監修

昭和54年 NO.340　12月号の内容　定価 ¥700

●港湾埋立地の杭なし倉庫　井上 博（井上博設計事務所）
●土場・倉庫の土間コンクリート
—沈下・ひびわれ・摩耗の対策—　西原良治（清水建設KK）
●虎ノ門三井ビル別館の鉄骨製作と現場建方
高橋春蘭ほか（日本設計事務所）
●PC集合住宅の屋上防水補修　日野三郎（安藤建設KK）
●住宅平面の把握評価　延藤安弘（京都大学）
●在来木造住宅の地域特性　渡辺一正（建築研究所）

建築経済統計図表●フォトニュース●トピックス●建築家の良識●読者コーナー●海外の話題●建材の動向　その他

直接購読ご希望の場合年間予約金 ¥8,400（送料共）
全国書店18日一斉発売！　最寄りの書店にご注文下さい

〔特集号案内〕
●躯体生産技術の向上をめざして（No.296）…特価￥780
●建築と接合（No.299）……特価￥1,300
●住宅部品システムの普及（No.303）……特価￥1,400
●工事環境と技術対策（No.324）……特価￥1,000
●住宅の遮音（No.328）……特価￥1,000

建築技術の出版案内

同じ失敗を繰り返さないために
建築工事 失敗の実例にまなぶ　同編集部編
B5判・279頁・￥3,600（送料￥250）

現場に即した検査方法初の指導書
建築工事検査の実際　亀田泰弘監修
■上巻 B5判・453頁・￥6,000（送料￥250）
■下巻 B5判・534頁・￥7,000（送料￥250）

コンクリート技術に関する好適の実務書
実用コンクリート技術　森 茂二郎編
■上巻 B5判・360頁・￥3,200（送料￥250）
■下巻 B5判・414頁・￥3,600（送料￥250）

設計・施工に必要な接着工法の決定版
建築の接着工法　西 忠雄監修
B5判・430頁・￥3,000（送料￥280）

各種建築構造の計画・設計に役立つ
建築構造計算資料集 全8巻　中川 淳編著
1 鉄筋コンクリート構造編①　B5判・237頁・￥3,800（送料￥200）
2 鉄筋コンクリート構造編②　B5判・212頁・￥3,000（送料￥250）
3 鋼構造編①　B5判・225頁・￥3,200（送料￥250）
4 鋼構造編②　B5判・256頁・￥3,500（送料￥250）
5 鉄骨鉄筋コンクリート構造編　B5判・208頁・￥3,200（送料￥200）

〒160 東京都新宿区北新宿1-8-1 中島ビル8F
有限会社 建築技術
振替口座 東京0-72417番 ☎東京(363)4211(代)

設備合理化に貢献する——

SK式グリーストラップ

（ステンレス製）

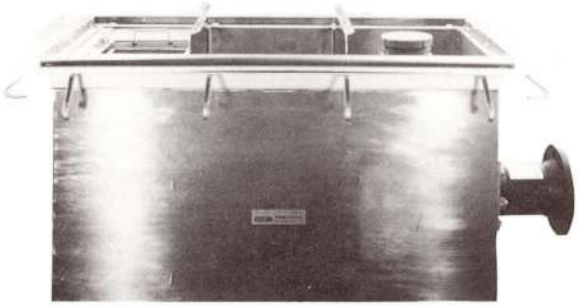


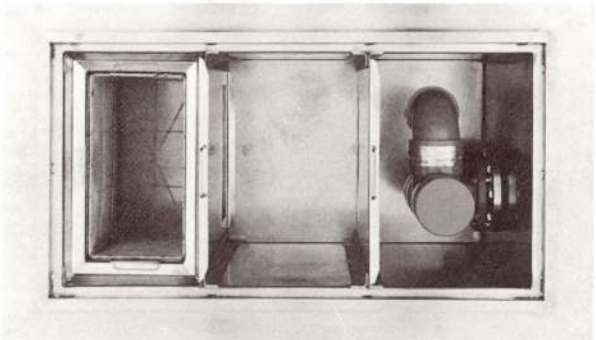
厨房の汚水に含まれているグリース分は配管設備を著しく損傷します。したがって損傷を防ぐには配管設備の手前において阻集するのが配管設備を長く使用するコツです。SK式グリーストラップはこのグリースを阻集するばかりでなくトラップ・マンホール・受カゴ・スライド板・排水管（フレキシブルジョイント）に至るまでセットになっていますので突貫工事にも充分間に合います。又、従来の鋳鉄製・鉄筋防水モルタル製のものは重量的にみても取付日数がかかり大幅な人件費が必要ですが、SK式グリーストラップは軽量で簡単に取り付けができ、据付費が大幅に低減されます。又、残渣は受カゴで取り除き、トラップ本体はスライド板により仕切ってあります。これを取り外す事により清掃が簡単にできます。特に各部品が腐食しないので大変衛生的です。又、サイズが豊富にありますからお店の大きさ、種類に合わせて無駄なく選定でき大変経済的です。

弊社は日本で初めてグリーストラップの規格化を図り既に全国的に発売致しております。

これらの製品は設計事務所・建設業社・設備業社を始め各方面から多くの引合を頂き、弊社もたゆまぬ研究を続けております。又、規格品の在庫も多く持ち皆様の需要にお答えしております。尚、規格外の製作も致しております。

SK-100S標準型





SK型：1層式(桝)／2層式／3層式／床置式／土間用

●実用新案特許　第1196331号

《おもな納入実績》

札幌全日空ホテル／札幌グランドホテル／厚別副都心商業センター／青森グランドホテル／仙台ターミナルビル／新潟新堀地下街／新東京国際空港／筑波学園都市／津田沼北口再開発／東武デパート／迎賓館／第一ホテル／三井物産大手町ビル／安田火災海上新本社ビル／野村不動産新宿ビル／新宿センタービル／池袋サンシャインシティ／西武デパート浜松／豊橋ファミリープラザ／名古屋ターミナルビル／千里レジャーセンター／吉本ダイヤビル／阪急グランドビル／大阪駅前市街地改造ビル／国鉄吹田駅前市街市再開発ビル／三宮市街地再開発ビルA棟／広島ステーションビル／鳥取一番館／高松ワシントンホテル／徳島大学／平和会館新博都ビル／西日本新聞渡辺ビル／福岡天神地下街／沖縄西武オリオンホテル／他

《営業品目》

SK式グリーストラップ／SK式ガソリントラップ／雨排水トラップ／散水栓ボックス／バルブボックス／他ステンレス製品加工全般

設　計・製　作・販　売

※カタログ・資料ご希望の方は大阪営業所へご一報下さい。——

SHIMODA

製造発売元

下田機工株式会社

大阪営業所／〒532 大阪市淀川区西中島4－5－9(浅井ビル)　☎ 06 (304) 5481㈹

本　　社／〒130 東京都墨田区東駒形4－6－9(和幸ビル)

特許・耐酸被覆鋼板
耐久建築屋根・外壁材料

オリエンタルメタル

錆びない！ われない！ 燃えない！

長尺物・色彩豊富・責任施工

品　種
- オリエンタルカラースーパーメタル(CSPM)
- オリエンタルスーパーメタル(SPM)
- オリエンタルメタル(OPM)
- オリエンタルスチールライト(STL)
- オリエンタルサンセラム(SS)

波板規格　S小波・S大波・V波・ボックス波・Wジャンボ波・Vデッキ
SVジャンボ波・其の他

用　途　平板・波板・棟包・雨押類・谷樋・竪樋・軒樋
各種換気装置〔モニター・ベンチレーター・ムーバー・エキゾスター(強制)〕
ホーンタイト(防音壁)・スチールシングル・其の他

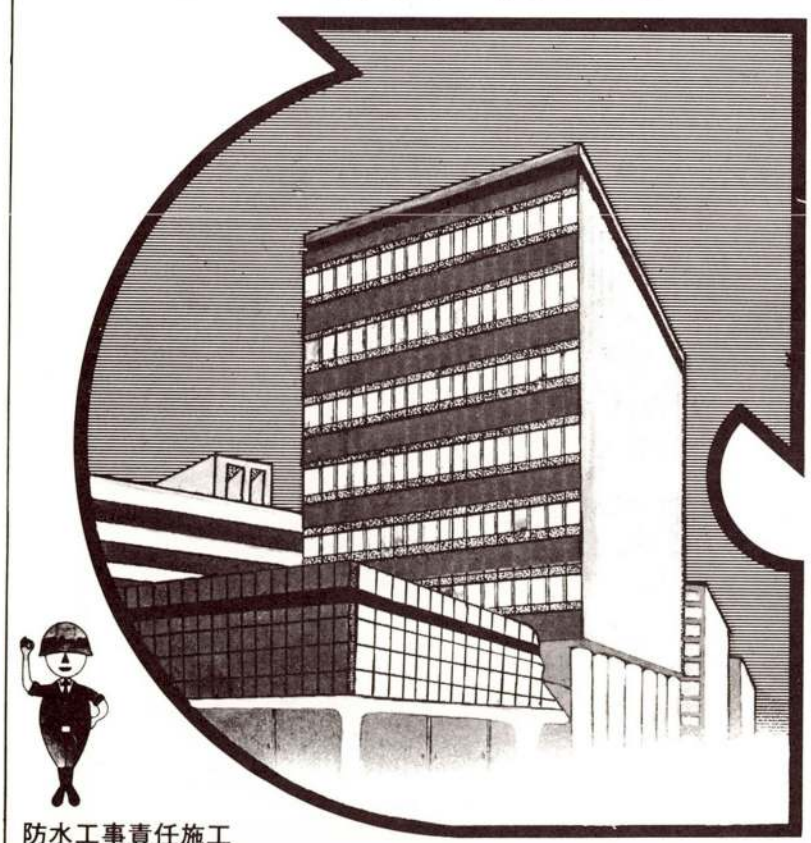
※ カタログを御請求下さい


オリエンタル被覆鋼板製防音壁施工

オリエンタルメタル製造株式会社

大阪本社　〒660　尼崎市昭和南通り3—26　松本ビル　電話大阪(06)412—5131(代)
営業本部　〒660　尼崎市長洲稲川新田44　電話大阪(06)488—1081(代)
支店及工場　大阪・九州・名古屋・広島・東条・刈谷
姫路(東洋建材工業．株)
東京本社及工場　〒335　蕨市塚越5丁目6番32号　電話 蕨(0484)42—3115(代)
支店及工場　東北

現場の信頼に応える


防水工事責任施工

マノール製品

セメント防水・防湿用	防水剤
セメント急硬・止水用	急結剤
セメント硬化促進用	早強剤
セメント耐寒・防凍用	防凍剤
コンクリート型枠脱型用	剝離剤
ノロ湿潤型モルタル密着用	接着剤
塗布型モルタル密着用	カプラー
非加硫ゴムシート防水用	ラバーシート
ウレタン弾性塗膜防水用	ウレタン
化学反応タイプ離型用	リケーダー
セメント起泡・軽量・裏込用	エスコート
場所打抗モルタル混和用	エアコール

— セメント混和剤・助材綜合メーカー —

株式会社 油脂化工社
東京都品川区二葉1—18—8　☎東京(787)1131代表
東北支店　福島市下野寺字遠原3—2　☎0245(91)1131(代)
関東営業所　茨城県土浦市大町14—3　☎0298(23)1131(代)
盛岡営業所　岩手県盛岡市月ケ丘3—39　☎0196(45)1331(代)
大阪　大阪市東成区東中本2-17-26　☎ 06 (974)1131

水に、スキをみせるな。

0.01ミリのスキ間でも、水は遠慮しません。〈日アス〉は、防水工事ひとすじに50余年。この小さなスキ間との、長いたたかいを続けているのです。もちろん、○シグマートによるウエルドシステム○特殊絶縁防水工法（特許ストライプ工法）○メルタン防水工法などの技術と、完全責任施工・年限保証が私たちの強力な武器。――――――全国90ヵ所にもおよぶ〈日アス〉ネットワークの、水もモラさぬたたかいぶりに、ぜひご注目ください。



地区	会社名	所在地	電話
北海道	日本防水総業株式会社	札幌市	TEL（231）7511代
	日本防水総業(株)旭川出張所	旭川市	TEL（32）0084
	日本防水総業(株)釧路出張所	釧路市	TEL（23）2056
	日新建工(株)札幌出張所	札幌市	TEL（221）5015
	大和工業(株)苫小牧出張所	苫小牧市	TEL（34）3358
	大和防水工業株式会社	札幌市	TEL（641）1717
東北	日新建工(株)仙台支店	仙台市	TEL（62）4101代
	北原建材工業(株)仙台出張所	仙台市	TEL（63）0421
	協和建材工業(株)仙台支店	宮城県	TEL（6）1136
関東	葵工業株式会社	東京都江東区	TEL（632）3385代
	伊藤建材株式会社	東京都台東区	TEL（842）1431代
	いわき建材工業株式会社	東京都中野区	TEL（385)8153・(389)4846
	春日工業株式会社	東京都荒川区	TEL（802）3871代
	金岡工業株式会社	東京都新宿区	TEL（363）4341代
	北原建材工業株式会社	東京都渋谷区	TEL（462）5341代
	木下工業株式会社	東京都墨田区	TEL（634）0821代
	協立工業株式会社	東京都港区	TEL（433)1961・8485
	三和工業株式会社	千葉県	TEL（57）5153代
	(株)大二商会東京支店	東京都港区	TEL（443）9007代
	大東スレート株式会社	東京都足立区	TEL（883）3131代
	東京瀝青株式会社	東京都荒川区	TEL（803）3481～3
	日新建工株式会社	東京都荒川区	TEL（803）2411代
	日本綜合防水株式会社	東京都渋谷区	TEL（403）0171代
	野口工材株式会社	東京都渋谷区	TEL（444）3531代
	鶴田工業株式会社	東京都千代田区	TEL（263）4861代
	富士工材株式会社	東京都江東区	TEL（634）0161代
	藤瀝青興業株式会社	東京都中野区	TEL（362)5697・(369)5697
	フタバ興業(株)東京営業所	東京都新宿区	TEL（208）0256代
	古川株式会社	東京都台東区	TEL（834)4151・4156
	北条瀝青工業株式会社	東京都江東区	TEL（643）3963代
	マサル瀝青工業株式会社	東京都台東区	TEL（842）6311代
	大和工業株式会社	東京都荒川区	TEL（802）4751代
	瀝青建材株式会社	東京都千代田区	TEL（861）2706～8
	有限会社神守建材社	横須賀市	TEL（22）4288
	金港瀝青株式会社	横浜市	TEL（421）6521～2
	不二防水工業株式会社	横浜市	TEL（231）4461
	石田建材工業株式会社	高崎市	TEL（22）3301～3
	石田建材工業(株)大宮支店	与野市	TEL（53）1225～9
	石田建材工業(株)宇都宮出張所	宇都宮市	TEL（35)2816・(34)8424
	瀝青建材(株)宇都宮出張所	宇都宮市	TEL（22）9737
	株式会社奈良屋商店	水戸市	TEL（41）5141代
信越	鹿住防水工業株式会社	新潟県	TEL（24）3402
	同和建業株式会社	新潟市	TEL（45）2251代
	同和建業(株) 長野営業所	長野市	TEL（27）0298
	株式会社仙嶺	松本市	TEL（58）3187
北陸	株式会社折橋政治郎商店	高岡市	TEL（22）0999
	有限会社小島工業所	高岡市	TEL（23）0391
	マルセ化建株式会社	金沢市	TEL（42）5151
	石橋建材株式会社	福井市	TEL（23）0775・0885

地区	会社名	所在地	電話
東海	協和建材工業株式会社	清水市	TEL（45）2221代
	三井工業株式会社	静岡市	TEL（85）9151～2
	三信建材工業株式会社	豊橋市	TEL（45）8211代
	(合)清谷商店沼津支店	沼津市	TEL（21）9610
	大池建工株式会社	名古屋市	TEL（211）1885代
	重喜防水工業株式会社	名古屋市	TEL（991）0111代
	辰己防水工業有限会社	名古屋市	TEL（501）1401代
	中央建材工業株式会社	名古屋市	TEL（761）6181代
	東京建材工業株式会社	名古屋市	TEL（411）6621
	東海物産株式会社	名古屋市	TEL（721）2211～5
	日本建材鋼業株式会社	名古屋市	TEL（571）5541～4
	宮崎建材株式会社	名古屋市	TEL（331）1531代）
近畿	池田瀝青工業株式会社	大阪市	TEL（699）5757～9
	株式会社神原商店	守口市	TEL（909)1433・(908)1282
	清水興業株式会社	大阪市	TEL（372）0250～3
	日新工材株式会社	大阪市	TEL（541）3785～6
	日新建工(株)大阪出張所	大阪市	TEL（541）1607～8
	日本綜合防水(株)大阪支店	大阪市	TEL（361）0471～5
	フタバ興業株式会社	吹田市	TEL（385）2781代
	マルエス工業株式会社	大阪市	TEL（458）4841～3
	有限会社丸藤商店	大阪市	TEL（351）2150代
	大島応用化学工業株式会社	東大阪市	TEL（745）5121代
	久下商店	京都市	TEL（311）2044～5
	東洋建材株式会社	京都市	TEL（672）5351～5
	中村瀝青工業株式会社	神戸市	TEL（341)5884・1223
	棚田建材有限会社	神戸市	TEL（841）3551代
	有限会社ミサキ商会	和歌山市	TEL（22）3922
中国	東中国防水工業株式会社	岡山市	TEL（72）1221代
	株式会社三洋技建	大竹市	TEL（2）5155代
	三和防水工業株式会社	広島市	TEL（83）3366代
	豊永建材株式会社	広島市	TEL（61）6371～3
	大和工業(株)広島出張所	広島市	TEL（71）4687
	株式会社巴商会	宇部市	TEL（21）0760
	和光工業株式会社	松江市	TEL（38）1321
四国	大三工業株式会社	高松市	TEL（51）6811代
	大三工業(株)高知支店	高知市	TEL（45）4800代
	徳島大三工業株式会社	徳島市	TEL（31）4161代
	株式会社マルマス河野商店	今治市	TEL（32）5000代
	株式会社山本商会	松山市	TEL（31）6261代
九州	安藤工業株式会社	福岡市	TEL（561）7012代
	加茂装備株式会社	福岡市	TEL（561）6250
	日建工材株式会社	福岡市	TEL（741）6665代
	株式会社工材社	北九州市	TEL（371）1468～9
	安藤工事株式会社	長崎市	TEL（2）2200
	株式会社大二商会	宮崎市	TEL（51）6155代
	日新興業株式会社	延岡市	TEL（3）2455～9
	株式会社北原建材商会	鹿児島市	TEL（23）9395～6
	上原建設工業社	沖縄県	TEL（09889)（2)2368

■建設省東計第240号認可

日本アスファルト防水工業協同組合

東京都足立区千住東2－21－28　日新工業株式会社内　☎(882)2424大代
関東支部　東京都足立区千住東2－23－4　☎(870)5051代
中部支部　名古屋市千種区千種通り2-19(岐阜正ビル)　日新工業名古屋出張所内　☎(741)6257代
関西支部　大阪市東淀川区瑞光通り4－30－2　日新工業大阪支店内　☎(329)7737代
九州支部　福岡市博多区博多駅前1－24－10　日新工業九州出張所内　☎(451)1095代

製造元／日新工業株式会社

建築と社会 ARCHITECTURE & SOCIETY 第61輯第10号
昭和54年10月25日発行（毎月1回25日発行） 昭和24年3月19日第3種郵便物認可
社団法人 日本建築協会 〒541 大阪市東区北浜3-37 電話大阪06(231)9648・9649・9640 振替口座大阪三九九七五番
（表紙デザイン・永田祐三） 定価六五〇円

疲の用心

滑り・硬さ・音・色彩…
大切です。床の、人への思いやり。



ACフロアは〝疲れにくい〟床材。厚い発泡層と、さざ波状の表層面がその決め手です。

建物内で、人は意外に歩きます。机に向かうことの多い女子事務員でさえ、1日約4,500歩。滑りやすく、硬すぎたりやわらかすぎたり、また目に刺激的で、騒々しい床は、どんな建物でも困りものです。とくに、立位作業の多い病院などでは、重要なチェックポイントになります。

ACフロアは、発泡層のクッション性と表層面のさざ波加工で、靴底に適度な抵抗を与え、床を滑りにくくします。また、表面加工が反射光をやわらげ、発泡層が床の衝撃音を遮断しますから、目や神経を疲れさせません。これまでご採用いただいた、医師・看護婦・先生がたの評価から、私たちは、さらに自信をもって、〝疲れにくい床〟ACフロアをおすすめしています。



●くわしくは、資料をお求めください。製品見本帳・機能解説書・施工解説書・実績紹介写真集などをお送りします。

三星ACフロア

ACフロア〈3層構造〉断面



タイプ	厚さ	幅	長さ	色数
ACフロアF28	2.8mm	184cm	18m	15色
ACフロアF35	3.5mm			
ACフロアF55	5.5mm		21m	2色
ACフロアGT	4.0mm		25m	9色
コン・マルチ	2.0mm			1色

〈特徴〉床衝撃音遮断性
衝撃吸収性・断熱性・耐摩耗性
耐薬品性・施工安定性

●用途は、おもに学校・病院・福祉施設など公共施設 ●ACフロアF55〈2層構造〉は体育館専用 ●コン・マルチは手術室専用です ●ACフロアGTはスルーチップパターン

三星Pタイル
田島応用

責任施工 三星アコスティカルフロアーズ
東・西床協組

東京営業所／〒101東京都千代田区岩本町3-11-13☎(03)866-6101(代)

札　幌	☎(011)231-8261	横　浜	☎(045)681-4835	岡　山	☎(0862)26-0619
仙　台	☎(0222)22-6413	静　岡	☎(0542)81-8931	広　島	☎(0822)46-9436
新　潟	☎(0252)65-0261	名古屋	☎(052)571-6361	高　松	☎(0878)62-5285
北関東	☎(0492)85-1421	北　陸	☎(0762)31-5741	福　岡	☎(092)712-9141
東関東	☎(0472)56-8801	大　阪	☎(06) 441-5951	鹿児島	☎(0992)29-6160